

第2次基本計画(施策)進行管理票

1.施策名	基本方向01 基本政策01 施策01 保健の充実				取りまとめ担当課	健康推進課	7.施策目標の達成(進捗)状況	B
2.目標	全ての市民が地域社会で活躍するため、健康寿命の延伸や健康格差の縮小をめざすなど健康づくりを推進します。							
3.施策目標の実現に関する指標	指標名	現状値(目標設定時)	実績値(R1)	実績値(R2)	実績値(R3)	実績値(R4)	目標値(R4)	グラフ
	特定健康診査受診率	45.6% (平成29年度)	40.3% (暫定値)				57.5%	
	フッ化物洗口実施小学校数	8校 (平成30年度)	10校				全校実施	
4.施策達成のために要した事業費	事業名			R1予算額(千円)	R1決算見込額(千円)			
	○健康増進センター施設改修事業(計画事業P1・進捗状況○)			5,000	4,730			
	特定健康診査等事業費			101,856	90,367			
	歯科保健事業費内フッ化物洗口事業			676	672			
	計			107,532	95,769			
5.毎年度の予算額及び決算見込額の推移	年度	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	合計		
	予算額(千円)	107,532				107,532		
	決算額(千円)	95,769				95,769		
6.主な取組名称①	健康づくりの推進					取組(進捗)状況	C	
主な成果	<p>○市町村国保予防・健康づくり保健事業の「国保ヘルスアップ事業」の補助金を活用し、5月に協力医療機関へ定期受診者の受診勧奨依頼や千葉県厚生農業協同組合連合会(JA)へ「JA組合員健康診査業務委託」をしました。また、未受診者へのハガキ勧奨(9月実施)や訪問による勧奨(10月実施)などの未受診者対策を実施しました。</p> <p>○令和元年度はフッ化物洗口事業実施校が前年度比2校増となり、その効果として、事業継続実施校における永久歯の12歳児(小6)一人平均むし歯数が0本の学校が出現しています。</p>							
主な課題	<p>○医療機関で定期的に血液検査をしている方で、健康診査を受けなくてもよいと判断される場合が多く、医療機関定期受診者への受診勧奨が十分ではありません。</p> <p>○特定健康診査以外の健康診査(労働安全衛生法に基づく健康診査や商工会議所等での健康診査)を受診されていますが、健康診査結果を提出される方が少ないのが課題です。</p> <p>○フッ化物洗口事業の実施に伴う学校側の負担軽減策として、薬物管理・洗口液の作成・配達・回収・用具の洗浄等を健康推進課で対応していますが、実施校拡大に伴い、人的物理的限界が見えてきましたので、次は薬剤師会への協力依頼も検討する必要があります。</p>							
主な成果・課題を踏まえた今後の取組の方向性	<p>○「特定健康診査を毎年受診する」という、市民の健康リテラシー向上にむけた周知を推進します。</p> <p>○「みなし健康診査」の結果を提出する方が増加するように周知方法の検討、関係機関への協力依頼、インセンティブの活用などの創意工夫をします。</p> <p>○フッ化物洗口の効果は科学的にも証明されているが、それをいざ実施となると学校側のハードルが高くなります。すべての児童生徒が当たり前のように実施できるよう、引き続き学校教育課と協議しながら、全校実施に繋げていきます。</p>							

第2次基本計画(施策)進行管理票

主な取組名称②	健康支援体制の充実	取組(進捗)状況	A
主な成果	○健康増進センター「いきいき館」の開設時から使用しているFRP製のプール槽の取り替えやろ過器の更新等を行うための実施設計を行いました。		
主な課題	○健康に対する意識向上から幅広い年代の施設利用ニーズが高まっており、今後も安全に長期的に利用できるよう施設の修繕について検討していく必要があります。		
主な成果・課題を踏まえた今後の取組の方向性	○実施設計に基づき、計画的な改修工事を実施する予定です。 ○安全に利用できる環境を整えるとともに、幅広い年代の利用促進を図ります。		

第2次基本計画(施策)進行管理票

1施策名	基本方01 基本政策01 施策02 医療の充実	取りまとめ担当課	健康推進課	7.施策目標の達成(進捗)状況	B
------	-------------------------	----------	-------	-----------------	----------

2目標	乳幼児から高齢者までの市民が安心して医療サービスを受けられるよう、疾病の状況に応じて適切な医療が提供できる地域医療・救急医療体制の整備を図るとともに、地域の医療ニーズに対応した保健・医療従事者の確保を目指します。
-----	--

3施策目標の実現に関する指標	指標名	現状値(目標設定時)	実績値(R1)	実績値(R2)	実績値(R3)	実績値(R4)	目標値(R4)	グラフ
	医療施設従事医師数	149人 (平成28年12月31日時点の君津保健医療圏の人数)	154人 (平成30年12月31日時点の君津保健医療圏の人数)				189人 (令和2年12月31日時点の君津保健医療圏の人数)	
	就業看護職員数	729人 (平成28年12月31日時点の君津保健医療圏の人数)	722人 (平成30年12月31日時点の千葉県全体の人数)				890人 (令和2年12月31日時点の君津保健医療圏の人数)	

4施策達成のために要した事業費	事業名	R1予算額(千円)	R1決算見込額(千円)
	木更津看護学院准看護師課程負担金	2,599	2,599
	在宅医療・介護連携推進事業	2,468	2,336
	君津中央病院企業団負担金	639,812	639,812
	計	644,879	644,747

5毎年度の予算額及び決算見込額の推移	年度	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	合計
	予算額(千円)	644,879				644,879
	決算額(千円)	644,747				644,747

第2次基本計画(施策)進行管理票

6主な取組名称①	医療体制の整備	取組(進捗)状況	B
主な成果	<p>○市民一人ひとりが症状に応じた適切な医療サービスを受けられるよう、今後の医療体制のあり方について、君津木更津医師会や君津中央病院、関係機関との連携を図りながら、君津地域4市での検討を行いました。</p> <p>○大規模災害時の応急医療救護体制を確立するため、君津木更津医師会との調整を図り、「災害医療マニュアル」の具体的な運用に向けた取り組みを進めました。</p> <p>○医療介護関係者が参加する口腔ケアをテーマにした多職種連携研修及び地域住民対象の講演会を開催し、普及啓発等の事業を進めました。</p> <p>○重症度や緊急度に応じた適正な救急医療の利用について、リーフレットを作成する等、正しい知識の普及や啓発活動を強化しました。</p> <p>○君津中央病院の持続可能な経営のため、君津中央病院企業団経営改革委員会及び負担金会議への参画や外部有識者を委員とする運営委員会などからの指摘を活かした経営改善を求めるとともに、適正な負担割合に基づく財政支援を行いました。</p>		
主な課題	<p>○高齢化の進展や疾病構造の変化、医療技術の進歩などにより保健医療を取り巻く状況が変化する中、急性期から回復期、在宅医療に至るまで市民一人ひとりが地域内で安心して適切な医療サービスを受けられるよう、医療体制の整備を図るとともに、医療機関と介護サービス事業者の連携を、より推進する必要があります。</p> <p>○救急医療については、君津地域4市で構成する君津保健医療圏で一次、二次、三次の救急医療体制を構築し、君津木更津医師会や関係機関の協力のもと維持されていますが、医師の高齢化や医師・看護師不足、輪番制で待機する医療機関の減少などにより、体制の維持が厳しい状況となっています。</p> <p>○休日の在宅当番医制における小児科医の不足や、夜間の初期救急に対応する夜間急病診療所の充実が求められています。</p> <p>○地域の中核病院として、三次救急医療や高度医療、災害時の拠点病院などの役割を担う君津中央病院は、地域に必要な不採算医療を支えています。施設改修や設備更新に多額の経費が見込まれています。</p>		
主な成果・課題を踏まえた今後の取組の方向性	<p>○君津木更津医師会や関係機関と連携し、在宅当番医制、夜間急病診療所及び二次待機施設など地域の救急医療体制の維持を図ります。</p>		

第2次基本計画(施策)進行管理票

1施策名	基本方向01 基本政策02 施策03 地域福祉の推進			取りまとめ担当課	社会福祉課	7.施策目標の達成(進捗)状況	B	
2目標	住民同士のつながりを大切にし、生活支援や自立支援を必要とする人への支援制度を整えとともに、市民が地域福祉を意識しながら、互いに貢献し、支え合う地域社会の構築を目指します。							
3施策目標の実現に関する指標	指標名	現状値(目標設定時)	実績値(R1)	実績値(R2)	実績値(R3)	実績値(R4)	目標値(R4)	グラフ
	民生委員・児童委員数	221人 (平成29年度末時点)	204人				235人	
	市民後見人受任件数	6件 (平成29年度末時点)	7件				25件	
	ノンステップバス・ワンステップバス導入率	84.2% (平成29年度)	88.7%				89.5%	
4施策達成のために要した事業費	事業名			R1予算額(千円)	R1決算見込額(千円)			
	OJR蔵根駅整備事業費(計画事業P2・進捗状況O)			10,000	10,000			
	民生委員関係費			11,845	11,845			
	民生委員推薦会委員報酬			80	72			
	福祉会館指定管理料			19,476	19,476			
	福祉会館管理諸経費			6,099	5,762			
	後見支援事業費			9,108	9,068			
	子どもの学習支援事業費			5,398	5,398			
計			62,006	61,621				
5毎年度の予算額及び決算見込額の推移	年度	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	合計		
	予算額(千円)	62,006				62,006		
	決算額(千円)	61,621				61,621		

第2次基本計画(施策)進行管理票

6主な取組名称①	地域福祉活動の推進	取組(進捗)状況	B
主な成果	○令和元年度は、実証実験として波岡地区にコミュニティソーシャルワーカーを設置し、地域住民が抱える生活課題や福祉課題等のニーズを一元的に把握することができるようになりました。		
主な課題	○働き方や生活の多様化による時間的余裕の減少や地域のつながりの希薄化等により、民生委員・児童委員の担い手が不足してきています。		
主な成果・課題を踏まえた今後の取組の方向性	○民生委員・児童委員の欠員解消を目指し、引き続き候補者の選出を行っていきます。 ○令和2年度からは、市内15地区の中学校単位でコミュニティソーシャルワーカーを設置し、市内全域で住民の抱える問題について迅速に対応できる体制を整えていきます。		
6主な取組名称②	生活の安定と援護	取組(進捗)状況	B
主な成果	○成年後見制度に関する地域連携ネットワークの強化のため、令和元年度に中核機関を設置しました。 ○貧困の連鎖を断ち切るため、令和元年度には生活困窮世帯及びひとり親家庭等の子どもの学習支援事業を3地区で実施しました。 ○生活困窮者等の就労体験の場として、市内の民間事業者11か所の協力を得ることとなりました。		
主な課題	○高齢化や生産年齢人口の減少等によって、支援の担い手が不足しているため、庁内外の関係部署・関係機関との連携が一層求められています。		
主な成果・課題を踏まえた今後の取組の方向性	○関係機関との連携を強化し、担い手の確保を検討していきます。		
6主な取組名称③	バリアフリーの推進	取組(進捗)状況	A
主な成果	○交通事業者がバス車両を買い替える際にツーステップバスやワンステップバスからノンステップバスに移行しており、導入率が目標設定時より4.5%向上し、高齢者や障がい者などを含むすべての人の外出促進に寄与しました。 ○巖根駅のバリアフリーに向けて、JRが実施した駅構内エレベーター設置に関する詳細設計に要する経費の一部に補助金を支出しました。		
主な課題			
主な成果・課題を踏まえた今後の取組の方向性	○ノンステップバスやワンステップバスの導入について、引き続き目標達成に向けて交通事業者に対し要請します。 ○巖根駅のバリアフリーに向けた駅構内のエレベーター設置について、円滑に工事が行えるよう、引き続きJRと協議します。		

第2次基本計画(施策)進行管理票

1施策名	基本方向01 基本政策02 施策04 高齢者支援の充実			取りまとめ担当課	高齢者福祉課	7.施策目標の達成(進捗)状況	B																			
2目標	地域包括ケアシステムの深化・推進を目指し、介護が必要になっても住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができるまちづくりの実現																									
3施策目標の実現に関する指標	指標名	現状値(目標設定時)	実績値(R1)	実績値(R2)	実績値(R3)	実績値(R4)	目標値(R4)	グラフ																		
	特別養護老人ホームの待機者数	318人 (H31年1月1日時点)	319人				156人	<table border="1"> <caption>特別養護老人ホームの待機者数</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>実績値</th> <th>目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H30</td> <td>318</td> <td>319</td> </tr> <tr> <td>R1</td> <td>319</td> <td>250</td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td></td> <td>220</td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td></td> <td>190</td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td></td> <td>156</td> </tr> </tbody> </table>	年度	実績値	目標値	H30	318	319	R1	319	250	R2		220	R3		190	R4		156
	年度	実績値	目標値																							
H30	318	319																								
R1	319	250																								
R2		220																								
R3		190																								
R4		156																								
認知症サポーター受講者数	1,043人 (H29年度実績値)	865人				1,300人	<table border="1"> <caption>認知症サポーター受講者数</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>実績値</th> <th>目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H29</td> <td>1,043</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R1</td> <td>865</td> <td>1,300</td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td></td> <td>1,300</td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td></td> <td>1,300</td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td></td> <td>1,300</td> </tr> </tbody> </table>	年度	実績値	目標値	H29	1,043		R1	865	1,300	R2		1,300	R3		1,300	R4		1,300	
年度	実績値	目標値																								
H29	1,043																									
R1	865	1,300																								
R2		1,300																								
R3		1,300																								
R4		1,300																								
4施策達成のために要した事業費	事業名			R1予算額(千円)	R1決算見込額(千円)																					
	地域包括支援センター運営事業費			168,900	168,900																					
	認知症総合支援事業費(大事業)			5,156	4,809																					
	老人クラブ補助事業費・(公社)木更津市シルバー人材センター補助事業費			8,640	8,640																					
	一般介護予防事業費(大事業)			5,044	4,906																					
	地域医療介護総合確保基金事業補助金・外国人介護人材対策事業費			223,705	223,705																					
	計			411,445	410,960																					
5毎年度の予算額及び決算見込額の推移	年度	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	合計																				
	予算額(千円)	411,445				411,445																				
	決算額(千円)	410,960				410,960																				
6主な取組名称①	高齢者への包括的支援				取組(進捗)状況	B																				
主な成果	<p>○平成31年4月に市内5か所目となる「木更津市富来田地域包括支援センター」を開設し、富来田地区における高齢者のサポート体制を強化しました。</p> <p>○認知症サポーター養成講座を31回開催したことにより、865人の方に受講していただき、地域における認知症の理解を深めるための普及啓発を推進することができました。</p>																									
主な課題	<p>○実績値は、現状値である平成29年度において養成講座を開催した学生対象の機会がなかったため、比較すると受講者数は減少しました。</p> <p>○地域の団体・学校・事業所等に向け認知症サポーター養成講座の開催を幅広く呼びかけ、認知症になっても地域で安心して暮らし続けられるまちづくりを進める必要があります。</p>																									
主な成果・課題を踏まえた今後の取組の方向性	○医療・介護の関係機関と連携し地域包括ケアシステムの深化・推進を目指すとともに、高齢者の総合相談窓口である地域包括支援センターの更なる機能強化を図ります。																									

第2次基本計画(施策)進行管理票

6主な取組名称②	高齢者の社会参加の促進	取組(進捗)状況	B
主な成果	○シニアクラブ連合会が実施した5月のグランドゴルフ大会、6月のスポーツ大会、8月の芸能大会等の事業実施にあたり支援しました。 ○木更津市シルバー人材センターが行った高齢者就業機会確保事業、雇用開発支援事業の実施にあたり支援を行いました。		
主な課題	○高齢者の生きがいと健康づくりを推進するための事業を実施していますが、事業を実施するシニアクラブ連合会のクラブ数、会員数ともに減少しています。 ○高齢者が積極的に社会に参加することができる機会を提供する団体として、シルバー人材センターの継続的に安定した運営が必要であり、そのため受注拡大、会員数の増加を図る必要があります。		
主な成果・課題を踏まえた今後の取組の方向性	○高齢者の生きがいと健康づくりを推進するため、シニアクラブ連合会と連携してシニアクラブの周知を図り、新規クラブの設置や会員の増加に向けて取り組みます。 ○シルバー人材センターと連携して、受注拡大、会員数の増加に向けて取り組みます。		
6主な取組名称③	介護予防の推進	取組(進捗)状況	B
主な成果	○介護予防教室として、身近な公民館における自立生活体操の337回にわたる開催(3月は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止)や、管理栄養士と健康運動指導士にサポートする「食と運動の元気アップ教室」を計3コースの開催により、合わせて約6,750人の高齢者が参加し、介護予防に取り組むことができました。 ○地域住民が主体となって介護予防体操に取り組む「通いの場」を、新たに2カ所立ち上げ、計34団体における自主的な介護予防の取組を推進しています。		
主な課題	○介護予防の知識の普及啓発や介護予防活動の育成・支援を行うため地域における介護予防教室や介護予防体操の介護予防の取組を強化する必要があります。		
主な成果・課題を踏まえた今後の取組の方向性	○歯科衛生士や理学療法士などの専門職等による健康教育等の実施を図り、介護予防の機会への参加や介護予防の取組の継続を支援することにより、高齢者が生涯にわたる健康づくりと介護予防を推進します。		
6主な取組名称④	介護保険サービスの充実と適正な給付	取組(進捗)状況	B
主な成果	○各公民館や窓口にて、パンフレットや事業所一覧の配布を行いました。また、介護給付適正化事業として、ケアプラン点検、医療情報との突合、縦覧点検を行うとともに、介護給付費通知を4度送付しました。 ○介護保険事業計画に基づく計画的な施設整備を図り、2施設が開設となりました。 ○外国人介護人材の受け入れ推進に向け、ダナン市(ベトナム)へ訪問し、介護人材の送り出し、受け入れについて、相互協力の確認を行いました。また、ダナン市内の大学等を訪問し、事業への理解と今後の取組について参加協力を得ました。		
主な課題	○介護保険事業計画に基づき、施設整備事業者の公募・選定を行います。 ○新型コロナウイルスの世界的な感染拡大により事業を中断していますが、時機を見計らい外国人介護人材の早期受け入れを目指します。		
主な成果・課題を踏まえた今後の取組の方向性	○窓口や各公民館にパンフレットや事業所一覧の定期的な配布を行い、介護保険制度の周知を図ります。 ○ケアプラン点検等、今後も介護給付適正化事業を推進します。 ○介護保険事業計画に基づき、施設整備を図ります。 ○外国人介護人材の早期受け入れを推進します。		

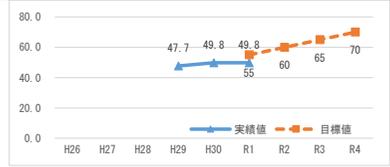
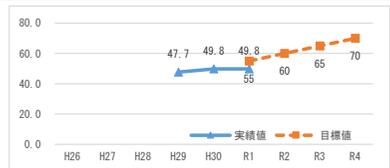
第2次基本計画(施策)進行管理票

1施策名	基本方向01 基本政策02 施策05 障がい者支援の充実				取りまとめ担当課	障がい福祉課	7.施策目標の達成(進捗)状況	B
2目標	障がい者の人権を尊重し、乳幼児期から高齢期に至るライフステージのすべての段階において、地域社会のなかで自立して自分らしく暮らせるように、福祉サービスによる支援や経済的な支援に取り組むとともに、家族、地域社会、関係団体、行政が連携し、すべての人が相互に認めあうことができるまちづくりをめざします。							
3施策目標の実現に関する指標	指標名	現状値(目標設定時)	実績値(R1)	実績値(R2)	実績値(R3)	実績値(R4)	目標値(R4)	グラフ
	介護給付利用者数	529人 (平成29年度末時点)	679人				600人	
	訓練等給付事業の利用者数	368人 (平成29年度末時点)	383人				400人	
	日中一時支援利用者数	129人 (平成29年度末時点)	130人				150人	
	児童発達支援利用者数	128人 (平成29年度末時点)	148人				170人	
4施策達成のために要した事業費	事業名			R1予算額(千円)	R1決算見込額(千円)			
	障害者自立支援等給付事業費			1,945,967	1,945,967			
	その他支援事業費			35,490	21,397			
	障害児通所等支援事業費			207,156	207,156			
	計			2,188,613	2,174,520			
5毎年度の予算額及び決算見込額の推移	年度	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	合計		
	予算額(千円)	2,188,613				2,188,613		
	決算額(千円)	2,174,520				2,174,520		

第2次基本計画(施策)進行管理票

6主な取組名称①	障がい者への理解促進と相談支援の充実	取組(進捗)状況	B
主な成果	<p>○令和元年8月に民生委員児童委員を対象とした合同研修会の実施や、同年12月の障害者週間には啓発活動の一環として商業施設内において障がい者支援施設の合同販売会を行い、また障がいのある人の絵画等作品の展示をするなどの障がい者理解への促進を図りました。</p> <p>○障がいのある人、またはその家族からのさまざまな相談に対応するため、平成31年4月から一般相談を受ける事業所を1か所追加し、一般相談支援委託事業所を4か所としたことにより、相談支援の充実を図りました。</p>		
主な課題	○障がいのある人もない人も地域で共生した社会を構築するためには、現状において障がいのある人への差別や偏見があるなか、その解消に向け、さらに啓発活動を行い相互理解を図ることが必要です。		
主な成果・課題を踏まえた今後の取組の方向性	○地域の課題については当事者団体をはじめ各関係機関で構成する地域自立支援協議会を活用し、解決に向け協議します。		
6主な取組名称②	社会参加の促進	取組(進捗)状況	B
主な成果	<p>○在宅生活の障がいのある人で就労を希望する人は就労訓練、就労が困難な人は生活指導や作業訓練などを行い自立を支援しました。</p> <p>○地域活動支援センター機能強化や日中一時支援事業などの地域生活支援事業を実施し、障がいのある人の余暇活動支援など社会参加を促進しました。</p>		
主な課題	○就労については、職場において障がいのある人への理解促進が求められているところですが、障がい特性からコミュニケーションが円滑に行われなことがあるため、対人関係を理由に就労の継続を断念することがあります。		
主な成果・課題を踏まえた今後の取組の方向性	○就労訓練を経て就労した障がい者に対して、就労が継続し定着できるよう支援します。		
6主な取組名称③	生活自立の支援	取組(進捗)状況	A
主な成果	<p>○障がいのある人の生活を支援するため、日常生活用具や補装具の支給、自立支援医療費等の支援を行いました。</p> <p>○発達が気になる子に対し相談支援、言語訓練・運動訓練等早期療育を実施し、障がいの軽減や生活能力の向上を図りました。</p> <p>○障がいのある人やその介護者に障害者手当、障害児特別扶養手当等各種手当の支給により経済的負担の軽減を図りました。</p> <p>○DV等を受けた障がいのある人の避難を迅速に行い、身の安全を確保するなど虐待防止センターの機能強化を図りました。</p> <p>○介護者への相談支援を行うとともに、児童発達支援や放課後デイサービスの提供により障害児通所支援を行いました。</p>		
主な課題	○障がいのある人の重度化や介護者の高齢化により、「親亡き後」の生活に不安を抱いている現状があり、その解消に向け在宅福祉サービスや居住支援の充実を図る必要があります。		
主な成果・課題を踏まえた今後の取組の方向性	○障がいのある人のグループホームの体験利用や緊急時の受入確保など体制づくりの機能として、地域生活支援拠点等の整備を推進します。		

第2次基本計画(施策)進行管理票

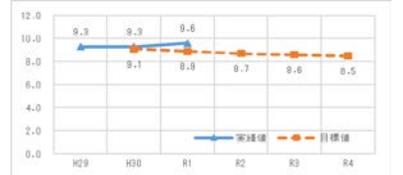
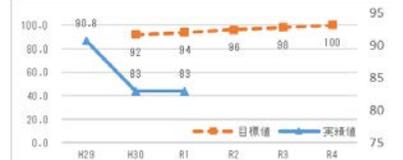
1施策名	基本方向01 基本政策03 施策06 防災対策の推進	取りまとめ担当課	危機管理課	7.施策目標の達成(進捗)状況	B			
2目標	市、関係機関及び市民の総力を結集し、平時から災害に対する備えと、災害発生時に適切な対応をとれる体制を整え、市民の生命、身体及び財産を災害から守ることをめざします。							
3施策目標の実現に関する指標	指標名	現状値(目標設定時)	実績値(R1)	実績値(R2)	実績値(R3)	実績値(R4)	目標値(R4)	グラフ
	自主防災組織のカバー率	47.7% (平成29年度)	49.8%				70%	
	防災訓練実施地区の割合	37.5% (平成30年度)	37.5%				100%	
4施策達成のために要した事業費	事業名		R1予算額(千円)	R1決算見込額(千円)				
	○同報系無線デジタル化整備事業費(計画事業P3・進捗状況○)		249,308	226,311				
	○耐震性貯水槽補修事業費(計画事業P4・進捗状況○)		11,880	5,209				
	○住宅・建築物耐震診断事業(計画事業P5・進捗状況○)		2,499	1,916				
	○住宅・建築物耐震改修事業(計画事業P6・進捗状況×)		2,400	0				
	自主防災実務者講習事業費		1,394	1,060				
	災害対策本部機能強化事業費		3,096	3,096				
	総合防災訓練費		1,274	1,101				
計		271,851	238,693					
5毎年度の予算額及び決算見込額の推移	年度	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	合計		
	予算額(千円)	271,851				271,851		
	決算額(千円)	238,693				238,693		
6主な取組名称①	防災対策の強化				取組(進捗)状況	B		
主な成果	○防災・減災の専門家の支援や助言を受け、災害対策本部訓練を実施しました。 ○地域や市職員による防災訓練を実施するとともに、関係機関参加型の防災訓練を実施しました。							
主な課題	○自助・共助の重要性が浸透していないため、引き続き周知を図ります。							
主な成果・課題を踏まえた今後の取組の方向性	○今後も災害に対する自助・共助の重要性を周知するとともに、防災訓練を実施するなど、防災対策の強化を図ります。							

第2次基本計画(施策)進行管理票

6主な取組名称②	災害に強い基盤づくり	取組(進捗)状況	B
主な成果	<p>○平成30年度から令和元年度までの継続事業で、防災行政無線子局52基のデジタル化整備を実施するとともに、木更津第二小学校にある耐震性貯水槽を補修しました。</p> <p>○平成31年度の木造住宅耐震化促進事業にて4回の無料耐震相談会を開催し、12件の一般診断を実施しました。また台風被害のため耐震改修事業は0件となった。</p> <p>○戸別訪問に代わる普及啓発事業として固定資産税納税通知書に木造住宅耐震化促進事業のパンフレットを同封して事業の周知をおこなった。</p>		
主な課題	<p>○近年、情報伝達手段が進化しており、それに合った対応を行う必要があります。</p> <p>○市民の耐震化意識の維持向上のため、平成31年度におこなった普及啓発事業のフォローアップを行う必要があります。</p>		
主な成果・課題を踏まえた今後の取組の方向性	<p>○令和4年11月末までに市内全ての子局のデジタル化整備を実施するとともに、避難所等における情報伝達手段の多重化と発信内容の充実を図ります。</p> <p>○令和2年度は、4回の無料耐震相談会開催と20件の一般診断及び12件の耐震改修事業の実施を目標に木造住宅耐震化促進事業を推進します。</p>		
6主な取組名称③	防災意識の向上	取組(進捗)状況	B
主な成果	<p>○防災・減災の専門家により、区長会連合会や市職員に対する講習会を実施しました。</p> <p>○地域の防災リーダーとして活躍いただく人材育成の一環として、木更津市自主防災実務者講習会(千葉県災害対策コーディネーター養成講座)を2回実施しました。</p>		
主な課題	<p>○令和元年度は自主防災組織の新規設立はありませんでしたが、今後新規設立が多く見込まれるため、市職員による支援が必要となります。</p>		
主な成果・課題を踏まえた今後の取組の方向性	<p>○昨年の台風等を経験し、市民の防災意識が向上しました。今後も広報きさらづや市公式ホームページ等を活用し、市民の防災意識の向上を図るとともに、講習会等を実施します。</p>		
6主な取組名称④	災害発生時の迅速な対応	取組(進捗)状況	B
主な成果	<p>○昨年の台風等では、災害対策本部を設置するとともに、地域防災計画や業務継続計画に基づく対応を行い、災害復旧の迅速かつ確かな実施に努めました。</p> <p>○参加条件に見合った職員が研修に参加したことで、新たに被災宅地危険度判定士を増員しました。</p>		
主な課題	<p>○昨年の台風等では、地域防災計画や業務継続計画の災害想定を超えた災害を経験しました。</p> <p>○災害復旧や生活環境の早期回復を図るため、被災宅地危険度判定士を育成するための周知をする必要があります。</p>		
主な成果・課題を踏まえた今後の取組の方向性	<p>○昨年の台風等では長期間の停電を経験したことから、地域防災計画や業務継続計画を現在の災害想定より厳しい条件とした計画に見直します。</p> <p>○引き続き被災宅地危険度判定士を育成するための周知を図ります。</p>		

第2次基本計画(施策)進行管理票

1施策名	基本方向01 基本政策03 施策07 消防・救急救助体制の充実	取りまとめ担当課	消防総務課	7.施策目標の達成(進捗)状況	B
------	---------------------------------	----------	-------	-----------------	----------

2目標	火災や事故のほか、近年増加している大規模災害などから、市民の安心・安全な暮らしを守るため、消防力の強化や救急救助体制の充実を目指します。							
3施策目標の実現に関する指標	指標名	現状値(目標設定時)	実績値(R1)	実績値(R2)	実績値(R3)	実績値(R4)	目標値(R4)	グラフ
	救急車現場到着所要時間の短縮	9.3分 (平成29年)	9.6分				8.5分	
	消防団員充足率	90.8% (平成29年)	83.0%				100%	

4施策達成のために要した事業費	事業名	R1 予算額(千円)	R1 決算見込額(千円)
	○消防職員防火衣一式更新事業費(計画事業P7・進捗状況○)		4,362
○消防団新基準活動服等購入費(計画事業P8・進捗状況○)		11,193	11,193
○小型動力ポンプ付積載車購入費(計画事業P9・進捗状況○)		18,400	18,194
消防本部庁舎建設事業費		31,438	31,434
庁舎改修費		5,714	5,653
救急救助業務費		3,114	3,049
救急救助資機材購入費		4,893	4,893
消防活動資機材購入費		3,500	3,499
消防団業務活動費		2,988	2,986
消防団活動用資機材購入費		2,400	2,400
消防団活動用資機材購入費		2,400	2,400
計		90,402	89,913

5毎年度の予算額及び決算見込額の推移	年度	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	合計
	予算額(千円)	90,402				90,402
	決算額(千円)	89,913				89,913

第2次基本計画(施策)進行管理票

6主な取組名称①	消防力の整備充実	取組(進捗)状況	A
主な成果	<p>○建物の老朽化や狭隘化などの諸問題を抱えていた消防本部庁舎の新築工事が完了し、消防力の更なる充実と市民サービスの向上及び防災拠点としての機能拡充を図りました。</p> <p>○消防組織の適正配置について検討した結果、消防署長須賀分署を廃止し、消防・救急機能を消防署本署及び消防署清川出張所に振り分けることで、市内各地域における消防力の平準化を図りました。</p> <p>○令和元年9月に消防隊員の防火衣を「総務省消防庁の消防隊員用個人防火装備に係るガイドライン」に即した防火衣に更新整備しました。この更新整備により、消防隊員の安全性を確保し、より性能の高い装備になったことから、火災等の災害現場において安全且つ迅速に災害活動ができるようになりました。</p> <p>○令和元年9月に整備した空気呼吸器などの消防活動資機材は、消防隊員の安全性を高めるとともに、要救助者の救出時に市民に対して安心・安全を与えるものとなりました。</p>		
主な課題	<p>○市内消防施設(各分署、出張所等)について、最も古い施設は建築から60年が経過しており、建物の老朽化等の諸問題を抱えていることから、消防組織の適正配置を踏まえつつ、建物の建替えや改修工事等について検討が必要です。</p> <p>○防火衣については、高額である等の理由により毎年20着から40着程度の更新整備となっていますが、全消防隊員分の着数を早急に整備する必要があります。</p> <p>○老朽化した消防活動資機材等についても、安全な現場活動については市民の安心・安全な暮らしを守るため、早急に更新整備等を行う必要があります。</p>		
主な成果・課題を踏まえた今後の取組の方向性	<p>○消防施設等について、消防組織の適正配置を踏まえつつ、建物の建替えや改修工事等について検討します。</p> <p>○市民が安心して生活できる地域社会を作るため、防火衣を含む消防活動資機材等を積極的に整備し、消防力の充実強化を図ります。</p>		
6主な取組名称②	救急救助体制の強化	取組(進捗)状況	B
主な成果	<p>○令和元年8月に化学物質等を使用したテロなどのNBC災害に対応するため、除染シャワー及び化学防護服を整備しました。</p> <p>○令和元年9月には傷病者への救命率向上を図るため、救急救命士が静脈路確保について訓練を実施する資機材「特定行為訓練資器材(腕自慢)」を整備しました。これらの救急救助資機材を整備することにより、救急救助体制の強化が図られました。</p>		
主な課題	<p>○令和元年度の救急出動件数が前年度に比べて10%弱増加していることにより、「救急車現場到着所要時間の短縮」の目標指数を達成できなかった要因としてあげられますが、今後、救急体制の強化を図るために必要な資機材を整備し、目標指数である「救急車現場到着所要時間の短縮」を含めた救急活動時間の短縮に努める必要があります。</p>		
主な成果・課題を踏まえた今後の取組の方向性	<p>○複雑多様化する各種救急救助活動に対応するために、必要な資機材を整備し、更なる救急救助体制の強化を図ります。</p> <p>○「救急隊現場到着所要時間の短縮」の目標指数達成に向けて、様々なイベントを通じて救急車の適正利用について啓発を行います。</p>		
6主な取組名称③	火災予防体制の充実強化	取組(進捗)状況	A
主な成果	<p>○防火対象物及び危険物施設への立入検査を通年で防火対象物259件実施し、重大な違反対象物5件中4件が是正されたことに加え、危険物施設は116件実施し、設置から40年以上経過した違反状態の地下タンク3件中2件が是正されました。</p> <p>○小学生や園児を対象とした消防署の見学は通年で59件、職場体験は通年で17件、8月には少年少女防火教室を開催し防火・防災に対する理解や興味を深めるとともに、将来の防火・防災を担う人材育成に努めました。</p> <p>○住宅用火災警報器の設置促進については、訪問調査を実施し100世帯の設置率は78%で、前年度の77%から若干の向上が見られました。また、火災予防運動期間中に、一人暮らし高齢者宅374世帯を訪問し、設置率は81%でした。これは一般世帯よりも高い数字になります。</p>		
主な課題	<p>○防火対象物及び危険物施設の違反是正について、残る1件についても継続して指導していく必要があります。</p> <p>○住宅用火災警報器の設置促進についても住宅用火災警報器の重要性を理解していただき、更なる普及・啓発が必要です。</p>		
主な成果・課題を踏まえた今後の取組の方向性	<p>○違反対象物の違反是正について、危険物施設や防火対象物に対する立ち入り検査の実施強化を図るとともに、前年度の違反対象物全ての違反是正を目指します。</p> <p>○住宅用火災警報器の普及促進について、地域の自主防災訓練や事業所の自衛消防訓練時に住宅用火災警報器の重要性を粘り強く説明して、前年度以上の設置率を目指します。</p>		

第2次基本計画(施策)進行管理票

6主な取組名称④	消防団の充実強化	取組(進捗)状況	B
主な成果	<p>○年4回開催される市民を対象とした本部主催の救命講習会に機能別分団女性部が応急手当指導員として参加し、木更津市消防団の取り組みをアピールしました。</p> <p>○第4分団第2部及び第5分団第2部の老朽化した小型動力ポンプ付積載車を更新したことにより、消防団員の活動能力を高め、防災強化体制が充実しました。</p>		
主な課題	<p>○消防団員について、積極的な募集広報を行っていますが、いまだに減少傾向にあることから、更なる広報等が必要です。</p> <p>○大規模災害時等の災害に対応するため、消防団活動の強化や役割を特化した新たな機能別分団の発足について検討が必要です。</p> <p>○老朽化した消防団の装備及び車両の更新等、消防団の充実強化を図る必要があります。</p>		
主な成果・課題を踏まえた今後の取組の方向性	<p>○様々なイベント等を通じて、消防団の重要性について市民の理解を深め、団員の確保に努めます。</p> <p>○役割を特化した機能別分団「大規模災害団員(仮称)」の創設に向け、検討を進めます。</p> <p>○消防団員の活動時の安全と充実を図ることを目的に、消防団装備及び車両の更新を継続的に実施していきます。(令和2年度更新予定車両:第4分団第4部及び第6分団第2部)</p>		

第2次基本計画(施策)進行管理票

1施策名	基本方向01 基本政策04 施策08 防犯体制の充実				取りまとめ担当課	市民活動支援課	7.施策目標の達成(進捗)状況	B
2目標	市民の防犯意識を高め、犯罪の未然防止を図ることで、安全で安心して暮らせるまちづくりの実現をめざします。							
3施策目標の実現に関する指標	指標名	現状値(目標設定時)	実績値(R1)	実績値(R2)	実績値(R3)	実績値(R4)	目標値(R4)	グラフ
	防犯カメラの設置台数	18台 (平成29年度)	20台				22台 (累計)	
4施策達成のために要した事業費	事業名				R1 予算額(千円)	R1 決算見込額(千円)		
	○防犯ボックス整備事業費(計画事業P10・進捗状況○)				4,000	3,874		
	防犯カメラ設置事業				600	600		
	防犯団体負担金・補助金				761	761		
	LED防犯灯整備事業費				18,243	18,243		
	防犯灯設置事業補助金				1,252	1,180		
	防犯活動啓発事業費				186	154		
	計				25,042	24,812		
5毎年度の予算額及び決算見込額の推移	年度	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	合計		
	予算額(千円)	25,042				25,042		
	決算額(千円)	24,812				24,812		
6主な取組名称①	防犯活動の推進					取組(進捗)状況	B	
主な成果	<ul style="list-style-type: none"> ○自主防犯活動団体に対して、防犯ベスト等の防犯活動に必要な物資の支援を行いました。(31団体、128,422円) ○青パト車を使用した防犯パトロールを実施しました。(市民部職員、防犯指導員合わせて年間390回) ○防犯活動に従事する者の知識の向上を図るため、10月に防犯講習会を実施しました。(52名参加) 							
主な課題	<ul style="list-style-type: none"> ○防犯団体の構成員や防犯指導員の高齢化が課題となっています。 ○防犯団体の活動が活発な地区とそうでない地区の偏りが生じています。 							
主な成果・課題を踏まえた今後の取組の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ○令和2年度から請西南地区に防犯ボックスを設置します。 ○啓発活動と併せて、防犯団体や学校等との防犯パトロールを行い、地域で一体となって安心・安全なまちづくりの実現を目指します。 							

第2次基本計画(施策)進行管理票

6主な取組名称②	防犯設備の整備		取組(進捗)状況	B
主な成果	<ul style="list-style-type: none"> ○自治会等から設置要望があったLED防犯灯について、64基分の設置補助を実施しました。 ○街頭防犯カメラを上烏田地区に1台増設しました。 			
主な課題	<ul style="list-style-type: none"> ○防犯灯の設置費用の一部を自治会等に補助していますが、要綱上、自治会が無い箇所への設置については補助対象外となっています。 ○各地区から防犯カメラの設置要望がありますが、要望のすべてに対応できていません。 			
主な成果・課題を踏まえた今後の取組の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ○自治会等と協力しながら、地域防犯力の環境整備を図っていきます。 ○県等の補助金や支援制度を活用し、防犯カメラの増設を図ります。 			

第2次基本計画(施策)進行管理票

1施策名	基本方向01 基本政策04 施策09 交通安全対策の充実	取りまとめ担当課	市民活動支援課	7.施策目標の達成(進捗)状況	B			
2目標	道路交通環境の整備や交通安全意識の高揚等の交通安全対策を推進し、交通事故発生件数の減少をめざします。							
3施策目標の実現に関する指標	指標名	現状値(目標設定時)	実績値(R1)	実績値(R2)	実績値(R3)	実績値(R4)	目標値(R4)	グラフ
	交通安全教室	4,884人 【うち高齢者24人】 (平成29年度)	4,331人 【うち高齢者54人】				5,860人 【うち高齢者270人】	

4施策達成のために要した事業費	事業名	R1 予算額(千円)	R1 決算見込額(千円)
	○市道122号線歩道改良事業(計画事業P11・進捗状況○)	15,000	16,863
	○市道102号線交差点改良事業(計画事業P12・進捗状況○)	14,490	17,392
	○パークウェイプロジェクト推進事業(富士見通り歩道改良)(計画事業P13・進捗状況○)	6,000	9,396
	道路交差点名表示板設置事業	2,000	1,870
	駐車場管理費(西口)	29,953	29,792
	交通安全教室指導事業費	636	479
	木更津市営自転車駐車場の管理	16,973	16,263
	放置自転車等対策事業	415	266
	交通災害共済事業	6	6
計	85,473	92,327	

5毎年度の予算額及び決算見込み額の推移	年度	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	合計
	予算額(千円)	85,473				85,473
	決算額(千円)	92,327				92,327

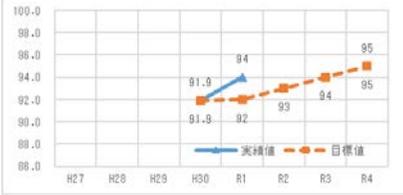
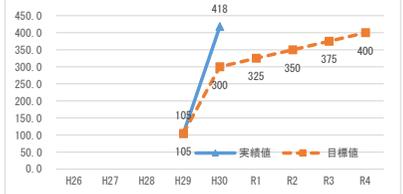
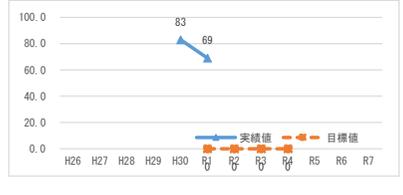
第2次基本計画(施策)進行管理票

6主な取組名称①	交通環境の整備	取組(進捗)状況	B
主な成果	<ul style="list-style-type: none"> ○市道122号線歩道改良事業については、基本計画どおりの整備延長を施工しました。 ○市道102号線交差点改良事業については、道路整備の完了に伴い、信号機を設置しました。 ○パークウェイプロジェクト推進事業(富士見通り歩道改良)については、基本計画どおり測量・基本設計が完了しました。 ○令和2年3月に交差点名表示板を4交差点に設置し、交差点名の周知を図りました。 ○金田第一駐車場の再整備については、土地区画整理事業者と今後の整備計画について、協議を行いました。 ○木更津駅前西口駐車場については、防災設備や駐車区画線の修繕を行うとともに、障害者用駐車枠を拡充しました。 		
主な課題	<ul style="list-style-type: none"> ○市道122号線歩道改良事業については、歩行者の側溝転落が危惧されることから、早期の整備完了が望めます。 ○パークウェイプロジェクト推進事業(富士見通り歩道改良)については、今後実施する本工事の整備スケジュールについて、中心市街地活性化基本計画との整合を図る必要があります。 ○道路交差点名表示板設置事業によって交差点名表示板を設置した後、カーナビ等の連動に時間を要します。 ○金田第一駐車場の再整備については、土地区画整理事業者の進捗に合わせ、整備計画等を見直す必要があります。 ○木更津駅前西口駐車場については、適正な維持管理を行うため、修繕計画等を見直す必要があります。 		
主な成果・課題を踏まえた今後の取組の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ○市道122号線歩道改良事業については、次期基本計画において、整備費用の増加に務める。 ○パークウェイプロジェクト推進事業(富士見通り歩道改良)については、中心市街地活性化基本計画と整備スケジュールの調整を行いながら実施します。 ○道路交差点名表示板設置事業については、一般財団法人日本デジタル道路地図協会と連携し、速やかなカーナビ連動をすることにより、道間違えによるUターン事故を減らし、交通安全に寄与します。 ○金田第一駐車場の再整備については、引き続き土地区画整理事業者と今後の整備計画等について協議を行います。 ○木更津駅前西口駐車場については、施設の状況を踏まえ、修繕計画等を見直します。 		
6主な取組名称②	交通安全の推進と意識の高揚	取組(進捗)状況	B
主な成果	<ul style="list-style-type: none"> ○保育園や小中学校等に向けて交通安全教室を実施しました(合計58回、6,744人) ○木更津市営自転車駐車場の管理については、指定管理者側の管理継続が不可能となり、12月末から市の直営として管理を行いました。 ○放置自転車の撤去については、12月末までは指定管理者と協力して撤去作業にあたりました。 		
主な課題	<ul style="list-style-type: none"> ○学校の統廃合や少子化により安全教室の実施回数の確保が困難となっています。また、天候や学校等の日程に左右され、安定した実施が見込まれない場合があります。 ○木更津市営自転車駐車場の管理については、指定管理者側の管理継続が不可能となり、12月末から市の直営として管理を行っていることから、早期に指定管理者の決定をする必要があります。 ○放置自転車の撤去については、放置件数の低下が見られますが、木更津駅東口における自転車等の放置は依然として確認されることから、さらなる撤去作業の向上が必要です。 		
主な成果・課題を踏まえた今後の取組の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ○自動車学校や警察、学校等との連携を強化し、交通安全教室の実施回数の確保、対象人数の増加に努めます。 ○木更津市営自転車駐車場の管理については、来年の4月までを目標に、早期に指定管理者を決定します。 ○放置自転車の撤去については、さらなる撤去事業の向上を図ります。 		
6主な取組名称③	被害者救済制度の充実	取組(進捗)状況	B
主な成果	<ul style="list-style-type: none"> ○交通災害共済については、集団会員及び一般会員に分けて募集を行い、交通事故に遭った加入者に対して、利用の申請に応じて適切に対応しました。 ○交通事故相談については、4月を除き毎月2日間、相談日を設けて相談希望者の相談に応じました。 		
主な課題	<ul style="list-style-type: none"> ○交通災害共済については、少子化等の要因から年々加入者の減少が見られ、加入者の増加促進に努める必要があります。 ○昨今の交通事故発生件数の増加から、利用者の増加が確認できるので、交通事故防止の啓発にも努める必要があります。 		
主な成果・課題を踏まえた今後の取組の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ○交通災害共済については、加入者の増加促進に努めるとともに、交通事故防止の啓発にも努めます。 ○交通事故相談については、今後も相談希望者の相談に適切に応じます。 		

第2次基本計画(施策)進行管理票

1施策名	基本方向01 基本政策03 施策10 消費者支援の充実	取りまとめ担当課	市民活動支援課	7.施策目標の達成(進捗)状況	B			
2目標	市民が消費生活に関する正しい知識と判断力を身につけ、消費者トラブルを未然に防ぐために、消費者教育の充実を図るとともに、関係団体とのさらなる連携強化をめざします。							
3施策目標の実現に関する指標	指標名	現状値(目標設定時)	実績値(R1)	実績値(R2)	実績値(R3)	実績値(R4)	目標値(R4)	グラフ
	中学校及び公民館等における出前講座の開催回数	19回 (平成29年度)	19回				25回	
4施策達成のために要した事業費	事業名			R1 予算額(千円)	R1 決算見込額(千円)			
	消費生活相談員報酬			8,193	6,376			
	消費生活センター事業費			2,400	2,638			
	計			10,593	9,014			
5毎年度の予算額及び決算見込額の推移	年度	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	合計		
	予算額(千円)	10,593				10,593		
	決算額(千円)	9,014				9,014		
6主な取組名称①	消費者の自立支援				取組(進捗)状況	B		
主な成果	<ul style="list-style-type: none"> ○高齢者福祉課と連携し、地域包括支援センターとの共催講座を令和元年11月に開催しました。今回新たに講演会や認知症カフェを企画し、114名の参加がありました。 ○高齢者の見守りを行うための消費者安全確保地域協議会の設立に向けたシンポジウムを令和2年1月に開催し、多様な主体による連携体制の構築を行いました。 ○訪問販売や電話de詐欺の被害防止のため、訪問販売お断りシールを作成し、配布を行いました。 							
主な課題	<ul style="list-style-type: none"> ○市民に対して消費生活センター及び消費者ホットライン(188)の更なる周知を行います。 ○若年層への効果的な情報発信の仕組みが構築できていないため、安心安全メールやSNSを活用した情報発信方法を研究し、効率的な仕組みの構築を目指します。 							
主な成果・課題を踏まえた今後の取組の方向性	○多様な機関と連携し、負担なく情報共有が可能となるシステムの構築を目指すとともに、見守りネットワークの確立に向けて消費者安全確保地域協議会の設立を目指します。							

第2次基本計画(施策)進行管理票

1施策名	基本方向02 基本政策01 施策11 子育て支援の充実	取りまとめ担当課	子育て支援課	7.施策目標の達成(進捗)状況	A				
2目標	子ども一人ひとりの特性にあった健やかな成長を見守り、子どもを安心して産み育てる環境をつくることで、子育て世代にとって魅力あるまちづくりをめざします。								
3施策目標の実現に関する指標	指標名	現状値(目標設定時)	実績値(R1)	実績値(R2)	実績値(R3)	実績値(R4)	目標値(R4)	グラフ	
	この地域で子育てをしたいと思う人の割合	91.9%(そう思う:56.3%どちらかといえばそう思う:35.6%)(平成29年度)	94.0%(そう思う:59.9%、どちらかといえばそう思う34.1%)					95%	
	ファミリーサポートセンター事業会員数	105人(平成29年度)	418人(令和元年度)					400人	
	保育園の待機児童数	83人(平成30年4月1日時点)	69人(平成31年4月1日時点)					0人	
4施策達成のために要した事業費	事業名		R1予算額(千円)	R1決算見込額(千円)					
	○保育士確保対策事業費(計画事業P14・進捗状況○)		100,000	26,965					
	○民間保育園等施設整備費補助金(計画事業P15・進捗状況○)		470,355	225,978					
	○請西保育園防音工事(計画事業P16・進捗状況○)		4,300	4,269					
	子育て世代包括支援センター事業費		5,298	4,569					
	新生児・妊産婦訪問指導員報酬		4,032	3,572					
	発達相談事業費		1,672	1,574					
	特別保育事業費(ファミリー・サポート・センター事業費)		3,560	3,560					
	保育所等における業務効率化推進事業費補助金		3,700	3,700					
	認可外保育施設利用者助成金		9,808	9,808					
計		602,725	283,995						

第2次基本計画(施策)進行管理票

5毎年度の予算額及び決算見込額の推移	年度	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	合計
	予算額(千円)	602,725				602,725
	決算額(千円)	283,995				283,995

6主な取組名称①	妊娠・出産・子育て期への切れ目のない支援の充実	取組(進捗)状況	A
主な成果	<ul style="list-style-type: none"> ○初妊婦だけではなく経産婦向けの支援を開始しました。(ママ広場の開催令和元年度より月1回の開催)参加率は、18.3%で90人の参加でした。 ○発達相談事業のひとつである保育園等巡回相談の実施により市内の保育園、幼稚園と連携できる体制が構築できました。(市内の保育園幼稚園、療育支援施設の関係者を集めた報告会を2月14日に開催) 		
主な課題	<ul style="list-style-type: none"> ○妊婦への栄養指導の強化を図る必要があります。 ○発達相談事業後の受け皿が不足しているため、障がい福祉課や幼児言語教室等の関係各課と連携した支援先の確保や支援方法の検討が課題となっています。 		
主な成果・課題を踏まえた今後の取組の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ○妊婦の栄養講座を実施します。 ○巡回相談を市内保育園幼稚園の全園で実施します。 		

6主な取組名称②	保育・幼児教育の充実	取組(進捗)状況	B
主な成果	<ul style="list-style-type: none"> ○保育園の待機児童解消に向け、保育所等整備交付金等を活用した保育園の整備を進め、保育の受入体制の充実及び保育環境の改善を図りました。 ○保育士確保対策事業の実施により保育士不足の解消を図り、質の高い保育を目指して待機児童解消に努めた結果、待機児童数を減少することができました。 ○民営化事業者選定委員会を開催し、吾妻保育園、久津間保育園に続き、中郷保育園の民間事業者への移管が決定しました。 ○共働き家庭等の児童の居場所となる放課後児童クラブの運営に対し補助を行い、児童の健全育成を図ったことにより、令和元年6月に金田小学校区へクラブ新設があり、市内全小学校区の設置となりました。 ○令和元年10月から幼児教育・保育の無償化の事業が開始され、保護者の経済的負担を軽減、保育・幼児教育の充実が図られました。 		
主な課題	<ul style="list-style-type: none"> ○待機児童数は減少したものの、引き続き解消に向けて取り組んでいく必要があります。 ○市立保育園の民営化に向けて、保護者や地域との合意形成を図る必要があります。 		
主な成果・課題を踏まえた今後の取組の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ○待機児童解消に向け、さらなる保育施設の整備や保育士の確保及び処遇改善を図ります。 ○市立保育園の民営化を円滑に進めていくため、市、事業者及び保育園保護者との間で三者協議会を設置し、移管に伴う合意形成を図ります。 		

6主な取組名称③	子育て家庭・ひとり親への経済的支援の充実	取組(進捗)状況	A
主な成果	<ul style="list-style-type: none"> ○子育て家庭に対し、児童手当の給付や子ども医療費の助成による経済的な支援を行いました。 ○母子家庭や父子家庭等の状況に応じ、自立に向けた相談支援、就職に向けた資格取得のための支援、児童扶養手当の給付やひとり親家庭等医療費の助成による経済的な支援を行いました。 ○未熟児として出生した子どもに対して、未熟児養育医療制度に基づく経済的な支援を行いました。 		
主な課題	<ul style="list-style-type: none"> ○ひとり親家庭に対する経済的支援について、更なる周知を図ります。 		
主な成果・課題を踏まえた今後の取組の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ○子育ての不安や就労問題など様々な事情を抱えているひとり親に対し、経済的負担の軽減を図り、一人ひとりに寄り添った支援に取り組みます。 		

第2次基本計画(施策)進行管理票

6主な取組名称④	母子保健の充実	取組(進捗)状況	A
主な成果	<p>○母子健康手帳交付時の保健指導では、低出生体重児の出生予防の観点からの、妊婦自身の適正に体重増加することの大切の理解を図りました。</p> <p>○プレママ講座の中で、妊婦中の生活習慣が産後の赤ちゃんの生活習慣と関係していることを伝え、妊婦自身が生活習慣を整えることの大切さの理解を図りました。</p> <p>○乳幼児健診および各種教室にて、基本的な生活習慣の確立に向けた健康教育を実施し、普及啓発に努めました。重ねて個別指導の際は、家庭の状況に応じて丁寧な保健指導に努めました。</p>		
主な課題	<p>○妊娠中の栄養指導の強化を図る必要があります。</p> <p>○妊娠期、乳幼児期からの家族ぐるみでの基本的な生活習慣の確立に向けた保健指導の拡充を図る必要があります。</p>		
主な成果・課題を踏まえた今後の取組の方向性	<p>○妊婦の栄養講座を実施します。</p> <p>○基本的な生活習慣の確立に向けて関係機関と連携・協働した保健指導を実施します。</p>		
6主な取組名称⑤	児童虐待・DV等の予防及び対策	取組(進捗)状況	A
主な成果	<p>○広報きさらづ6月号へ相談窓口の掲載を行ったほか、カードやステッカーの設置等により啓発活動を行いました。</p> <p>○啓発活動により、ドメスティック・バイオレンス防止及び被害者への相談先の周知を図り、特に立場の弱い女性の権利擁護を図りました。</p> <p>○児童虐待の早期発見のためのチェックリストを基に、小中学校長会、保育園園長会議、主任児童委員会等の機関に説明を加えて配布しました。</p> <p>○個別支援会議を36事例(49人)に対して65回開催し、事例に応じた関係機関を召集し、情報共有や課題を明確にしたうえで具体的な支援方針・役割分担を決定しました。</p> <p>○適宜、情報共有を行い、支援方針の見直しを行いました。</p>		
主な課題	<p>○市内保育施設長会議、小中学校校長会・教頭会・養護教育部会等で連携強化に関する説明会を行うほか、情報の共有化が図れるよう個別支援会議を開催し、役割分担を明確にしたうえで連携していきます。</p> <p>○通告や相談に対し、適切な助言などで問題解決できるよう、今後も継続して対応していきます。</p>		
主な成果・課題を踏まえた今後の取組の方向性	<p>○関係機関との連携を強化し、子どもに対する虐待や、配偶者やパートナーからの暴力等に対応するため、相談に対して適切な助言をし、問題の解決を図ります。</p>		
6主な取組名称⑥	市民活動・民間活力による子育て支援の推進	取組(進捗)状況	B
主な成果	<p>○ファミリーサポートセンター事業の会員数が前年比で398%増加しました。</p> <p>○請西子育て支援センターでのPR活動により会員数が増加しました。</p>		
主な課題	<p>○ファミリーサポートセンター事業の利用者が送迎業務に偏っていることや、利用者が固定化されていることが課題となっています。</p>		
主な成果・課題を踏まえた今後の取組の方向性	<p>○預かり支援を増やすために、預かる場所の拡大を図ります。</p>		

第2次基本計画(施策)進行管理票

1施策名	基本方向02 基本政策02 施策12 学校教育の充実			取りまとめ担当課	学校教育課	7.施策目標の達成(進捗)状況	B	
2目標	家庭、地域社会、学校・行政の協働によるトライアングル子育て運動を基本理念に、「確かな学力」を備え、心身共に健康で、「生きる力」を身につけた児童生徒の育成を図り、家庭や地域から信頼される魅力ある学校づくりをめざします。							
3施策目標の実現に関する指標	指標名	現状値(目標設定時)	実績値(R1)	実績値(R2)	実績値(R3)	実績値(R4)	目標値(R4)	グラフ
	学校評価満足度	小学校:86.4% 中学校:81.3% (平成29年度)	小学校:84.2% 中学校:83.3%				小学校:90% 中学校:90%	
	学校支援ボランティア登録者数	1,915人 (平成29年度)	1,903人				2,000人	
4施策達成のために要した事業費	事業名		R1予算額(千円)	R1決算見込額(千円)				
	○西清小学校屋内運動場非構造部材対策事業費(計画事業P17・進捗状況○)		101,811	71,229				
	○岩根小学校屋内運動場非構造部材対策事業費(計画事業P18・進捗状況○)		74,267	71,900				
	○金田小学校校舎増築事業費(計画事業P19・進捗状況△)		207,084	5,875				
	○太田中学校校舎増築事業費(計画事業P20・進捗状況△)		167,619	3,808				
	学校適応指導相談員報酬		5,869	5,868				
	外国語指導助手(ALT)報酬		74,538	74,081				
	学校適応指導教室事業費		301	296				
	教育相談教室事業費		1,180	1,180				
	研修会運営費		221	221				
	算数・数学検定事業費		765	765				
	幼児言語教室運営事業費		3,526	3,434				
	外国語指導助手(ALT)配置事業費		2,206	2,016				
	まなび支援センター維持補修費		20	19				
	小学校施設管理費		24,697	24,201				
	小学校維持補修事業費		15,730	15,598				
	小学校施設改修事業費		12,000	11,994				
	中学校施設管理費		17,350	17,334				
	中学校維持補修事業費		13,360	13,293				
	中学校施設改修事業費		4,400	4,397				
	心の教室相談員報酬		6,896	6,881				
	スクール・サポート・ティーチャー報酬		36,971	36,790				
	特別支援教育体制整備推進事業費		2,791	2,480				
心の教育推進協議会事業費		275	254					

第2次基本計画(施策)進行管理票

学校支援ボランティア活動推進事業費	785	784
学校評価のガイドラインに基づく評価実践研究事業費	150	144
特別支援学級設置事業費	160	158
環境教育等推進事業費	391	347
実用英語検定補助金	1,760	1,735
特別支援学級設置事業費	120	90
計	777,243	377,172

5毎年度の予算額及び決算見込額の推移	年度	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	合計
	予算額(千円)	777,243				777,243
	決算額(千円)	377,172				377,172

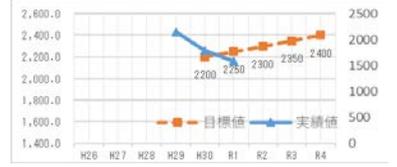
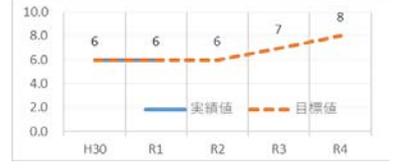
6主な取組名称①	教育内容の充実	取組(進捗)状況	A
主な成果	<p>○ALTを20名雇用し、小中学校へ配置しました。小学校外国語活動の授業に90%以上の平均配置率を確保し、ALTとのチームティーチングを通して、外国語活動の充実を図りました。また、中学校においても、ALTの活用を積極的に進め、コミュニケーション能力の育成に力を発揮しました。</p> <p>○子どもたちの確かな学力育成取得に向けて、英語検定受験料の補助や、算数・数学検定の実施、職場体験などによるキャリア教育推進に努めました。</p> <p>○市内小学校6校によるエコクッキングの推進、生活習慣病の予防やがん教育に関する授業、保健体育の授業などの工夫・改善を図り、健康・体育・安全指導の充実を図りました。</p>		
主な課題	<p>○小学校においては、令和2年度より新学習指導要領の全面实施となるため、さらなるALTの適正配置と活用の促進に向けて努力していきます。</p> <p>○新学習指導要領に基づき、主体的で深い学びが得られるよう、教育内容や教育環境の見直しを図っていきます。</p>		
主な成果・課題を踏まえた今後の取組の方向性	<p>○ALTを増員し、小学校外国語の授業時間にALTを100%配置できるようにします。また、中学校の配置率を上げ、ALTの活用をさらに進めます。</p> <p>○確かな学力を育てるために、学習習慣の形成や国際理解教育、情報教育を推進します。</p>		

6主な取組名称②	教育環境の整備	取組(進捗)状況	B
主な成果	<p>○学校給食に提供した千葉県産食材の使用に努め、また農業化学肥料を使用していない米を、全小中学校に3日間提供し、地産地消による学校給食の提供を推進しました。</p> <p>○日常的に発生する学校教育施設の不具合を適時補修するため、小学校は150件の修繕、20件の工事、中学校は122件の修繕、9件の工事を行ったことにより、安全で快適な学習環境の維持管理を図りました。</p> <p>○小学校においては、西清小学校及び岩根小学校の『屋内運動場非構造部材対策事業』を行ったことにより、屋内運動場の耐震補強を図り、また、児童増加による教室不足を解消するため、金田小学校校舎増築工事(令和2年度完了予定)に向けた設計業務委託を行いました。</p> <p>○中学校においても、児童増加による教室不足を解消するため、太田中学校校舎増築工事(令和2年度完了予定)に向けた設計業務委託を行いました。</p> <p>○平成30年度から開始した『小学校空調整備事業』及び『中学校空調整備事業』を引き続き行ったことにより、市内に存在する小学校(15校)並びに中学校(12校)にエアコン設置が完了し、学習環境の向上を図りました。</p>		
主な課題	<p>○地元野菜の使用に向け、生産者・流通方法等調査、検討が必要であると認識しました。</p> <p>○施設等の不具合が発生し、多数の施設管理者から修繕、工事等の実施依頼が集中した際には、請負会社の手が足りず、速やかに改修工事等を行えないケースも見受けられました。</p> <p>○近年では大規模な自然災害が多く発生していることから、災害時における対応方法などについて、施設管理者と事前に情報共有を図る必要があるものと考えます。さらには、教室不足が予測され、今後の整備が必要となる学校を明確にし、計画的な整備を行っていくための個別施設計画を策定する必要があるものと考えます。</p>		
主な成果・課題を踏まえた今後の取組の方向性	<p>○地元野菜の使用に向け、納入可能品目が確定できるよう、協力業者の調査及び方法等を検討してまいります。</p> <p>○修繕、工事等の実施依頼が集中した際には、被害状況を的確に把握し、軽微な被害のものについては応急的な修理において対応するなど、より効果的かつ効率的な修繕及び工事の実施に努めていきます。また、日頃より、気候に係る情報の収集に努め、悪天候により自然災害の発生が予想される場合には、被害発生前に施設管理者及び業者側と密に連絡を取り、被害時に迅速な対応を行えるよう調整を図っていきます。</p> <p>○関係各課等と適宜調整を図り、どの学校をいつ整備していくかなど、計画的な整備を進めるための個別施設計画を策定していきます。</p>		

第2次基本計画(施策)進行管理票

6主な取組名称③	特別支援教育の推進	取組(進捗)状況	A
主な成果	<p>○市内の幼稚園、保育園、認定こども園等にて1,145名の年長児の言語検査を実施し、409名の保護者へ結果通知しました。</p> <p>○主に年長児を中心とした在籍者159名に対し2,012回の言語指導を行い、来所相談及び電話相談を429回実施し、保護者の不安解消に努めました。</p> <p>○保護者の承諾を得て通所児104名について、ことばの練習の進捗やお子さんの様子など入学予定校への引継ぎを行い、スムーズにスタートできるよう努めました。</p> <p>○市内小学校の通常学級に在籍する特別な支援を必要とする児童生徒に対し、スクール・サポート・ティーチャーを1名増員し、21名としました。</p>		
主な課題	<p>○言語検査結果通知を得て初診の申し込みをするため、5月以降から初診が混雑し始めました。初診後、相談のみとなり、通所に繋がらないことがありました。</p> <p>○発音練習よりも発音以外の課題や集団生活での心配面があるケース、他機関との併用を望むケースが増え、また、保護者対応に時間を要するケースが増えており、対応に悩むことがありました。特に、特別支援をすすめる必要のあるケースについては、保護者の気持ちに寄り添いながら慎重に取り組みが必要がありました。</p> <p>○希望する学校すべてに、スクール・サポート・ティーチャーの配置をできるよう取り組みます。</p>		
主な成果・課題を踏まえた今後の取組の方向性	<p>○初診については、より早く通所する必要があるお子さんが確実に通所できるように、保護者への働きかけを各園へお願いしたり、1日の初診数を増やして対応していきます。また、緊急を要しない年中児以下の相談の場合はネウボラの子育て相談を紹介していきます。</p> <p>○さまざまな課題を持つお子さんや保護者に対応するため、定期的に事例研修を行いながら専門知識を高めていきます。また、職員間で共通理解することで同じ歩調で対応できるようにし、必要に応じて複数の職員で対応していきます。</p>		
6主な取組名称④	生徒指導等の充実	取組(進捗)状況	A
主な成果	<p>○さまざまな問題を抱えた児童生徒と保護者・学校関係者を対象に、教育相談教室を56回開催しました。112件のケースに対し延べ162回の相談を実施しました。専門家との相談を通して、解決のための方向性をアドバイスいただきました。</p> <p>○学校適応指導教室あさひ学級では29名の児童生徒に対し、学校復帰に向けた適応指導を進めました。</p> <p>○道徳の学習や、生徒指導・教育相談、スクールカウンセラー・心の教室相談員の効果的な活用をし、心の教育の推進としては、いじめゼロポスター展を開催しました。</p>		
主な課題	<p>○教育相談教室では、時期によっては希望者が多く、適切な時期にご案内できないことがありました。</p> <p>○あさひ学級では、集団への抵抗が強いことから、通級日数が伸び悩むケースが多かったです。</p>		
主な成果・課題を踏まえた今後の取組の方向性	<p>○教育相談教室に関しては、計画的な時期設定に努めるとともに、相談内容によって適切な相談者をお勧めできるよう、よりよいマネジメントに努めます。</p> <p>○あさひ学級においては、個の特性や家庭環境に配慮しながら、スモールステップで適応指導を進めていきます。</p> <p>○いじめの根絶や不登校の解消を図るため、心の教育や生徒指導等を充実していきます。</p>		
6主な取組名称⑤	開かれた学校づくりの推進	取組(進捗)状況	B
主な成果	<p>○家庭、地域社会、学校・行政の協働による学校支援ボランティア活動を推進しました。</p>		
主な課題	<p>○学校へのボランティア登録数について、目標値に近づくよう努力していきます。</p>		
主な成果・課題を踏まえた今後の取組の方向性	<p>○本市の学校教育は、学校と家庭や地域が一体となって子どもを育成することを重視していることから、今後も学校・家庭・地域の連携強化を図ります。</p>		

第2次基本計画(施策)進行管理票

1施策名	基本方向02 基本政策03 施策13 青少年の健全育成			取りまとめ担当課	生涯学習課	7.施策目標の達成(進捗)状況	A	
2目標	青少年の健やかな成長を社会全体で支える仕組みを整備し、ひとりの人間として自立した、こころ豊かな人間性と主体的な判断力をもつ青少年を育みます。							
3施策目標の実現に関する指標	指標名	現状値(目標設定時)	実績値(R1)	実績値(R2)	実績値(R3)	実績値(R4)	目標値(R4)	グラフ
	キャンプ場利用者数	2,149人 (平成29年度)	1,589人 (令和元年度)				2,400人 (令和2年度)	
	放課後子ども教室の開設数	6教室 (平成30年度)	6教室 (令和元年度)				8教室	
4施策達成のために要した事業費	事業名			R1予算額(千円)	R1決算見込額(千円)			
	青少年問題協議会委員報酬			128	88			
	青少年事業費			384	293			
	生き生き子ども地域活動促進事業費			975	936			
	放課後子供教室推進事業費			2,685	2,022			
	成人式事業費			644	585			
	各種団体運営補助金			2,878	2,830			
	キャンプ場指定管理料			5,048	5,048			
	青少年指導関係運営協議会委員報酬			84	72			
	青少年指導関係費			1,074	1,042			
	社会教育指導員報酬			2,520	2,520			
計			16,420	15,436				
5毎年度の予算額及び決算見込額の推移	年度	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	合計		
	予算額(千円)	16,420				16,420		
	決算額(千円)	15,436				15,436		

第2次基本計画(施策)進行管理票

6主な取組名称①	青少年育成推進体制の充実と地域の教育力の向上	取組(進捗)状況	A
主な成果	<p>○令和元年度から市内6教室ある放課後子ども教室のうち、1教室が同じ学校敷地内にある学童クラブと連携し、児童に安全で安心な放課後の居場所づくりを提供することを目標に一体型の連携を開始しました。児童クラブ、放課後子ども教室、学校・行政が連携し、連絡会を開催し情報共有を図りました。</p> <p>○中学校区を単位とする地区住民会議において、地域ぐるみでボランティア活動、野外体験や交流活動を行い地域環境の醸成を図りました。</p> <p>○青少年健全育成活動に携わる制度ボランティアの第20期青少年相談員111名に対して委嘱を行いました。</p>		
主な課題	○青少年の健全育成のため、学校PTAや各地区の公民館、まちづくり協議会、市政協力員、青少年育成団体(青少年相談員や子供会等)などの地域ぐるみの協力連携が必要です。		
主な成果・課題を踏まえた今後の取組の方向性	○子どもたちの居場所づくりや地域の教育力の向上を図るために、担い手となるボランティアの育成に取り組みます。		
6主な取組名称②	青少年育成事業の推進	取組(進捗)状況	A
主な成果	<p>○キャンプ場利用促進事業(保護者と参加できる野外体験活動として企画)は、定員を超える応募があり盛況となりました。事後アンケートを行い、今後のニーズ調査に努めました。</p> <p>○新成人で構成する実行委員会を組織し、式典の運営や式典後のアトラクションとして思い出のスライドショーを企画運営しました。また、中学校の恩師からのメッセージを掲載したしおりを編集し、出席する新成人に配布するなど、自ら作る成人式を行いました。</p>		
主な課題	<p>○青少年育成事業を推進するうえでボランティアや地域の担い手不足が課題です。</p> <p>○開設から30年以上経過したキャンプ場施設の老朽化の改修やトイレの洋式化などが必要です。</p>		
主な成果・課題を踏まえた今後の取組の方向性	○青少年の健やかな成長と自立を促すために、世代間交流の機会や体験活動機会の充実に取り組みます。		
6主な取組名称③	青少年を取り巻く環境浄化と非行防止	取組(進捗)状況	A
主な成果	<p>○青少年及び保護者等からの電話相談が52件、来所相談が11件、メール相談が20件あり、さまざまな問題に悩む青少年及びその保護者等への支援を行いました。</p> <p>○青少年健全育成キャンペーンとして、12月に愛の一声運動を木更津市青少年補導員連絡協議会と合同で木更津駅前前で実施するとともに、11月の生涯学習フェスティバルに参加するなどして情報モラルの啓発物を配布しました。青少年指導関係運営協議会を3回実施し、関係機関、団体、有識者との連携を図りました。</p>		
主な課題	○さまざまな問題に悩む青少年やその保護者の支援を行い、青少年の非行防止と健全育成を図るため、関係機関、団体、有識者との連携のもと実施します。		
主な成果・課題を踏まえた今後の取組の方向性	<p>○関係機関等と連携して青少年やその保護者の支援及び青少年の非行防止活動を継続します。</p> <p>○ネットの普及により子どもを取り巻くネット環境を注視し、啓発活動及び注意喚起を行うことでネットリテラシーの向上に努めます。</p>		

第2次基本計画(施策)進行管理票

1施策名	基本方向03 基本政策01 施策14 社会教育の充実			取りまとめ担当課	生涯学習課	7.施策目標の達成(進捗)状況	B	
2目標	市民一人ひとりが生涯にわたり自ら学び、健康で生きがいのある生活を送ることができるよう生涯学習社会の実現をめざします。							
3施策目標の実現に関する指標	指標名	現状値(目標設定時)	実績値(R1)	実績値(R2)	実績値(R3)	実績値(R4)	目標値(R4)	グラフ
	出前講座の実施回数	未実施 (平成30年度)	7回				100回	
	図書館の入館者数	120,666人 (平成29年度)	101,625人				130,000人	
家庭教育支援事業の実施回数	431回 (平成30年度)	363回				450回		
4施策達成のために要した事業費	事業名			R1予算額(千円)	R1決算見込額(千円)			
	きさらづ出前講座事業費			40	40			
	図書館維持管理費			3,013	3,013			
	図書購入費			12,051	12,051			
	図書館電算システム関係費			8,832	8,832			
	各種行事費			185	185			
	各種教室等開催費			3,430	3,130			
	サタデースクール事業費			1,020	945			
	高齢者教室開催費			502	446			
計			29,073	28,642				
5毎年度の予算額及び決算見込額の推移	年度	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	合計		
	予算額(千円)	29,073				29,073		
	決算額(千円)	28,642				28,642		

第2次基本計画(施策)進行管理票

6主な取組名称①	生涯学習・社会教育推進体制の充実	取組(進捗)状況	B
主な成果	○社会教育委員会議を定例会3回(新型コロナの影響で第4回定例会は中止)、視察1回を実施し、社会教育施設のあり方などを協議しました。また、生涯学習推進協議会を2回(うち1回は新型コロナの影響で書面会議)開催し、生涯学習関係事業等について協議しました。		
主な課題	○社会教育委員等の役割を踏まえ、より充実した会議運営に努めることが必要です。 ○市民の学習活動を支援するため、さらなる職員の専門性向上に取り組むことが必要です。 ○今後の社会教育施設のあり方について、検討することが必要です。		
主な成果・課題を踏まえた今後の取組の方向性	○広く市民の声を踏まえ、関係部署と協議しながら、将来的な生涯学習・社会教育推進体制の方向性や、公民館等社会教育施設のあり方を検討します。		
6主な取組名称②	生涯学習・社会教育活動の充実	取組(進捗)状況	B
主な成果	○家庭教育支援の拡充を図るため、家庭教育推進協議会を開催し、関係各課、機関等と連携を図りました。 ○市民の多様な学習要求に応えるため、学校法人君津学園と連携し市民公開講座を実施しました。 ○市政について理解を深めてもらうことを目的とした『きさらづ出前講座』を始めました。		
主な課題	○市民公開講座については、参加者が高齢者に偏りがちなことから、講座内容の充実と周知方法の検討に取り組むことが必要です。 ○出前講座については、市民の認知度を高めるための広報活動の強化が課題です。		
主な成果・課題を踏まえた今後の取組の方向性	○社会変化に対応した効果的・効率的な事業が展開できる体制づくりに取り組みます。		
6主な取組名称③	図書館サービスの充実	取組(進捗)状況	A
主な成果	○資料の収集は、年度当初に具体的な購入の割合を定め、11,861冊の資料を収集・整備し、提供しました。 ○各種データベースについては、館内4台の閲覧用パソコンを活用し、ヨミダス、D1-Law、官報、国立国会図書館デジタルコレクションなどの情報提供を行うとともに、県内外の公共図書館や大学図書館の情報資産を活用した司書による専門的なレファレンスサービス(調査・研究)の充実に努めました。 ○点字図書については、きさらづ点訳の会との協働により、新たに27タイトルを追加しました。 ○録音図書については、サビエ図書館からダウンロードし、133タイトルを追加しました。 ○大活字本については、48冊を追加しました。 ○マルチメディアデジター図書については、伊藤忠記念財団から無償で提供される「わいわい文庫」から63タイトルを追加しました。 ○小中学校の図書主任担当者会議等へ出席し、図書館の利用案内を説明するとともに、読書相談、調べもの学習や授業の補助となる本を一定期間まとめて貸し出す「特別貸出」(調べ学習支援3,378冊)を実施し、教職員や読書相談員との連携を図りました。 ○公民館図書室に、配本サービスを実施し、地域の読書環境の充実とサービスの向上を図りました。		
主な課題	○読書相談員や担当教員による読書活動への取り組みについては、その姿勢に温度差が感じられる状況にあるため、読書プランの適切な運用ができるよう、図書館と学校の継続した取り組みが必要です。 ○調べ学習において、各学校で単元が重なり、同時に同様の図書が必要となることから、学校間の調整が必要です。また、貸出方法や返却方法については、要望のある巡回車の活用など、学校、学校教育課と連携し、検討することが必要です。 ○地域のニーズに即した資料の提供や計画的な配本サービスが求められます。		
主な成果・課題を踏まえた今後の取組の方向性	○資料収集は、年度当初に具体的な購入の割合を定め、年間1万冊程度の資料を収集・整備し、提供していきます。 ○所蔵のない資料については、購入するほか、相互貸借により対応を図っていきます。 ○司書による専門的なレファレンスサービス(調査・研究)を引き続き実施していきます。 ○引き続き点字図書、録音図書、大活字本、マルチメディアデジター図書等を計画的に収集し、読書にハンディキャップのある利用者に対するサービスの充実を進めていきます。 ○小中学校に対し特別貸出を引き続き実施するとともに、小中学校の図書主任担当者会議等へ出席し、教職員や読書相談員との連携を図ります。 ○家庭教育学級をはじめ、公民館事業と連携した取り組みを通して読書推進、利用者の拡大を図ります。		

第2次基本計画(施策)進行管理票

6主な取組名称④	公民館活動の充実	取組(進捗)状況	B
主な成果	<p>○子どもから高齢者まで幅広い世代の要望と地域の実情等を踏まえ、小中学生を対象にした各種体験活動や中学生によるボランティア活動、高齢者学級等での多世代交流や地域貢献の機会を提供することができました。</p> <p>○子育て、家庭教育支援については、関係機関等と連携しながら成長段階に応じた家庭教育学級を全公民館で開催するとともに、未就学児の親子の交流機会を設ける等、母親や親子どうしの交流やつながりを深めました。</p> <p>○生活課題や地域課題の解決に向けた学習機会を全公民館で提供し、学習成果を地域づくりに活かすことのできる事業を展開することができました。</p> <p>○地域自治の推進を図るため、区長会や地域の関係機関・団体等と連携・協力して、まちづくり協議会の設立や既存地区の活動に対する支援を行いました。</p>		
主な課題	<p>○地域活動を主体的に担える人材を育成し、学習成果を確実に地域づくりに繋げていくために、生活課題や地域の課題に関する学級・講座等のさらなる充実が必要です。</p> <p>○まちづくり協議会の事務局として運営や活動を支援するとともに、未設置地区の早期設立に向けて、市民活動支援課と連携を密に図りながら取り組む必要があります。</p>		
主な成果・課題を踏まえた今後の取組の方向性	○あらゆる年齢層に多様な学習機会を提供し、生きがいづくりや地域のつながりづくり、人づくりを進めていくなかで、持続可能な地域を創出する機運を高めていきます。		
6主な取組名称⑤	生涯学習・社会教育施設の整備	取組(進捗)状況	A
主な成果	<p>○安全で快適な学習環境の提供と市民の学習環境の維持、向上を図るため、75件の修繕、14件の工事を行い、公民館や図書館の適正な維持管理に努めるとともに、老朽化した備品の計画的な更新を行い、適正な維持・管理に努めました。また、迅速な修繕や工事を行ったことにより、出前講座を開催するために必要となる開催場所の確保や図書館のさらなる利用促進を図ることができました。</p> <p>○本取組に係る整備を遅滞なく、かつ迅速に行うことにより、学習環境の充実が図られ、安全かつ快適な『学習機会の場』を多くの方々へ提供することができました。</p>		
主な課題	<p>○施設等の不具合が発生し、多数の施設管理者から修繕、工事等の実施依頼が集中した際には、請負会社の人手が足りず、速やかに改修工事等を行えないケースも見受けられました。</p> <p>○近年では大規模な自然災害が多く発生していることから、災害時における対応方法などについて、施設管理者及び関係各課と事前共有を図る必要があるものと考えます。</p>		
主な成果・課題を踏まえた今後の取組の方向性	<p>○修繕、工事等の実施依頼が集中した際には、被害状況を的確に把握し、軽微な被害のものについては応急的な修理にて対応するなど、より効果的かつ効率的な修繕及び工事の実施に努めていきます。</p> <p>○日頃より気候に係る情報の収集に努め、悪天候により自然災害の発生が予想される場合には、被害発生前に施設管理者及び業者側と綿密に連絡を取り、被害時に迅速な対応を行えるよう調整を図っていきます。</p>		

第2次基本計画(施策)進行管理票

1施策名	基本方向03 基本政策02 施策15 スポーツ・レクリエーションの振興	取りまとめ担当課	スポーツ振興課	7.施策目標の達成(進捗)状況	B			
2目標	市民が日常的にスポーツに親しみ、スポーツ活動に参画できる環境を作り、ライフステージに応じた元気でいきいきと暮らすことができる活力あるまちの実現							
3施策目標の実現に関する指標	指標名	現状値(目標設定時)	実績値(R1)	実績値(R2)	実績値(R3)	実績値(R4)	目標値(R4)	グラフ
	市民(20歳以上)の週1回以上のスポーツ実施率	45% (H29年度実績値)	45%				65%	
	市営スポーツ・レクリエーション施設の利用者数	225,047人 (H29年度実績値)	200,336人				275,000人	
4施策達成のために要した事業費	事業名		R1予算額(千円)	R1決算見込額(千円)				
	○江川総合運動場拡張整備事業費(計画事業P21・進捗状況○)		200,315	409,718				
	○ちばアクアラインマラソン事業費(計画事業P22・進捗状況○)		0	1,598				
	スポーツによる地域活性化推進事業費		2,359	2,163				
	全国大会等出場奨励金事業費		2,000	1,440				
	計		204,674	414,919				
5毎年度の予算額及び決算見込額の推移	年度	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	合計		
	予算額(千円)	204,674				204,674		
	決算額(千円)	414,919				414,919		
6主な取組名称①	スポーツ・レクリエーション活動の推進			取組(進捗)状況	B			
主な成果	<ul style="list-style-type: none"> ○成人の運動習慣化対策として、親子運動あそび教室を開催しました。 ○世代や障がいの有無を超えて楽しめる市民スポーツ交流大会を開催しました。 ○ちばアクアラインマラソン開催に向けて、初心者ランナーをサポートする取組を行い、市民の運動習慣化と健康づくりに繋げることができました。 							
主な課題	<ul style="list-style-type: none"> ○参加者のアンケートを検証し、より充実した内容で親子運動あそび教室を開催します。 ○市民スポーツ交流大会に関して、種目を「ポッチャ」に変更したことで、指導者及び参加者集めが課題となりました。 							
主な成果・課題を踏まえた今後の取組の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ○親子運動あそび教室の開催時だけでなく、継続して運動に取り組むよう、市民に働きかけていきます。 ○より多くの市民に参加してもらえるよう、体験機会の提供や、より一層の情報発信を行うとともに、指導者の育成に取り組みます。 							

第2次基本計画(施策)進行管理票

6主な取組名称②	スポーツ・レクリエーション施設の整備	取組(進捗)状況	B
主な成果	<ul style="list-style-type: none"> ○江川総合運動場北西側を拡張整備し、陸上競技場整備工事については、令和元年5月末に完了、同年7月に供用開始しました。 ○野球場・サッカー場の予備設計業務委託については、令和2年3月に完了しました。 ○市営体育施設の指定管理者と連携し、施設の適正な維持管理と耐震化に努めました。 ○小中学校の体育館や運動場など、既存施設の有効活用を行いました。 		
主な課題	<ul style="list-style-type: none"> ○野球場・サッカー場の予備設計において、関係競技団体からの要望を踏まえた見直しを行い、令和2年度に実施する実施設計へ反映します。 ○市営体育施設の耐震・防災の面における点検と整備を強化します。 ○小中学校の施設開放事業については、新規利用団体が増加したことから、安全性の確保が課題となっています。 		
主な成果・課題を踏まえた今後の取組の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ○令和2年度に実施設計を完了し、令和3年度から野球場・サッカー場整備工事を着工、令和5年度の供用開始を目指します。 ○令和2年度に市営野球場の耐震補強工事を行います。 ○小中学校の施設開放事業の利用団体に対し、適正な利用の徹底を促します。 		

第2次基本計画(施策)進行管理票

1施策名	基本方向03 基本政策03 施策16 市民文化の充実	取りまとめ担当課	文化課	7.施策目標の達成(進捗)状況	A
------	----------------------------	----------	-----	-----------------	---

2目標	歴史・文化・芸術にふれあう機会を市民に提供し、市民が芸術文化活動を行う環境を整備することで、ふるさと意識や愛着を育み、地域の文化遺産や伝統芸能を次世代に引き継ぐことをめざします。
-----	---

3施策目標の実現に関する指標	指標名	現状値(目標設定時)	実績値(R1)	実績値(R2)	実績値(R3)	実績値(R4)	目標値(R4)	グラフ
	芸術文化に親しむまちづくり振興事業コンサート実施数・入場者数	3回・900人 (平成30年度)	3回・895人					4回・1,200人
郷土博物館金のすず入館者数	9,024人 (平成30年度)	0人					12,000人	

4施策達成のために要した事業費	事業名	R1予算額(千円)	R1決算見込額(千円)
	○中規模ホール建設事業(計画事業P23・進捗状況○)	4,615	4,612
	○博物館空調設備改修事業費(計画事業P24・進捗状況○)	96,000	44,440
	○上総金鈴塚古墳出土品再整理報告書等刊行事業(計画事業P25・進捗状況○)	20,814	14,454
	芸術文化に親しむまちづくり振興事業費	723	508
	博物館空調工事に伴う収蔵資料等管理事業費	20,016	5,914
	上総木更津金鈴塚古墳出土品国宝化推進事業費	427	427
	木更津市史編さん事業費	14,585	14,270
計	157,180	84,625	

5毎年度の予算額及び決算見込額の推移	年度	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	合計
	予算額(千円)	157,180				157,180
	決算額(千円)	84,625				84,625

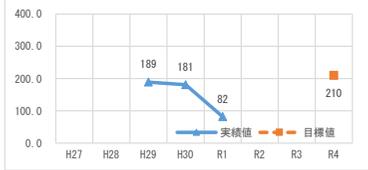
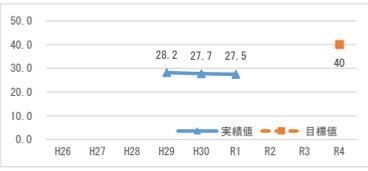
第2次基本計画(施策)進行管理票

6主な取組名称①	芸術文化活動の推進	取組(進捗)状況	A
主な成果	<p>○芸術文化に親しむまちづくり振興事業の中で音楽コンサートを市民会館中ホールで3回実施しました。</p> <p>○中規模ホールの整備については、外部有識者など10名で構成される木更津市民会館整備検討委員会を計9回開催し、中規模ホール整備基本計画についての答申をいただき、計画(案)を取りまとめました。</p>		
主な課題	<p>○市民会館中ホールは音響反射板や照明(スポットライト)器具がなく、音楽コンサートや演劇等のイベントには適していません。また、舞台、出演者控室、ロビーが狭小であり、出演者数及び入場者数に限りがあります。</p> <p>○中規模ホールの整備については、管理運営計画の策定、国庫補助事業等の特定財源の確保や、他の施設との連携等が課題です。</p>		
主な成果・課題を踏まえた今後の取組の方向性	<p>○イベントごとに音響反射板・照明器具のレンタルあるいはアカデミアホールの活用を考えます。</p> <p>○中規模ホールの整備については、パブリックコメントの結果等を踏まえ中規模ホール整備基本計画を策定したうえで、管理運営計画、国庫補助事業等の検討を行い、早期建設に向けて事業を進めます。</p>		
6主な取組名称②	ふるさと文化の継承	取組(進捗)状況	A
主な成果	<p>○木更津市史の編さん事業については、「木更津市史研究 第3号」、「木更津市史編さん事業公開講座記録集 平成30年度」、「木更津市史編さんだより 第4号」を発行し、市史編さんに係る情報を発信しました。</p> <p>○郷土博物館金のすずの老朽化した空調機器を全面的に改修するため、令和元年7月から工事を進めています。</p> <p>○令和元年6月に重要文化財を含む収蔵資料等773件を文化庁の指導のもと、上記工事区域から移動させ、空調設備の改修を行いました。</p> <p>○金鈴塚古墳出土品については、目録および台帳を作成し、令和2年2月に文化庁へ提出し、再整理報告書を刊行しました。</p>		
主な課題	<p>○郷土博物館金のすずの空調機器が替わることから、機械と建物躯体の相性を早期に見極めながら安定かつ適切な温湿度管理を引き続き保てるよう、設備の運用方法を習熟することが課題です。</p>		
主な成果・課題を踏まえた今後の取組の方向性	<p>○木更津市史の編さん事業については、市史編集部会による資料調査を継続して進めます。「木更津市史編さんだより」「木更津市史研究」「公開講座記録集」の刊行や、公開講座を開催し、市史編さん事業による調査成果の公表と周知活動の拡充を図ります。</p> <p>また、「木更津市史デジタルアーカイブ公開事業」を進めます。</p> <p>○空調設備改修工事については、令和2年12月の竣工を目指し、事業を進めています。</p> <p>○令和2年度空調工事区域の資料1458件を移動し、工事終了後の1月から本来の位置へ1,556件の資料を戻します。</p> <p>○空調設備改修工事後の館内環境を良好に保つため、「総合的に有害生物を管理する」目的で展示室と収蔵庫の清掃を実施します。</p> <p>○すべての展示室と収蔵庫で温湿度管理が適切に保てるよう、新しい設備の運用方法について習熟訓練を実施するとともに、令和3年度の開館に向けて、常設展示の再構成を図ります。</p> <p>○金鈴塚古墳出土品については、資料の価値を広く周知するよう一般市民向けの概説書を刊行します。</p>		

第2次基本計画(施策)進行管理票

1施策名	基本方向03 基本政策04 施策17 人権擁護の推進			取りまとめ担当課	市民活動支援課	7.施策目標の達成(進捗)状況	B	
2目標	人権尊重への理解を深め、人権問題に対する正しい知識を広めることにより、一人ひとりの多様性を認め合い、ともに支え合う社会をめざします。							
3施策目標の実現に関する指標	指標名	現状値(目標設定時)	実績値(R1)	実績値(R2)	実績値(R3)	実績値(R4)	目標値(R4)	グラフ
	小中学校での人権教室等の実施校数	5校 (平成29年度)	6校				6校	
	人権教育研修会の参加者数	19名 (平成29年度)	0名				50名	
4施策達成のために要した事業費	事業名			R1予算額(千円)	R1決算見込額(千円)			
	法律相談業務委託費			1,267	1,267			
	公聴相談諸経費			1,265	1,222			
	計			2,532	2,489			
5毎年度の予算額及び決算見込額の推移	年度	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	合計		
	予算額(千円)	2,532				2,532		
	決算額(千円)	2,489				2,489		
6主な取組名称①	人権意識の高揚				取組(進捗)状況	B		
主な成果	○市民の暮らしの中で起こる離婚・相続等の家庭内の問題や、地域での近隣間の揉め事などに対し、人権・行政合同相談75件及び法律相談222件を実施しました。 ○人権擁護委員が小中学校6校で人権紙芝居、人権教室、人権講話等を実施し、児童・生徒835名の参加がありました。							
主な課題	○インターネット上での人権侵害やいじめ、虐待等の様々な人権問題・差別意識を解消するため、人権に対する正しい知識を広める啓発活動に取り組む必要があります。 ○性的指向及び性自認を理由とした偏見や差別等の人権問題への理解促進に向け、啓発物品の配布や様々な広報媒体を活用した啓発に努める必要があります。							
主な成果・課題を踏まえた今後の取組の方向性	○学校、地域、家庭、職場など、市民の暮らしの中で起こる人権問題等に対処するため、引き続き各種相談支援を行います。 ○女性、子ども、高齢者、障がい者、同和問題、外国人などの様々な人権問題について、正しい知識と理解促進に向けた研修会や啓発活動を行います。							

第2次基本計画(施策)進行管理票

1施策名	基本方向3 基本政策4 施策18 男女共同参画の推進	取りまとめ担当課	地方創生推進課	7.施策目標の達成(進捗)状況	B			
2目標	男女が互いに認め合い、共に活躍できる豊かで活力のある社会の実現							
3施策目標の実現に関する指標	指標名	現状値(目標設定時)	実績値(R1)	実績値(R2)	実績値(R3)	実績値(R4)	目標値(R4)	グラフ
	男女共同参画フォーラムの参加者数	189人 (平成29年度)	82人				210人	
	市が設置する審議会等の女性委員の割合	28.2% (平成29年度)	27.5%				40%	
4施策達成のために要した事業費	事業名		R1予算額(千円)		R1決算見込額(千円)			
	男女共同参画推進事業費		217		135			
	男女共同参画推進委員会委員報酬		100		64			
	計		317		199			
5毎年度の予算額及び決算見込額の推移	年度	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	合計		
	予算額(千円)	317				317		
	決算額(千円)	199				199		
6主な取組名称①	男女共同参画の意識づくり・条件づくり				取組(進捗)状況	B		
主な成果	○固定的な男女の役割分担意識の解消に向けて、継続的な広報・啓発活動に努め、令和元年6月と10月に男女共同参画フォーラムを実施しました。 ○審議会等における女性委員の構成比を高めるため、平成31年3月に「附属機関等の委員の選任等指針」を改正し、女性委員の割合として4割以上を目標としましたが、令和元年度実績は27.5%でした。							
主な課題	○フォーラムの開催周知に関しては、ポスターやチラシなどの紙媒体に加え、市公式HP、twitter、Facebook等でも行っていますが、今後もさまざまな媒体を通じた周知と時代背景を捉えた参加しやすいメニューを準備する必要があります。 ○審議会等における女性委員の割合として4割以上を目標としています、20%台後半の横ばい状態に伸び悩んでいます。							
主な成果・課題を踏まえた今後の取組の方向性	○男女共同参画をより一層推進するため、様々な角度からアプローチするフォーラムを実施していきます。 ○市が設置する審議会の委員等において、女性委員の割合増加に向け、粘り強く呼びかけを行っていきます。							

第2次基本計画(施策)進行管理票

1施策名	基本方向04 基本政策01 施策19 企業誘致の推進			取りまとめ担当課	産業振興課	7.施策目標の達成(進捗)状況	A	
2目標	産業集積拠点である「かずさアカデミアパーク」、「かずさアクアシティ」(金田地区)及び「インターチェンジ周辺地区」への効果的な企業誘致に取り組み、地域経済の活性化をめざします。							
3施策目標の実現に関する指標	指標名	現状値(目標設定時)	実績値(R1)	実績値(R2)	実績値(R3)	実績値(R4)	目標値(R4)	グラフ
	産業立地促進条例に基づく立地奨励金の新規交付件数(増設を含む)	1件 (平成29年度)	1件				1件	
	かずさインキュベーションセンター及び民間主導の研究開発施設への開業件数	1件 (平成29年度)	1件				1件	
4施策達成のために要した事業費	事業名			R1予算額(千円)	R1決算見込額(千円)			
	○企業誘致奨励金(計画事業P26・進捗状況○)			82,472	80,799			
	計			82,472	80,799			
5毎年度の予算額及び決算見込額の推移	年度	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	合計		
	予算額(千円)	82,488				82,488		
	決算額(千円)	80,799				80,799		
6主な取組名称①	企業誘致の推進				取組(進捗)状況	A		
主な成果	<p>○木更津市産業立地促進条例に基づき、立地奨励金を6社(新規企業1社、継続企業5社)に交付するとともに、新規企業を1社指定しました。</p> <p>○令和2年3月に、新たな木更津市企業誘致方針を策定するとともに、木更津市産業立地促進条例の一部改正(奨励措置の追加、要件緩和等)を行いました。</p> <p>○市内に増設を希望する事業者に対し潮見地区の事業用地を紹介したところ、土地所有者との引き合いが成立し、企業の立地が決定しました。</p>							
主な課題	<p>○「かずさアカデミアパーク」及び「金田地区」においては、未分譲用地の早期立地と未操業用地の早期利活用が求められます。</p> <p>○「インターチェンジ周辺地区」においては、引き続き都市計画に基づく適切な誘導を行うとともに、地権者の合意形成や情報収集などにより産業用地としての可能性の検討が求められます。</p> <p>○産業用地が不足していることから、市内全域に誘致対象を広げていくことや、民間主導による産業用地の創出について検討を進めていく必要があります。</p>							
主な成果・課題を踏まえた今後の取組の方向性	<p>○新たな木更津市企業誘致方針に基づき、「かずさアカデミアパーク」、「金田西地区」及び「インターチェンジ周辺地区」を拠点とした戦略的な企業誘致を進めるとともに、「産業用地の不足に対応した企業誘致」を進めます。</p> <p>○引き続き企業訪問や情報発信などにより本市の企業立地の優位性をPRするとともに、立地奨励金制度等を活用した企業誘致の推進に取り組みます。</p>							

第2次基本計画(施策)進行管理票

6主な取組名称②	かずさアカデミアパークを拠点とした新産業等の創出	取組(進捗)状況	A
主な成果	○賃貸型研究開発施設「かずさインキュベーションセンター」への新規入居件数が1件ありました。また、入居企業との交流会を通じ、情報収集等に努めました。		
主な課題	○かずさインキュベーションセンター入居企業等に対し、飛躍的かつ円滑に事業が進むよう、さまざまな支援制度をいち早く情報提供する等、さらなる支援を行う必要があります。 ○かずさDNA研究所やNITE等の研究機関や、企業・大学等と連携が可能な企業の誘致に取り組む必要があります。		
主な成果・課題を踏まえた今後の取組の方向性	○さまざまな支援制度を企業等に情報提供するとともに、かずさインキュベーションセンターの利用促進や、研究機関・企業・大学等と連携が可能な企業の誘致を図り、新産業の創出を支援します。		

第2次基本計画(施策)進行管理票

1施策名	基本方向4 基本政策2 施策20 農業の振興				取りまとめ担当課	農林水産課	7.施策目標の達成(進捗)状況	B
2目標	農業を支える”ひとづくり”を基本とし、農地集約化による、持続可能な地域農業の発展と安定をめざします。							
3施策目標の実現に関する指標	指標名	現状値(目標設定時)	実績値(R1)	実績値(R2)	実績値(R3)	実績値(R4)	目標値(R4)	グラフ
	農地保全活動面積	849ha (平成30年度)	938ha				948ha	
	新規就農者数	3組 (平成30年度)	3組				5組	
	有害鳥獣による農作物被害額	1,120万円 (平成29年度)	2,700万円 (平成30年度)				1,000万円	
	学校給食における有機米の提供割合	未実施 (平成30年度)	2.4%				5%	
4施策達成のために要した事業費	事業名			R1予算額(千円)	R1決算見込額(千円)			
	○農業次世代人材投資事業交付金事業費(計画事業P27・進捗状況△)			8,250	5,250			
	○オーガニック米普及推進事業(有機米生産促進事業)計画事業P28・進捗状況○			2,000	3,599			
	多面的機能支払交付金事業費			82,753	80,537			
	農作物被害対策事業費			18,423	19,277			
	鳥獣被害防止総合対策交付金事業費			25,804	24,891			
	きさらづアグリフーズ推進事業費			3,648	3,648			
計			140,878	137,202				

第2次基本計画(施策)進行管理票

5毎年度の予算額及び決算見込額の推移	年度	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	合計
	予算額(千円)	140,878				140,878
	決算額(千円)	137,202				137,202

6主な取組名称①	農村環境の整備	取組(進捗)状況	B
主な成果	○多面的機能支払交付金の活用団体が16団体(H30)から20団体(R1)に増えて、農地保全活動面積が90ha増加しました。		
主な課題	○水路・農道等の地域資源の保全管理に対する農家の負担が増加しています。		
主な成果・課題を踏まえた今後の取組の方向性	○農村の有する多面的機能の低下を防ぐため、多面的機能支払交付金の活用団体をさらに増加させます。		

6主な取組名称②	地域農業経営体の育成	取組(進捗)状況	C
主な成果	○有害獣の捕獲強化により、農作物被害を軽減するため、平成31年4月に民間の獣肉処理加工施設を開設し、捕獲強化への取り組みを充実させました。 ○就農相談や巡回指導などの実施により、新規就農者の支援を行うことで、担い手の育成支援を充実させました。		
主な課題	○農業生産額の低迷や所得が減少しているため、農業経営の効率化による安定が求められている。 ○農作物被害額が年々増加傾向にあるため、耕作意欲の低下による離農により遊休農地が年々増加しています。		
主な成果・課題を踏まえた今後の取組の方向性	○ICTを活用した、効率的な鳥獣害対策による捕獲強化を進め、農作物被害の軽減をより一層図っていきます。 ○農業振興を支える担い手育成や新規就農への支援、農地集約による農業経営の効率化に向けた取り組みへの支援を推進します。		

6主な取組名称③	高品質高付加価値農産物の生産拡大	取組(進捗)状況	A
主な成果	○道の駅「木更津 うまくたの里」を中心に、市内生産者と連携した新たな商品開発を進めました。 ○本市の基幹作物である米のブランド化や販路拡大につなげるため、本市を会場に「第21回米・食味分析鑑定コンクール:国際大会in木更津」を開催しました。 ○本コンクールの「国際総合部門」において、市内で生産された米が初の金賞を受賞しました。		
主な課題	○国際的・全国的に広がる「新型コロナウイルス感染症」の影響を受け、飲料専門展示会の開催が中止になるなど、本市農産物をPRする機会や場が減少しています。 ○昨年秋の相次ぐ台風により、ビニールハウスをはじめとした農業施設に大きな被害を受けたことから、早期復旧・復興への支援が求められています。		
主な成果・課題を踏まえた今後の取組の方向性	○千葉県6次産業化サポートセンターや木更津市産業・創業支援センター「らぶ-Biz」等の支援機関と連携し、道の駅との協働をはじめ、市内生産者の所得向上に寄与する6次産業化の取組を推進します。 ○JA木更津市と連携して、米の食味にこだわった「木更津産米」食味分析コンクールを開催します。		

第2次基本計画(施策)進行管理票

6主な取組名称④	都市と農村の交流促進	取組(進捗)状況	B
主な成果	<p>○5回目を迎える「食」と「農」をテーマとするイベント「グローバル・ハピネス」を「木更津市オーガニックシティブェスティバル2019」との共同開催し、本市農産物のPRや販売促進、味噌づくり体験などを通じた食育を推進しました。</p> <p>○市内農業者に対して、農山漁村滞在型旅行である「農泊」への取組意向に関するアンケート調査を実施しました。</p>		
主な課題	○国際的・全国的に広がる「新型コロナウイルス感染症」の影響を受け、人との接触が厳しく制限される中での交流機会の創出は困難な状況にあります。		
主な成果・課題を踏まえた今後の取組の方向性	○「新型コロナウイルス感染症」収束への動向を注視しつつ、本年秋のイベント開催に向けて、関係団体等との協議・調整を進めます。		
6主な取組名称⑤	有機農業の推進	取組(進捗)状況	A
主な成果	<p>○市内公立小中学校の学校給食提供に向けて、市内5名の生産者の協力のもと、有機米(有機JAS認証を目指した農薬・化学肥料を一切使用しない栽培方法により生産された米)の生産を開始しました。</p> <p>○収穫された米のうち、約3トンを12月の3日間、市内全公立小中学校の学校給食に提供するとともに、提供初日には、真舟小学校において生産者、市職員、6年生児童が給食を共にし、生産者との交流の場や食を学ぶ機会を創出しました。</p>		
主な課題	<p>○木更津産米の付加価値向上に向けて、学校給食提供に向けた有機米の生産に係る取組を広く域内外にPRする必要があります。</p> <p>○雑草防除対策や収量の確保など、有機米の栽培技術の確立及び指導体制の充実が求められています。</p>		
主な成果・課題を踏まえた今後の取組の方向性	<p>○専門家の指導や関係機関・団体との連携のもと、本市における有機米栽培技術の早期確立を目指します。</p> <p>○有機米の栽培面積の拡大に向けて、市内生産者への一層の協力を働きかけます。</p>		

第2次基本計画(施策)進行管理票

1施策名	基本方向04 基本政策02 施策21 林業の振興	取りまとめ担当課	農林水産課	7.施策目標の達成(進捗)状況	B
------	--------------------------	----------	-------	-----------------	----------

2目標	森林の整備や保全を効果的・計画的に実施し、優良な森林を造成することで、将来にわたり森林資源を守り、有効に活用できる環境づくりをめざします。				
-----	---	--	--	--	--

3施策目標の実現に関する指標	指標名	現状値(目標設定時)	実績値(R1)	実績値(R2)	実績値(R3)	実績値(R4)	目標値(R4)	グラフ																		
	森林経営計画の計画対象森林面積		204ha (平成30年度)	224ha				276ha	<table border="1"> <caption>森林経営計画の計画対象森林面積</caption> <thead> <tr><th>年度</th><th>実績値</th><th>目標値</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>H30</td><td>204</td><td>204</td></tr> <tr><td>R1</td><td>222</td><td>224</td></tr> <tr><td>R2</td><td>240</td><td>240</td></tr> <tr><td>R3</td><td>258</td><td>258</td></tr> <tr><td>R4</td><td>276</td><td>276</td></tr> </tbody> </table>	年度	実績値	目標値	H30	204	204	R1	222	224	R2	240	240	R3	258	258	R4	276
年度	実績値	目標値																								
H30	204	204																								
R1	222	224																								
R2	240	240																								
R3	258	258																								
R4	276	276																								
里山活動団体数		2団体 (平成30年度)	2団体				4団体	<table border="1"> <caption>里山活動団体数</caption> <thead> <tr><th>年度</th><th>実績値</th><th>目標値</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>H30</td><td>3</td><td>3</td></tr> <tr><td>R1</td><td>3</td><td>3</td></tr> <tr><td>R2</td><td>4</td><td>4</td></tr> <tr><td>R3</td><td>4</td><td>4</td></tr> <tr><td>R4</td><td>5</td><td>5</td></tr> </tbody> </table>	年度	実績値	目標値	H30	3	3	R1	3	3	R2	4	4	R3	4	4	R4	5	5
年度	実績値	目標値																								
H30	3	3																								
R1	3	3																								
R2	4	4																								
R3	4	4																								
R4	5	5																								

4施策達成のために要した事業費	事業名	R1予算額(千円)	R1決算見込額(千円)
	林業振興補助金	5,003	4,931
	森林環境整備事業費	3,795	2,208
	森林整備基金積立金	5,365	4,963
	林道維持管理事業費	4,235	3,795
計		18,398	15,897

5毎年度の予算額及び決算見込額の推移	年度	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	合計
	予算額(千円)	18,398				18,398
	決算額(千円)	15,897				15,897

第2次基本計画(施策)進行管理票

6主な取組名称①	林業の促進	取組(進捗)状況	B
主な成果	<p>○森林の健全な成長を促進するため、千葉県森林組合が間伐材の搬出、被害森林(サンブスギ)の再生(被害木の伐倒・搬出、跡地の植栽)を実施しました。</p> <p>○令和元年度からスタートした森林環境譲与税を活用し、「森林整備方針及び計画等策定業務委託」を実施しました。</p> <p>○林道通行の安全確保のため、除草委託、補修工事を実施しました。</p>		
主な課題	○昨年秋の台風15号等の影響により、当初の予定どおりに森林整備を進めることができませんでした。		
主な成果・課題を踏まえた今後の取組の方向性	○「木更津市森林整備方針及び事業計画書(仮称)」(令和2年8月策定予定)に基づき、千葉県と連携しながら森林整備事業を推進します。		
6主な取組名称②	ひとと森林の共生	取組(進捗)状況	C
主な成果	○地域住民等で組織する活動組織が実施する森林の保全管理や資源の利活用、山村の活性化に資する取り組みに対し、支援しました。		
主な課題	○人の手が入らなくなったことで荒廃が進んでいる里山を再生させることが課題です。		
主な成果・課題を踏まえた今後の取組の方向性	○千葉県と連携しながら、里山整備を進める取り組みを推進します。		

第2次基本計画(施策)進行管理票

1施策名	基本方向04 基本政策02 施策22 水産業の振興	取りまとめ担当課	農林水産課	7.施策目標の達成(進捗)状況	B
------	---------------------------	----------	-------	-----------------	----------

2目標	水産物の安定した生産・供給体制を整え、漁業の担い手の育成・確保や漁場環境の保全を図り、本市の伝統的な産業である水産業の活力再生をめざします。				
-----	--	--	--	--	--

3施策目標の実現に関する指標	指標名	現状値(目標設定時)	実績値(R1)	実績値(R2)	実績値(R3)	実績値(R4)	目標値(R4)	グラフ
	アサリの年間生産量	41t (平成29年度)	70t					200t
潮干狩り入場者数	21.8万人 (平成30年度)	18.8万人					25万人	

4施策達成のために要した事業費	事業名	R1予算額(千円)	R1決算見込額(千円)
	○アサリ増産体制促進事業費(計画事業P29・進捗状況△)	12,200	5,231
	○海難予防施設設置事業(計画事業P30・進捗状況○)	4,565	4,565
	○船溜、滞整備事業(計画事業P31・進捗状況○)	21,164	11,924
	○のり漁場油濁監視事業(計画事業P32・進捗状況○)	1,623	1,490
	○アサリ秋冬期減耗対策支援促進事業費(計画事業P33・進捗状況△)	1,833	104
	○水産物供給基盤機能保全事業費(計画事業P34・進捗状況○)	40,200	37,012
	○海岸保全施設整備事業(計画事業P35・進捗状況×)	10,000	0
	○漁港関連整備事業(計画事業P36・進捗状況○)	22,887	18,441
	水産多面的機能発揮対策事業費	40,000	40,000
計	154,472	118,767	

5毎年度の予算額及び決算見込額の推移	年度	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	合計
	予算額(千円)	154,472				154,472
	決算額(千円)	118,767				118,767

第2次基本計画(施策)進行管理票

6主な取組名称①	漁業振興の促進	取組(進捗)状況	C
主な成果	<p>○アサリの稚貝の購入が全国的に困難なため、地場のアサリを保護・育成するための陸上施設による越冬対策や囲い網・被覆網による食害防止対策やスズカモの駆除について、県と連携し支援しました。</p> <p>○船舶や組合員の安全及び養殖施設の保全を図るため、漁業協同組合が行う標識灯設置事業に対して、県と連携し支援しました。</p> <p>○漁船航路の確保と貝類漁場の環境維持を図るため、漁業協同組合が行う航路浚渫事業に対して、県と連携し支援しました。</p> <p>○木更津地区内から選任された漁業協同組合が実施する、のり漁場の油濁汚染等を監視する事業に対して、県と連携し支援しました。</p> <p>○水産多面的機能発揮対策事業による、干潟漁場の環境と生態系を保全する活動について、県と連携し助成しました。</p>		
主な課題	<p>○アサリの稚貝の購入が困難であり、漁場の稚貝においては発生はするものの、多くのアサリが越冬することができず斃死してしまうため、さまざまな対策を関係機関と検討します。</p> <p>○台風により大きな被害を受けた漁場等の回復に支援します。</p>		
主な成果・課題を踏まえた今後の取組の方向性	○漁業生産の基盤強化、漁業者の収入確保と安定した漁協運営体制への転換を図るべく、市内6漁協のうち5漁協において「合併」に関する検討を進め、今後の水産業の振興を図ります。		
6主な取組名称②	漁業生産基盤の促進	取組(進捗)状況	B
主な成果	○漁港施設の管理を体系的に捉えるために策定した「機能保全事業」に基づき、漁港施設の長寿命化を図るとともに、更新コストの平準化・縮減を図るため、金田(中島地区)漁港2号防波堤保全工事(海側)L=36.8mを実施しました。		
主な課題	○限られた予算内で計画的に保全工事を進めていきます。		
主な成果・課題を踏まえた今後の取組の方向性	○令和2年度に策定を予定している海岸保全施設(防潮堤等)の長寿命化計画と併せて、必要な維持管理・更新に係る費用を平準化しながら保全工事を進めてまいります。		
6主な取組名称③	観光漁業の推進	取組(進捗)状況	B
主な成果	<p>○市内観光施設等へのチラシ、ポスター掲出に加え、海ほたるPAでのPR活動を実施しました。</p> <p>○週末木更津計画を利用した大型商業施設などでの観光宣伝や情報発信を行うなど、市外からの来訪者への効果的なPR活動を実施しました。</p>		
主な課題	<p>○トイレや施設などの環境整備の充実が必要であります。</p> <p>○集客力のある大型商業施設から市内各所への観光客の回遊性が図られる取り組みを進めてまいります。</p>		
主な成果・課題を踏まえた今後の取組の方向性	○東京湾の広大な自然干潟を利用した潮干狩りは、海のイベントとして「ちば文化資産」に選定されていることから、県と連携したイベントや効果的な観光宣伝を実施します。併せて、県補助金などを活用した施設整備を進めてまいります。		

第2次基本計画(施策)進行管理票

1施策名	基本方向04 基本政策02 施策23 商工業の振興			取りまとめ担当課	産業振興課	7.施策目標の達成(進捗)状況	B	
2目標	中小企業や起業・創業者への支援の充実を図り、商工業の基盤の安定を促進し、地域経済の発展をめざします。また、卸売市場の再整備に向けた取組を推進します。							
3施策目標の実現に関する指標	指標名	現状値(目標設定時)	実績値(R1)	実績値(R2)	実績値(R3)	実績値(R4)	目標値(R4)	グラフ
	産業・創業支援センター「らぶ-Biz」の支援を受けた創業件数	6件 (平成29年度)	21件				25件	
	電子地域通貨「アクアコイン」の加盟店数	410店 (平成31年1月末時点)	565店				1,500店	
	製造品出荷額等の額	2,144億8,143万円 (平成28年調査)	2,070億9,189万円 (平成30年調査)				2,250億円	
4施策達成のために要した事業費	事業名			R1予算額(千円)	R1決算見込額(千円)			
	○空き店舗活用支援事業補助金(計画事業P37・進捗状況○)			2,000	2,000			
	産業・創業支援センター管理運営費			41,057	41,039			
	アクアコイン普及推進事業費			11,284	10,990			
	計			54,341	54,029			
5毎年度の予算額及び決算見込額の推移	年度	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	合計		
	予算額(千円)	54,341				54,341		
	決算額(千円)	54,029				54,029		

第2次基本計画(施策)進行管理票

6主な取組名称①	中小企業の支援と創業の促進	取組(進捗)状況	A
主な成果	<p>○中小企業の経営相談や企業・創業相談を、木更津市産業・創業支援センターを拠点として行い、相談件数が1,537件あり、創業塾を2期実施し、計43名の参加がありました。</p> <p>○中小企業の資金調達支援や利子補給による負担軽減を、市の融資制度によって行い、新規融資実行件数が105件、新規融資実行額が935,680千円でした。</p> <p>○中小企業の経営革新支援として、経営革新計画の承認を受けた事業者に対し、経営革新計画承認事業者奨励金を交付しました。対象事業者は2事業者で、交付金額は100,000円でした。</p>		
主な課題	<p>○中小企業の経営相談の課題として、木更津市産業・創業支援センターにおける相談対応可能件数を超える必要があるため、対応可能件数の増加が課題となっています。</p> <p>○中小企業の資金調達支援の課題として、資金調達の際の保証料の補助や、償還期間の延長についての要望が挙がっています。</p> <p>○中小企業の経営革新支援の課題として、昨年度の経営革新計画の承認を受けた事業者が、当初見込みの3件よりも少なかったため、承認事業者の増加が課題です。</p>		
主な成果・課題を踏まえた今後の取組の方向性	<p>○中小企業の経営相談については、令和2年4月から木更津市産業・創業支援センターに着任するプロジェクトマネージャーが相談対応を開始し、相談件数の更なる増加を図ります。</p> <p>○中小企業の資金調達支援については、要望を踏まえ、適正な運用ができるよう制度設計の検討を行います。</p> <p>○中小企業の経営革新支援については、木更津市産業・創業支援センターとも連携を図り、市内事業者の経営革新を促進します。</p>		
6主な取組名称②	商業の活性化	取組(進捗)状況	B
主な成果	<p>○木更津駅周辺の空き店舗を活用した取り組みとして、空き店舗活用支援事業補助金を3事業者に対し、総額2,000千円の交付を行いました。</p> <p>○電子地域通貨「アクアコイン」の利用額が196,000千円となり、加盟店間におけるアクアコインの取引額は昨年度から11,883千円増加し、13,222千円となるなど、アクアコインによる資金の域内循環を促進しました。</p>		
主な課題	<p>○空き店舗活用支援事業補助金の課題として、補助金の交付額が、5月末には予算額に達したため、補助金の交付申請を受け付けることができない期間がありました。</p> <p>○アクアコインをきっかけとした資金の域内循環をより高めるため、アクアコイン利用額の増加を促進する必要があります。</p> <p>○アクアコイン加盟店の増加数が目標に達していないため、加盟店数を伸ばすことが課題です。</p>		
主な成果・課題を踏まえた今後の取組の方向性	<p>○空き店舗活用支援事業補助金については、予算額を昨年度より増額し、さらに、みなと口側対象地区にある登録空き店舗を活用した場合の補助上限金額を引き上げたことにより、支援できる事業者の増加を図ります。</p> <p>○ポイント付与などのキャンペーンや、地域通貨としての側面を活かした寄附の仕組みづくりなど、利用者がアクアコインを利用する動機が高まる施策を検討し、実施します。</p> <p>○実施主体である君津信用組合及び木更津商工会議所とともに、引き続き加盟店増加にむけた営業活動に取り組みます。</p> <p>○アクアコインの加盟条件について君津信用組合と協議し、事業者がさらに加盟しやすい条件を整えることで、加盟店増加を目指します。</p>		
6主な取組名称③	工業の活性化	取組(進捗)状況	B
主な成果	<p>○かずさアカデミアパークにおいて4事業者が操業開始し、潮見地区において1事業者が立地を決定しました。</p>		
主な課題	<p>○生産性の向上には、技能人材の育成・確保をはじめ、市内事業者との連携の強化が不可欠です。</p>		
主な成果・課題を踏まえた今後の取組の方向性	<p>○かずさアカデミアパークと木更津工業高等専門学校等を活かした事業活動を促進し、新世代技術等による生産性の向上を図ります。</p>		
6主な取組名称④	卸売市場の再整備	取組(進捗)状況	C
主な成果	<p>○先進市場の取組み等のノウハウについて情報収集を実施しました。</p>		
主な課題	<p>○市場の利用者サイドにたった施設整備、コールドチェーンを維持できる、温度管理された物流・配送センター機能の構築が必要です。</p>		
主な成果・課題を踏まえた今後の取組の方向性	<p>○全国的に市場の取扱高が年々減少傾向にある中、経営展望に位置付けた行動計画に基づいて、再整備に向けて引き続き取り組んでいきます。</p>		

第2次基本計画(施策)進行管理票

1施策名	基本方向04 基本政策02 施策24 勤労者支援の充実	取りまとめ担当課	産業振興課	7.施策目標の達成(進捗)状況	B			
2目標	多様なニーズに対応した就労支援の充実を図るとともに、働きやすい就労環境の実現をめざします。							
3施策目標の実現に関する指標	指標名	現状値(目標設定時)	実績値(R1)	実績値(R2)	実績値(R3)	実績値(R4)	目標値(R4)	グラフ
	各種セミナー・講座等の参加者数	90人 (平成29年度)	62人				150人	

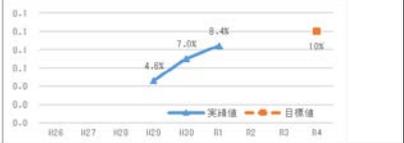
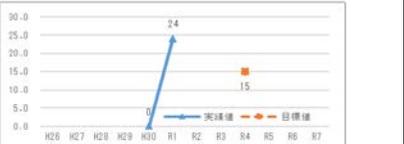
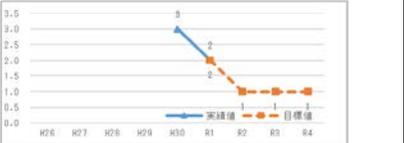
4施策達成のために要した事業費	事業名	R1予算額(千円)	R1決算見込額(千円)
	子育て期女性の就労支援事業	578	531
	君津郡市職業訓練協会負担金	241	241
	勤労者退職金等共済掛金補助金	250	230
	計	1,069	1,002

5毎年度の予算額及び決算見込額の推移	年度	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	合計
	予算額(千円)	1,069				1,069
	決算額(千円)	1,002				1,002

第2次基本計画(施策)進行管理票

6主な取組名称①	雇用の安定と拡大	取組(進捗)状況	B
<p>主な成果</p>	<p>○千葉県ジョブサポートセンターとの共催によるセミナー開催やハローワークをはじめとする関係機関との会議を通して情報共有を図ることで、連携強化を図りました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・就活基礎セミナー(ジョブカフェ、広報11月号掲載) <ul style="list-style-type: none"> 開催回数:1回 参加者数:6人 ・女性向け再就職支援セミナー&個別相談会(ジョブサポ、広報10月号掲載) <ul style="list-style-type: none"> 開催回数:1回 参加者数:10人 ・シニア向け再就職支援セミナー&個別相談会(ジョブサポ、広報11月号掲載) <ul style="list-style-type: none"> 開催回数:1回 参加者数:14人 <p>○子育て期女性対象のパソコン講座及び地元企業・ハローワークによるセミナーを開催しました。また、(株)セブンイレブンジャパンとの共催による、シニア世代向けの再就職セミナーを開催しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子育て期女性就労支援事業(広報8月号) <ul style="list-style-type: none"> 1期:14名、9月18~19日、10月9~10日 2期:13名、10月9・10・21・23日 ・シニア世代向けセミナー <ul style="list-style-type: none"> 開催回数:2回 参加者数:4名、1名 <p>○勤労者退職金共済掛金補助金について、実績は、事業所数は14か所、利用者数は46名でした。</p> <p>○君津郡市共同職業訓練校に対して、負担金241千円を交付しました。</p>		
<p>主な課題</p>	<p>○ハローワークや千葉県ジョブサポートセンター等と連携を図り、市内事業所の労働力不足解消に取り組んだが、情報発信不足等で効果が限定的であったため、より一層連携力を強化し、取り組む必要があります。</p> <p>○変化する雇用情勢や社会的ニーズに対応した就業支援の充実を図るため、子育て期女性やシニア世代等への就業支援を行ったが、参加者のスキルの違いなどにより講座内容とのミスマッチ等があり、ニーズに即した就業支援を展開していく必要があります。</p>		
<p>主な成果・課題を踏まえた今後の取組の方向性</p>	<p>○市内事業所の労働力不足解消に向けて、ハローワーク等の関係機関との連携関係の強化を図り、広報紙・市ホームページの他、SNS等を活用した情報発信に力を入れるとともに、各機関が一体となって効果的なセミナー運営を行います。</p> <p>○コロナ禍の中、新たな動きに対応しつつ、雇用情勢や社会的ニーズを見定め、子育て期女性やシニア世代など、参加者にマッチした講座内容の編成と情報発信に努め、就業支援の充実を図ります。</p>		

第2次基本計画(施策)進行管理票

1施策名	基本方向04 基本政策03 施策25 観光の振興				取りまとめ担当課	観光振興課	7.施策目標の達成(進捗)状況	A
2目標	「木更津市観光振興計画」に基づき、本市が有する自然や歴史文化等の魅力ある観光資源を活用した観光客誘致を行うことで、まちの賑わいを創出するとともに、木更津版DMOと連携した観光地域づくりをめざします。また、関係機関と連携し、市内へのMICE誘致を行います。							
3施策目標の実現に関する指標	指標名	現状値(目標設定時)	実績値(R1)	実績値(R2)	実績値(R3)	実績値(R4)	目標値(R4)	グラフ
	観光パンフレット掲載のクーポン利用率	4.6% (平成29年度)	8.40%				10%	
	観光おもてなしセミナー参加団体数	0団体 (平成30年度)	24団体				15団体	
	国際会議の開催件数	3件 (平成30年度)	2件				5件 (2019年度～2022年度累計数)	
4施策達成のために要した事業費	事業名				R1予算額(千円)	R1決算見込額(千円)		
	週末木更津計画推進事業費				3,030	2,982		
	みなとまち木更津推進協議会事業負担金				6,000	2,147		
	木更津版DMO運営費補助金				24,000	23,531		
	国際会議観光都市関係費				2,568	2,500		
	計				35,598	31,160		
5毎年度の予算額及び決算見込額の推移	年度	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	合計		
	予算額(千円)	35,598				35,598		
	決算額(千円)	31,160				31,160		
6主な取組名称①	観光客の回遊策の充実					取組(進捗)状況	B	
主な成果	○三井アウトレットパーク木更津で週末木更津計画イベントを年3回開催し、本市の観光PRを行いました。その他、木更津バルを年2回、木更津ナチュラルバルを年9回開催し、まちなかの賑わい作りに努めました。特に、木更津ナチュラルバルについては、ウォークラリーイベント、内港公園でのステージイベント等を同時開催し、多くの方の集客に成功しました。							
主な課題	○木更津バルのチケット収入が昨年度と比較すると半分に減少しました。							
主な成果・課題を踏まえた今後の取組の方向性	○木更津バルについては、早めの告知を行い利用者に広く宣伝することによりチケット収入の増加に努めます。 ○木更津ナチュラルバルについては、関係機関と連携し集客を図ることができるイベントを企画します。							

第2次基本計画(施策)進行管理票

6主な取組名称②	観光客受入体制の整備	取組(進捗)状況	A
主な成果	<p>○観光地域づくり法人(きさらづDMO)と地域事業者が連携し、本市の里山・里海の観光資源を活用した着地型観光ツアーの造成に取り組みました。</p> <p>○都心部をターゲットにプロモーションイベントを行い、市内事業者による物産展の開催や木更津PR大使による本市の地域性や魅力を発信することで、本市の更なる認知度向上を図りました。</p>		
主な課題	<p>○新型コロナウイルス等の影響で着地型ツアーの参加者が少なかったことから、参加者の意見等を集約し、次の取り組みに反映させることができなかったことが課題となります。</p>		
主な成果・課題を踏まえた今後の取組の方向性	<p>○新型コロナウイルスの影響が収束するまでは、きさらづDMOや観光協会等と連携して、地域の観光産業事業者に対して適切な情報発信及び可能な範囲でのサポートに注力し、受入体制の整備に努めます。</p>		
6主な取組名称③	国際会議等のMICE誘致	取組(進捗)状況	A
主な成果	<p>○ちば国際コンベンションビューロー主催で、MICE主催者や関係者、ステークホルダーが集う「ちばMICE DAY」が、かずさアカデミアパークで開催されたことに伴い、本市の国際会議開催における優位性や観光資源、施設のスペック等をPRすることができました。</p>		
主な課題	<p>○国際会議開催に向けた交渉において、本市の経済波及効果を踏まえた交渉・PR方法等を検討する必要があるため、ちば国際コンベンションビューローとの連携を深め、MICE誘致につなげていきます。</p>		
主な成果・課題を踏まえた今後の取組の方向性	<p>○新型コロナウイルスの影響が収束するまでは、日本政府観光局(JNTO)やちば国際コンベンションビューローが提供する国際情勢等の情報収集に努め、次年度以降の取り組み概要を検討します。</p>		

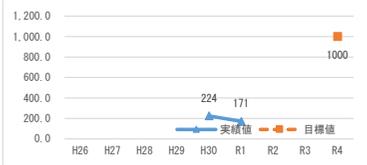
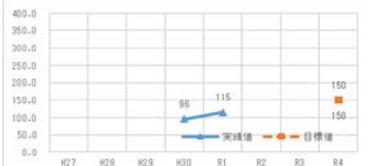
第2次基本計画(施策)進行管理票

1施策名	基本方向04 基本政策04 施策26 広域交流の推進			取りまとめ担当課	地域政策課	7.施策目標の達成(進捗)状況	A	
2目標	広域道路ネットワークの結節点である地理的優位性と、地域資源の発掘・活用及び魅力の発信を通じて、県内及び対岸地域からの交流人口を増やし、賑わいの創出をめざします。							
3施策目標の実現に関する指標	指標名	現状値(目標設定時)	実績値(R1)	実績値(R2)	実績値(R3)	実績値(R4)	目標値(R4)	グラフ
	大型クルーズ船の寄港数	1隻 (平成30年度)	1隻				12隻	
	木更津金田バスターミナル(チバスタアクア金田)の高速バス乗り入れ路線数	11路線 (平成30年度)	11路線				15路線	
	道の駅の利用者数	33.4万人 (平成29年10月20日開業～平成30年3月31日)	36.3万人				60万人	
4施策達成のために要した事業費	事業名			R1予算額(千円)	R1決算見込額(千円)			
	○パークベイプロジェクト推進事業費(公募等支援委託)(計画事業P38・進捗状況○)			4,500	4,450			
	○みなとの賑わい創出事業費(大型クルーズ船の誘致)(計画事業P39・進捗状況○)			15,000	11,351			
	○道の駅施設改修事業費(計画事業P40・進捗状況○)			27,000	37,244			
	東京湾アクアラインを活用した地域づくり推進事業費			10	10			
計			46,510	53,055				
5毎年度の予算額及び決算見込額の推移	年度	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	合計		
	予算額(千円)	46,510				46,510		
	決算額(千円)	53,055				53,055		

第2次基本計画(施策)進行管理票

6主な取組名称①	東京湾アクアラインを活用した地域づくりの推進	取組(進捗)状況	B
主な成果	○アクアラインマラソンの開催年ではない場合の活動は、海ほたる等でPRイベントを開催していますが、令和元年度は台風の影響により、PR活動の実施を見合わせました。		
主な課題	○令和元年度は台風の影響等でPR活動を実施できなかったため、令和2年度のPR活動内容を関係者と検討していく必要があります。		
主な成果・課題を踏まえた今後の取組の方向性	○東京湾アクアラインの通行料金引下げ効果を本市経済の活性化や地域振興に結び付けていくため、引き続きアクアラインマラソン開催時には大会時に出展ブースを設けるなどしてPR活動を行っていくとともに、アクアラインマラソン開催年ではない場合においても、海ほたる等でイベントを開催するなど、引き続き関係者と連携して取り組んでいきます。		
6主な取組名称②	みなとまち木更津の再生	取組(進捗)状況	A
主な成果	○平成29年から令和元年まで3年連続となる大型クルーズ船「ばしふいっくびいなす」の入港が実現しました。 ○国内外のクルーズ船運航会社や旅行代理店を訪問し、木更津港の誘致活動を実施しました。 ○中国で開催されるクルーズフォーラムへブース出展を行い、クルーズ船寄港誘致活動を積極的に実施しました。 ○パークベイプロジェクトにおける鳥居崎海浜公園の整備について、公募設置管理制度(Park-PFI)を活用し、民間集客施設を含む事業者による公園再整備を推進するため、令和元年7月に事業者の公募を開始、8月に事業者向け説明会を開催、9月から10月にかけて応募受付を実施、11月に公募設置等予定事業者を選定したうえで、令和2年3月に基本協定を締結しました。 ○富士見通りの歩道再整備に向け、現況測量、道路予備設計を実施しました。		
主な課題	○木更津港の知名度は向上しているものの、依然として他港に比べ知名度が低いため、更なるポートセールスが必要です。 ○横浜港や東京港とは違った木更津港の独自性を創出する必要があります。 ○みなとまち木更津としての良好な景観形成を図るため、街路樹の選定や高質空間施設の設置場所等の選定が必要になります。		
主な成果・課題を踏まえた今後の取組の方向性	○現在、国内クルーズ船の入港のみとなっているため、国外クルーズ船の入港を目指します。 ○木更津港への寄港を増進し、市内観光の推進や地元産業への経済波及効果を目指します。 ○さらなるポートセールスを実施するとともに、木更津港への実績強化を図ります。 ○パークベイプロジェクトにおける鳥居崎海浜公園の整備事業者と連携し、開業に向けて円滑な事業推進に努めます。 ○富士見通りの歩道再整備に向け、今後も計画的に設計業務を実施します。		
6主な取組名称③	木更津金田バスターミナルの活用	取組(進捗)状況	B
主な成果	○木更津金田バスターミナルについては、平成28年6月の供用開始以降、高速バス路線数の増加や発券窓口サービスの充実により、平成30年度の年間利用者は約77万人となり、市民の通勤通学の足として利便性の向上に貢献しました。		
主な課題	○利用需要の観点から、目標設定時から乗入路線数の増加には至っていません。 ○金田地区の賑わいが増している一方で、休日における周辺道路の慢性的な渋滞が課題となっています。		
主な成果・課題を踏まえた今後の取組の方向性	○継続的な利用者増加を図るため、運転手不足や運行ダイヤの調整等の課題を考慮したうえで、利用状況に合わせた段階的な乗り入れを視野に入れ、バス事業者と便数や運賃等について協議を進めるとともに、関係機関と連携し周辺の交通渋滞の緩和に向けて取り組みます。		
6主な取組名称④	新たな交流拠点としての道の駅の活用	取組(進捗)状況	A
主な成果	○圏央道木更津東インターチェンジ近傍に整備した市内初となる道の駅「木更津 うまくたの里」について、来場者の一層の利便性・快適性を高めるため、土日・祝日の駐車場混雑解消に向けて、圏央道南側に新たな駐車場(66台分)を整備しました。 ○国土交通省が実施しているETC2.0掲載車を対象とした高速道路からの一時退出を可能とする社会実験「賢い料金」の対象施設として道の駅「木更津 うまくたの里」が選定され、令和2年2月から社会実験がスタートしました。		
主な課題	○相次ぐ台風の上陸により、トイレ棟の屋根が損壊するなど、施設に大きな被害を受けるとともに、臨時休業を余儀なくされるなど、9月から10月にかけての実績が前年を大幅に下回る結果となりましたが、市内生産者の安定的な出荷先として、また、6次産業化の拠点施設として、市内生産者や指定管理者等との連携のもと、農業振興・観光振興に向けた取り組みを推進します。		
主な成果・課題を踏まえた今後の取組の方向性	○国際的・全国的に感染が拡大している「新型コロナウイルス感染症」により、人の移動・外出が大きく制限されるなか、利用者・売上ともに前年を下回る状況が危惧されますが、国の社会実験「賢い料金」の効果を取り込みつつ、圏央道南側の駐車場隣接地を農作業や収穫体験が可能な体験農園として整備し、新たな魅力の向上に努めます。 ○道の駅への高速バスの乗り入れ促進のため、国の社会実験「賢い料金」等、乗り入れの誘因となり得る情報について、随時、バス事業者に対し情報提供します。		

第2次基本計画(施策)進行管理票

1施策名	基本方向04 基本政策04 施策27 国際交流の推進				取りまとめ担当課	地方創生推進課	7.施策目標の達成(進捗)状況	B
2目標	姉妹・友好都市との交流を深めるとともに、国際性豊かな人材を育み、外国人も共に暮らしやすいまちづくりをめざします。							
3施策目標の実現に関する指標	指標名	現状値(目標設定時)	実績値(R1)	実績値(R2)	実績値(R3)	実績値(R4)	目標値(R4)	グラフ
	国際交流事業の実施件数	224件 (平成30年度)	171件				1,000件	
	市民ボランティア登録者数	96人 (平成30年度)	113人				150人	
4施策達成のために要した事業費	事業名				R1予算額(千円)	R1決算見込額(千円)		
	国際施策推進事業費				8,460	7,865		
	木更津市国際交流協会補助金				900	900		
	計				9,360	8,765		
5毎年度の予算額及び決算見込額の推移	年度	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	合計		
	予算額(千円)	9,360				9,360		
	決算額(千円)	8,765				8,765		
6主な取組名称①	国際交流活動の推進					取組(進捗)状況	B	
主な成果	<ul style="list-style-type: none"> ○市民レベルの国際交流を促進するため、木更津市国際交流協会を支援・連携を図りながら、国際交流活動の充実や市民ボランティアの育成に努めました。 ○新たにベトナム・ダナン市と友好協定を締結し、外国人労働者の受入促進や外国人観光客誘致など、民間の取り組みを支援しました。 ○在住外国人の日常生活を支援のため、HPのリニューアルを図り、災害時等における情報発信の充実を図りました。 							
主な課題	<ul style="list-style-type: none"> ○市民レベルの活発な国際交流やボランティア活動への積極的な参加を促進するため、木更津市国際交流協会とさらなる連携を図る必要があります。 ○市内在住外国人の増加により、災害時や感染症などの緊急時における情報発信手段等の充実を図る必要があります。 							
主な成果・課題を踏まえた今後の取組の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ○国際交流への理解を促進するため、木更津市国際交流協会とさらなる連携を図っていきます。 ○市内在住外国人の生活実態や意識、ニーズ等を把握するため、アンケート調査を実施し多文化共生の地域づくりを促進します。 							

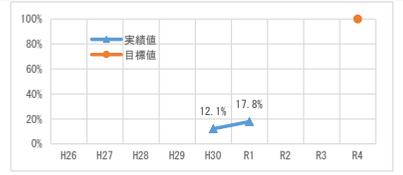
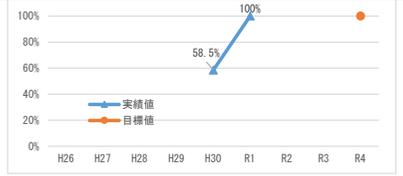
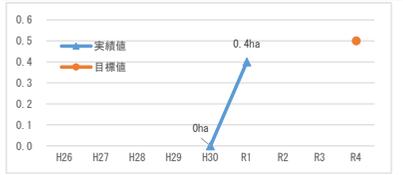
第2次基本計画(施策)進行管理票

1施策名	基本方向05 基本政策01 施策28 土地利用の適正化	取りまとめ担当課	都市政策課	7.施策目標の達成(進捗)状況	B			
2目標	少子高齢化の進行に伴う社会経済状況の急激な変化に対応するため、既存制度(都市計画基礎調査、都市計画基礎調査の結果等を踏まえた都市計画の見直し、市街化調整区域における地区計画制度、地籍調査)を活用するほか、新たな制度(立地適正化計画)を積極的に導入・活用し、計画的な土地利用の実現をめざします。							
3施策目標の実現に関する指標	指標名	現状値(目標設定時)	実績値(R1)	実績値(R2)	実績値(R3)	実績値(R4)	目標値(R4)	グラフ
	市街化調整区域において地区計画を都市計画決定した箇所数	1箇所 (平成30年度)	1箇所				5箇所	
	地籍調査事業進捗率	10.2% (平成29年度)	13.3%				19.9%	
4施策達成のために要した事業費	事業名		R1予算額(千円)	R1決算見込額(千円)				
	立地適正化計画策定事業費		14,003	14,003				
	地籍調査事業費		79,570	78,758				
	計		93,573	92,761				
5毎年度の予算額及び決算見込額の推移	年度	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	合計		
	予算額(千円)	93,573				93,573		
	決算額(千円)	92,761				92,761		
6主な取組名称①	計画的土地利用の実現				取組(進捗)状況	A		
主な成果	<ul style="list-style-type: none"> ○令和元年8月に都市計画道路6路線を変更しました。 ○立地適正化計画に定める誘導区域について、設定方針を決定しました。 							
主な課題	○立地適正化計画について、令和元年度に決定した方針を踏まえた取りまとめを行うため、庁内関係部署との緊密な調整が必要です。							
主な成果・課題を踏まえた今後の取組の方向性	○立地適正化計画について、庁内関係部課と緊密な調整を行い、令和2年度末までに取りまとめます。							

第2次基本計画(施策)進行管理票

6主な取組名称②	土地の有効利用の促進	取組(進捗)状況	B
主な成果	○境界立会い及び測量が終了した土地の測量データ等を地権者に提供して、売買等土地の権利異動の手続きに役立てています。		
主な課題	○地籍調査は住民説明会から始まって、境界の立会い、測量、地籍図及び地籍簿の作成、所有者の閲覧、県の検査、国の承認等を経て、最後に法務局へ納品と、完了に至るまでに5年から7年と、大変長い年月を要します。		
主な成果・課題を踏まえた今後の取組の方向性	○調査を実施中、当該地区の売買等の権利異動を妨げないために、今後も必要に応じて測量データ等を地権者に提供することにより、円滑な土地取引を促進します。 ○調査に要する期間の短縮に努め、より一層施策の効果の拡大を図ります。		

第2次基本計画(施策)進行管理票

1施策名	基本方向05 基本政策02 施策29 市街地整備の充実				取りまとめ担当課	市街地整備課	7.施策目標の達成(進捗)状況	B
2目標	都市的利便性や快適性を高める都市基盤の計画的な整備と維持を図ることにより、定住人口や交流人口の増加をめざします。							
3施策目標の実現に関する指標	指標名	現状値(目標設定時)	実績値(R1)	実績値(R2)	実績値(R3)	実績値(R4)	目標値(R4)	グラフ
	金田西地区の使用収益開始エリア面積	12.1% (平成30年度)	17.8%				100.0%	
	請西千束台地区の使用収益開始エリア面積	58.5% (平成30年度)	100%				100.0%	
	木更津駅周辺において土地利用の共同化・高度化がなされた地区面積	未実施 (平成30年度)	0.4ha				0.5ha	
4施策達成のために要した事業費	事業名			R1予算額(千円)	R1決算見込額(千円)			
	○中心市街地活性化基本計画策定事業費(計画事業P41・進捗状況○)			4,850	5,712			
	○金田西特定土地区画整理事業負担金(計画事業P42・進捗状況△)			527,442	459,653			
	○街なか居住マンション建設補助事業費(計画事業P43・進捗状況○)			718,600	635,972			
	計			1,250,892	1,101,337			
5毎年度の予算額及び決算見込額の推移	年度	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	合計		
	予算額(千円)	1,250,892				1,250,892		
	決算額(千円)	1,101,337				1,101,337		

第2次基本計画(施策)進行管理票

6主な取組名称①	市街地の整備	取組(進捗)状況	B
主な成果	<p>○金田西地区については、県へ負担金を支出し、使用収益面積を5.7%拡大しました。</p> <p>○請西千束台地区については、すべての事業が完了し、使用収益面積が100%になりました。</p> <p>○木更津駅周辺において土地利用の共同化・高度化がなされた地区面積については、0haから0.4haへと拡大しました。</p> <p>○「中心市街地の活性化に関する法律」に基づき「木更津市中心市街地活性化基本計画」を策定し、令和2年3月に内閣総理大臣の認定を受けました。</p>		
主な課題	<p>○区画整理事業については、地元等との調整に不測の日数を要した場合、事業が遅延する可能性があります。</p> <p>○中心市街地活性化基本計画に基づき57事業を実施し、事業者や市民の方々と一体となった協働のまちづくりを推進していきます。</p>		
主な成果・課題を踏まえた今後の取組の方向性	<p>○区画整理事業の進捗を図るため、引き続き県へ負担金を支出します。</p> <p>○主にパークベイプロジェクト推進事業(鳥居崎海浜公園整備・富士見通り歩道再整備・無電柱化)、おもてなし通信環境(Wi-Fi)整備事業、街なか居住マンション建設補助・取得助成事業などに取り組んでいきます。</p>		

第2次基本計画(施策)進行管理票

1施策名	基本方向05 基本政策02 施策30 公園・緑地の充実			取りまとめ担当課	市街地整備課	7.施策目標の達成(進捗)状況	B	
2目標	良好な都市環境を維持するため、計画的な公園緑地の整備と保全に努め、地域住民等の生活環境の向上をめざします。							
3施策目標の実現に関する指標	指標名	現状値(目標設定時)	実績値(R1)	実績値(R2)	実績値(R3)	実績値(R4)	目標値(R4)	グラフ
	都市公園面積	122.13ha (平成29年度)	127.10ha				124.74ha	
4施策達成のために要した事業費	事業名			R1 予算額(千円)	R1 決算見込額(千円)			
	○公園整備事業(計画事業P44・進捗状況△)			66,000	28,827			
	○都市公園安全安心対策事業(計画事業P45・進捗状況△)			5,306	17,073			
	○中の島大橋改修事業(計画事業P46・進捗状況○)			30,000	23,863			
	○パークベイプロジェクト推進事業費(鳥居崎海浜公園整備)(計画事業P47・進捗状況○)			60,000	25,553			
	計			162,899	95,316			
5毎年度の予算額及び決算見込額の推移	年度	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	合計		
	予算額(千円)	162,899				162,899		
	決算額(千円)	95,316				95,316		
6主な取組名称①	公園の整備と緑化の推進				取組(進捗)状況	B		
主な成果	<ul style="list-style-type: none"> ○西山公園(高柳地区)の整備(敷地造成及び遊具等設置)を実施しました。 ○金田地域交流センターに隣接する金田東1号近隣公園の一部(敷地造成、張芝、駐車場整備及び便所新築)を整備しました。 ○小櫃堰公園庭球場ほか2公園の施設更新工事を実施しました。 ○清見台中央公園便所改修については、入札不調により令和2年度に改めて実施していきます。 ○中の島大橋改修事業については、費用便益比分析調査、耐震補強調査及び改修に伴う詳細設計を実施しました。 ○公園を一体的に整備する事業者が円滑に整備を行えるよう、鳥居崎海浜公園の老朽化したプールを解体しました。 							
主な課題	<ul style="list-style-type: none"> ○これまでの国庫交付金(社会資本整備総合交付金)が廃止となったため、代わる調整交付金について現在協議している状況です。 ○多くの公園内施設の老朽化が懸念されます。 ○中の島大橋は、利用者の多い観光スポットですが、海上に設置され老朽化や腐食が激しくなっているため、改修の必要があります。 							
主な成果・課題を踏まえた今後の取組の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ○公園予定地周辺の住宅張り付き状況、地域の特性及び地域住民の要望等を勘案し、公園整備を実施のうえ、早期供用開始を図ります。 ○公園内便所及び園路等のバリアフリー化、老朽化した遊具の改築・更新及び公園施設の長寿命化計画の見直しを実施していきます。 ○中の島大橋について、主桁・橋脚・防護柵・地覆工事などの改修を推進します。 ○鳥居崎海浜公園を整備する事業者と引き続き整備計画について調整します。 							

第2次基本計画(施策)進行管理票

1施策名	基本方05 基本政策02 施策31 住環境の整備			取りまとめ担当課	住宅課	7.施策目標の達成(進捗)状況	B	
2目標	住宅に対する様々な世代のニーズや環境への配慮等を踏まえ、生活の基盤である住宅とその周辺の居住環境について快適性や安全性の向上を図り、誰もが安心して「住みたいまち」「住み続けたいまち」をめざします。							
3施策目標の実現に関する指標	指標名	現状値(目標設定時)	実績値(R1)	実績値(R2)	実績値(R3)	実績値(R4)	目標値(R4)	グラフ
	空家バンクを通じた空家の利活用戸数	2戸 (平成31年1月末時点)	1戸				40戸	
4施策達成のために要した事業費	事業名			R1 予算額(千円)	R1 決算見込額(千円)			
	○木造住宅リフォーム事業費(計画事業P48・進捗状況×)			1,500	0			
	○空家バンク・リフォーム助成事業補助金(計画事業P49・進捗状況○)			10,000	445			
	○市営住宅長寿命化計画整備事業費(計画事業P50・進捗状況○)			31,500	30,115			
	計			43,000	30,560			
5毎年度の予算額及び決算見込額の推移	年度	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	合計		
	予算額(千円)	43,000				43,000		
	決算額(千円)	30,560				30,560		
6主な取組名称①	住環境の向上				取組(進捗)状況	B		
主な成果	<ul style="list-style-type: none"> ○無料耐震相談会については、14件の相談、君津地域耐震改修促進協議会主催の相談会で8件の計22件の相談を行った。 ○木造住宅耐震診断事業については、12件の一般耐震診断を実施しましたが、耐震改修・リフォーム経費の一部補助申請はありませんでした。 ○建築物省エネ法の改正についてパンフレットの配布、窓口での相談等を行いました。 ○空家バンク制度により、空家のリフォーム助成制度(1件)が活用されました。 							
主な課題	<ul style="list-style-type: none"> ○令和元年9月の台風及び10月の大雨での被害が甚大であり、修繕対応が優先されたため、耐震改修・リフォーム経費の一部補助申請が低水準でした。 ○建築物省エネ法についてのさらなる周知を図ります。 ○市民に対して、空家バンク制度及び空家のリフォーム助成制度の周知を図ります。 							
主な成果・課題を踏まえた今後の取組の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ○台風被害による対応の経過を確認しながら、引き続き事業の周知を図っていきます。 ○引き続き、窓口での案内等を円滑に行っていきます。 ○出前講座及び固定資産税の納税通知書に空家バンク制度及び空家のリフォーム助成制度のチラシを同封するなど、引き続き市民への周知に努めます。 							

第2次基本計画(施策)進行管理票

6主な取組名称②	市営住宅の管理及び整備	取組(進捗)状況	A
主な成果	<p>○居住性の向上を図るため、住吉団地平屋8棟21戸について便所等改修(水洗化)工事を実施しました。</p> <p>○用途廃止する団地入居19世帯(祇園団地10世帯、清見台団地3世帯、久津間団地2世帯、岩根団地4世帯)の移転及び退去を実施しました。</p>		
主な課題	<p>○存続団地の長寿命化を図るため、継続して各団地の便所改修(水洗化)工事、バリアフリー工事を実施します。</p> <p>○引き続き用途廃止する団地入居者の移転補償手続きについて、各入居者の実情に応じ適切なサポートに努めて対応します。</p>		
主な成果・課題を踏まえた今後の取組の方向性	<p>○令和2年度から長須賀団地便所等改修(水洗化)工事を実施します。</p> <p>○用途廃止する団地入居者16世帯の内、令和2年度は11世帯、令和3年度は5世帯の移転を予定しています。</p>		

第2次基本計画(施策)進行管理票

1施策名	基本方向05 基本政策02 施策32 良好な景観形成の推進	取りまとめ担当課	都市政策課	7.施策目標の達成(進捗)状況	B			
2目標	良好な景観を形成することにより、快適でうるおいのある生活環境と、生活や産業に根ざした本市の個性や文化の創出をめざします。							
3施策目標の実現に関する指標	指標名	現状値(目標設定時)	実績値(R1)	実績値(R2)	実績値(R3)	実績値(R4)	目標値(R4)	グラフ
	景観計画区域内行為届出件数	52件 (平成28年～平成29年度)	23件				100件 (累計)	
4施策達成のために要した事業費	事業名		R1予算額(千円)		R1決算見込額(千円)			
	○景観形成推進事業費(計画事業P51・進捗状況○)		4,000		3,905			
	景観形成推進事業補助金		200		200			
	計		4,200		4,105			
5毎年度の予算額及び決算見込額の推移	年度	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	合計		
	予算額(千円)	4,200				4,200		
	決算額(千円)	4,105				4,105		
6主な取組名称①	良好な景観形成の誘導					取組(進捗)状況	B	
主な成果	○木更津駅みなと口地区の景観形成重点地区の指定に向け、地区住民説明会を計4回開催し、景観形成基準を作成しました。							
主な課題	○景観形成重点地区の指定に向け、令和2年度に木更津市景観計画の改定や条例の改正を行うため、庁内関係部課等との調整が必要です。							
主な成果・課題を踏まえた今後の取組の方向性	○今後ガイドライン作成に向け、庁内関係部課及び地元等との緊密な調整を図り作成に取り組んでいきます。							

第2次基本計画(施策)進行管理票

1施策名	基本方向05 基本政策03 施策33 交通体系の充実	取りまとめ担当課	土木課	7.施策目標の達成(進捗)状況	B			
2目標	圏央道など広域幹線道路の交通量の変化に合わせ、拠点市街地を結ぶ主要幹線道路の整備や、公共交通の充実を図ることにより、日常生活における移動をよりスムーズなものとするほか、市域内外からのアクセス性を高め、回遊性のある交通ネットワークの構築をめざします。							
3施策目標の実現に関する指標	指標名	現状値(目標設定時)	実績値(R1)	実績値(R2)	実績値(R3)	実績値(R4)	目標値(R4)	グラフ
	橋梁の点検進捗度	未実施 (平成30年度)	0%				74%	
	路線バス利用者数	2,181,778人 (平成29年度)	2,329,302人 (平成30年度)				2,203,000人	
まちづくり協議会・NPO法人等による新たな交通システムの導入件数	1件 (平成30年度)	1件				4件		
4施策達成のために要した事業費	事業名		R1予算額(千円)	R1決算見込額(千円)				
	○橋りょう長寿命化修繕事業費(計画事業P52・進捗状況△)		80,000	36,787				
	○道路ストック定期点検事業(計画事業P53・進捗状況○)		28,000	27,225				
	○道路ストック修繕事業(計画事業P54・進捗状況△)		42,000	11,358				
	○新火葬場周辺市道整備事業(計画事業P55・進捗状況△)		56,361	71,913				
	○江川総合運動場周辺市道整備事業(計画事業P56・進捗状況△)		80,492	47,683				
	○市道6431号線道路改良事業(計画事業P57・進捗状況△)		81,300	4,158				
	○中野畑沢線整備事業(桜井工区)(計画事業P58・進捗状況△)		41,369	5,195				
	○中野畑沢線整備事業(県営事業)(計画事業P59・進捗状況△)		70,010	27,583				
	○下郡大稲線整備事業(計画事業P60・進捗状況○)		10,000	9,130				
	○地域公共交通再編事業(計画事業P61・進捗状況○)		9,000	10,063				
	○JR巖根駅総武線快速停車事業費(計画事業P63・進捗状況○)		20,000	17,710				
	生活路線バス維持対策費補助金			52,662	52,662			
計			571,194	321,467				

第2次基本計画(施策)進行管理票

5毎年度の予算額及び決算見込額の推移	年度	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	合計
	予算額(千円)	571,194				571,194
	決算額(千円)	321,467				321,467

6主な取組名称①	道路網の整備	取組(進捗)状況	B
主な成果	<p>○平成25年3月に策定した橋梁長寿命化修繕計画の更新を行い、今後の修繕工事の計画(短期及び中長期計画)を策定しました。そのため、定期点検2巡目を令和2年以降に設定したため、実績値(R1)は0%となりました。</p> <p>○令和元年度までに486基の単独柱道路照明施設の点検を完了しました。</p> <p>○平成28年12月に策定した木更津市舗装修繕計画の更新のため、基礎資料となる路面性状調査を実施しました。</p> <p>○新火葬場周辺市道整備事業については、物件調査、用地測量、不動産鑑定、用地取得及び物件補償を実施し、本路線の整備に向けて事業の進捗を図りました。</p> <p>○江川総合運動場周辺市道整備事業については、用地測量、不動産鑑定、用地取得及び道路改良工事(L=275m)を実施しました。</p> <p>○市道6431号線道路改良事業については、物件調査、不動産鑑定、用地取得、道路改良工事(L=203.4 m)を実施しました。</p> <p>○中野畑沢線整備事業(県営事業)については、県事業の事業費の一部を負担しました。</p> <p>○下郡大稲線整備事業橋梁予備設計1橋、路線測量(4級基準点測量、縦横断測量、河川法線測量)を実施しました。</p>		
主な課題	<p>○国費の予算配分に左右されるため、計画的な定期点検を実施することが困難となっています。</p> <p>○幹線道路整備については、用地取得が難航し計画的に整備することが困難となっています。</p>		
主な成果・課題を踏まえた今後の取組の方向性	<p>○令和2年度から245橋の2巡目の定期点検を開始するため、更新した橋梁長寿命化修繕計画に沿った点検数の実施に向けて、優先的に事業を推進します。</p> <p>○幹線道路整備については、今後も用地取得を実施し、計画的に工事を実施するよう努力します。</p>		

6主な取組名称②	公共輸送の充実	取組(進捗)状況	B
主な成果	<p>○「路線バス利用者数」については、利用者のニーズに合わせた路線の変更や増便、その他バリアフリー化の促進、運転手の接遇の向上等、木更津市地域公共交通網形成計画に定められた公共交通の利用促進に関する各種取組の成果と考えられます。</p> <p>○地域の需要に応じた新たな交通システムの導入を目指して、地域住民や交通事業者等と協議を重ね、富来田地区において令和2年度から運行(実証実験)を開始するための運行計画を作成しました。</p> <p>○少子高齢化社会を見据えた新たな交通システムの導入やバス路線の再編等、地域特性に応じた公共交通ネットワークの構築を図るため、平成29年度に策定した交通政策のマスタープランである木更津市地域公共交通網形成計画の実施計画に当たる木更津市地域公共交通再編実施計画を令和2年3月に策定しました。</p> <p>○平成30年12月に路線バスの大幅な減便が行われた波岡地区等(八幡台、羽鳥野、上烏田、中烏田、下烏田、大久保、真舟)について、令和元年7月から8月にかけて市民アンケートを実施しました。</p> <p>○上記アンケートの結果を踏まえ、同年9月と10月に住民意見交換会を実施し、地域の現状を把握するとともに、地域のニーズに合った路線バスの運行形態をバス事業者と検討しました。</p> <p>○巖根駅への総武線快速停車に向けてJRとの協議を再開するための基礎調査を実施しました。</p>		
主な課題	<p>○「まちづくり協議会・NPO法人等による新たな交通システムの導入件数」については、木更津市地域公共交通網形成計画において主に再編を検討する路線を定めたものの、台風の影響によりバス利用調査及び地域協議に不測の日数を要し、また、交通事業者の慢性的な乗務員不足に加えて、予期せぬ退職者の増加等の影響により、木更津市地域公共交通再編実施計画の検討中において、主な検討対象以外も含む路線の減便や休止が行われ、当該地域との調整や対応策の検討に時間を要したことから、令和2年度から富来田地区において実証実験を開始します。</p> <p>○巖根駅への総武線快速停車については、JRに対する請願事項であることから多額の経費が見込まれます。</p>		
主な成果・課題を踏まえた今後の取組の方向性	<p>○地域によって交通に関する課題が異なることから、引き続き地域住民や交通事業者等と協議を重ね、地域特性に応じた交通ネットワークの構築を図ります。</p> <p>○新たな交通システムを持続可能なものとするため、実証実験を通じて地域のニーズを把握するとともに、地域の自主性を尊重した効率的な運行を目指します。</p> <p>○巖根駅への総武線快速停車について、整備に関する課題や負担割合等を含めたJRとの協議を推進します。</p>		

第2次基本計画(施策)進行管理票

1施策名	基本方向05 基本政策03 施策34 港湾機能の充実			取りまとめ担当課	産業振興課	7.施策目標の達成(進捗)状況	B	
2目標	重要港湾である木更津港の整備を進めることで、内港地区における海辺のにぎわい空間づくりのや木更津南部地区における物流機能の強化並びに大型クルーズ船の受入環境の充実をめざします。							
3施策目標の実現に関する指標	指標名	現状値(目標設定時)	実績値(R1)	実績値(R2)	実績値(R3)	実績値(R4)	目標値(R4)	グラフ
	県港湾計画の進捗率(内港整備分)	12% (平成30年度)	12%				36%	
4施策達成のために要した事業費	事業名			R1予算額(千円)	R1決算見込額(千円)			
	○木更津港湾整備事業県負担金(計画事業P64・進捗状況△)			156,443	52,688			
	計			156,443	52,688			
5毎年度の予算額及び決算見込額の推移	年度	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	合計		
	予算額(千円)	156,443				156,443		
	決算額(千円)	33,985				33,985		
6主な取組名称①	港湾環境の整備				取組(進捗)状況	B		
主な成果	○千葉県が港湾計画に基づき実施する港湾整備事業に対し地元負担金を支出し、令和元年度は老朽化が進む岸壁、橋梁などの施設改修を行うとともに、吾妻地区の小型栈橋の整備を行い、物流事業者等の経済活動を支える事業を進めました。							
主な課題	○事業の進捗にあたっては、多額の費用が必要となるため、国の交付金を活用するなど財源の確保に努めてまいります。							
主な成果・課題を踏まえた今後の取組の方向性	○引き続き千葉県が港湾計画に基づき実施する木更津港の整備に協力してまいります。 ○老朽化が一層進む岸壁、橋梁の計画的な改修を進め、港湾物流機能の確保、ひいては経済活動を支えてまいります。 ○事業の進捗については、県の事業計画によって影響を受けますが、みなとまち木更津再生プロジェクトを実現するため、事業の促進を図ってまいります。							

第2次基本計画(施策)進行管理票

1施策名	基本方向05 基本政策04 施策35 上水道の充実			取りまとめ担当課	企画課	7.施策目標の達成(進捗)状況	A	
2目標	市民生活や経済活動に欠かすことのできないライフラインとして、「かずさ水道広域連合企業団」が行う安全・安心な水道水の安定供給と、継続可能な経営基盤の強化を支援します。							
3施策目標の実現に関する指標	指標名	現状値(目標設定時)	実績値(R1)	実績値(R2)	実績値(R3)	実績値(R4)	目標値(R4)	グラフ
4施策達成のために要した事業費	事業名			R1 予算額(千円)	R1 決算見込額(千円)			
	かずさ水道広域連合企業団負担金			729	729			
	かずさ水道広域連合企業団出資金			28,730	28,630			
	計			29,459	29,359			
5毎年度の予算額及び決算見込額の推移	年度	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	合計		
	予算額(千円)	29,459				29,459		
	決算額(千円)	29,359				29,359		
6主な取組名称①	安定した水道水の供給と経営基盤の強化				取組(進捗)状況	A		
主な成果	○水道事業に関する適正な維持管理や更新事業を実施するため、専門技術を有する職員をかずさ水道広域連合企業団へ派遣しました。 ○かずさ水道広域連合企業団に対し、安定した水源確保や経営基盤の強化を支援するため、収益的事業に係る職員に対する児童手当の給付に要する経費を負担金として支出するとともに、災害対策(耐震化事業)に係る経費、資本的事業に係る職員に対する児童手当の給付に要する経費、統廃合事業等に要する経費を出資金として支出しました。							
主な課題	○かずさ水道広域連合企業団の円滑な運営等に協力するため、引き続き構成団体で運営に関して協議していく必要があります。							
主な成果・課題を踏まえた今後の取組の方向性	○安全・安心な水道水の安定供給と持続可能な経営基盤の強化を支援するため、引き続き専門技術を有する職員をかずさ水道広域連合企業団へ派遣するとともに、用水供給事業等に対し、継続的に出資金及び負担金を支出します。							

第2次基本計画(施策)進行管理票

1施策名	基本方向05 基本政策03 施策36 下水道等の整備			取りまとめ担当課	下水道推進室	7.施策目標の達成(進捗)状況	B	
2目標	積極的な下水道整備を推進することにより、生活環境の改善を図り、快適で住みよいまちをめざします。							
3施策目標の実現に関する指標	指標名	現状値(目標設定時)	実績値(R1)	実績値(R2)	実績値(R3)	実績値(R4)	目標値(R4)	グラフ
	下水道普及率	53.0% (平成29年度)	55.2%				57.5%	
4施策達成のために要した事業費	事業名			R1 予算額(千円)	R1 決算見込額(千円)			
	排水路整備事業			29,000	26,089			
	岩根ポンプ場改修事業			900	807			
	汚水処理施設維持補修事業			3,000	2,961			
	計			32,900	29,857			
5毎年度の予算額及び決算見込額の推移	年度	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	合計		
	予算額(千円)	32,900				32,900		
	決算額(千円)	29,857				29,857		
6主な取組名称①	排水路の整備及び維持管理				取組(進捗)状況	B		
主な成果	○排水路整備工事については、東太田三丁目地内(工事延長L=79.5m)、中尾地内(工事延長L=63.4m)及び茅野七曲地内(工事延長L=55.7m)の3か所の工事を実施しました。また、高柳地内については、各種測量業務を実施しました。							
主な課題	○排水機能の向上や維持を図るため、計画的な工事及び清掃の実施が必要です。							
主な成果・課題を踏まえた今後の取組の方向性	○今後も、降雨時の浸水被害の防止や生活環境の向上のため、計画的に工事および清掃を実施し、適切な維持管理を行います。							

第2次基本計画(施策)進行管理票

6主な取組名称②	地域汚水処理場の適切な維持管理	取組(進捗)状況	B
主な成果	○地域汚水処理場と管渠の適切な維持管理及び計画的な修繕を行い、快適な生活環境を維持しました。		
主な課題	○安定した汚水処理を継続して実施するため、処理施設の老朽化に伴う機器の更新が必要です。		
主な成果・課題を踏まえた今後の取組の方向性	○地域汚水処理場については、今後、処理施設の共同化の検討において中継ポンプ場として改修し、公共下水道に接続することで、維持管理経費を低減させます。		
6主な取組名称③	都市下水路の適切な管理	取組(進捗)状況	B
主な成果	○都市下水路として降雨時の排水機能の確保に必要な改修工事、補修工事及び清掃委託を実施し、計画的な維持管理を行い施設の長寿命化を図りました。		
主な課題	○施設の老朽化が進んでいますが、今後も継続して排水機能を確保するため、計画的な維持管理を行い施設の長寿命化を図る必要があります。		
主な成果・課題を踏まえた今後の取組の方向性	○今後も降雨時の浸水被害の防止のための工事及び清掃を実施し、計画的な維持管理を行い施設の長寿命化を図ります。		
6主な取組名称④	下水道施設の整備・適切な管理	取組(進捗)状況	B
主な成果	○将来の流入汚水の増加に対応するため、主ポンプの増設を行いました。		
主な課題	○施設の老朽化が進み、修繕及び更新が必要な施設が増えています。		
主な成果・課題を踏まえた今後の取組の方向性	○施設の修繕・更新には多額の費用がかかるため、国の補助金等を活用したうえで順次、修繕等を実施します。		

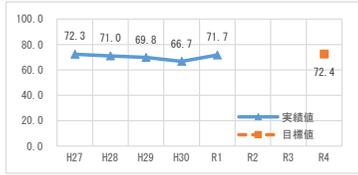
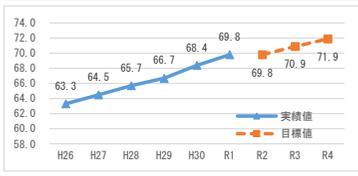
第2次基本計画(施策)進行管理票

1施策名	基本方向5 基本政策4 施策37 資源循環の推進				取りまとめ担当課	まち美化推進課	7.施策目標の達成(進捗)状況	B
2目標	ごみの発生抑制(Reduce:リデュース)・再利用(Reuse:リユース)・再資源化(Recycle:リサイクル)の3Rを推進することで、快適で住み良い持続可能な「循環型社会」の形成をめざします。							
3施策目標の実現に関する指標	指標名	現状値(目標設定時)	実績値(R1)	実績値(R2)	実績値(R3)	実績値(R4)	目標値(R4)	グラフ
	1人1日当たりのごみ排出量	1,125g (H29年度)	1,198g				1,040g	
	リサイクル率	21.5% (H29年度)	21.7%				32%	
4施策達成のために要した事業費	事業名		R1予算額(千円)	R1決算見込額(千円)				
	○(仮称)第2期君津地域広域廃棄物処理事業(計画事業P65・進捗状況△)		51,003	35,659				
	資源ごみ処理処分業務委託費		190,750	190,750				
	ごみ減量化資源化推進助成金		6,388	5,283				
	一般廃棄物収集運搬業務委託費		355,102	354,174				
	君津地域広域廃棄物処理事業費		1,452,191	1,446,023				
	最終処分関係費		76,634	76,212				
	(仮称)第2期君津地域広域廃棄物処理施設事業者選定委員報酬		555	425				
	PR啓発事業費		1,618	1,518				
	リサイクルフェア事業費		68	67				
	分別基準適合物再商品化業務委託費		820	820				
	指定ごみ袋関係事業費		57,045	56,765				
	廃棄物減量等推進審議会委員報酬		80	72				
	粗大ごみ戸別収集関係費		216	216				
計		2,192,470	2,167,984					
5毎年度の予算額及び決算見込額の推移	年度	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	合計		
	予算額(千円)	2,192,470				2,192,470		
	決算額(千円)	2,167,984				2,167,984		

第2次基本計画(施策)進行管理票

6主な取組名称①	ごみの排出抑制と再資源化の推進	取組(進捗)状況	B
主な成果	リサイクルへの更なる関心を持って貰うため、オーガニックシティフェスティバル2019イベントに参加するなど、フードドライブ・小型家電回収・資源ごみ回収・リサイクルクイズ・3Rアンケート等を実施しました。		
主な課題	ごみ排出量・リサイクル率共に目標値を下回っていることから、ごみの減量化・資源化に関する情報を発信し、リサイクル意識の向上を促進する事が必要です。		
主な成果・課題を踏まえた今後の取組の方向性	資源ごみの回収や各家庭での生ごみ処理機等の購入など、引き続きごみの減量化・資源化に関する情報の発信に努めます。また、3R推進の周知策の実施や、事業用大規模事業者の所有者又は使用者に対する廃棄物の減量化を求め、廃棄物の減量化及び資源化について意識の向上を図ります。		
6主な取組名称②	廃棄物の適正処理	取組(進捗)状況	B
主な成果	新たな広域廃棄物処理施設の令和9年度稼働に向け、令和2年3月に優先交渉権者・建設予定地を決定しました。		
主な課題	廃棄物の収集運搬について、直営業務員が年々減少する見込みであることから、更なる民間委託の検討が必要です。		
主な成果・課題を踏まえた今後の取組の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・新たな広域廃棄物処理施設の稼働に向けた取り組みを進めます。 ・民間委託の拡大を含めた業務体制の見直しを進めていきます。 		

第2次基本計画(施策)進行管理票

1施策名	基本方向5 基本政策4 施策38 生活衛生の向上			取りまとめ担当課	環境管理課	7.施策目標の達成(進捗)状況	B	
2目標	生活衛生施設の適正な維持管理を図り、切れ目のない衛生サービスを提供することにより、都市環境の保全や市民の公衆衛生の向上をめざします。							
3施策目標の実現に関する指標	指標名	現状値(目標設定時)	実績値(R1)	実績値(R2)	実績値(R3)	実績値(R4)	目標値(R4)	グラフ
	狂犬病注射接種率	69.8% (平成29年度)	71.7%				72.4%	
	生活排水処理率	66.7% (平成29年度)	69.8%				71.9%	
4施策達成のために要した事業費	事業名			R1予算額(千円)	R1決算見込額(千円)			
	○木更津市西口公衆便所改修事業(計画事業P66・進捗状況×)			10,000	0			
	○霊園合葬式墓地納骨壇整備事業(計画事業P67・進捗状況○)			15,000	10,476			
	○新火葬場整備事業費(計画事業P68・進捗状況○)			5,157	5,150			
	○合併処理浄化槽設置事業補助金(計画事業P69・進捗状況△)			16,920	10,312			
	新川園衛生処理場等維持管理業務委託費(包括的民間委託)			73,078	73,078			
	狂犬病予防費			2,456	2,422			
計			122,611	101,438				
5毎年度の予算額及び決算見込額の推移	年度	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	合計		
	予算額(千円)	122,611				122,611		
	決算額(千円)	101,438				101,438		
6主な取組名称①	公衆衛生対策の充実				取組(進捗)状況	A		
主な成果	○居所不明犬の調査を実施し、狂犬病予防法に基づく畜犬登録数の整理を行うとともに、「災害時における動物救護活動に関する協定書」をかずさ地域獣医師会と締結するなど、市民とペットの安心・安全の確保を図りました。 ○所管する5か所の公衆トイレのより快適な維持管理に努め、ちばおもてなしトイレに3か所を登録しました。							
主な課題	○引き続き狂犬病予防接種率の向上を図るとともに、西口公衆トイレ改修事業の早期実施に努めるほか、感染症予防対策の効果的な施策を検討していく必要があります。							
主な成果・課題を踏まえた今後の取組の方向性	○狂犬病予防接種未実施の飼い主への勧奨指導を行うとともに、所管する公衆トイレの適切な維持管理に努めます。							

第2次基本計画(施策)進行管理票

6主な取組名称②	火葬場や霊園の整備、維持管理	取組(進捗)状況	A
主な成果	<p>○指定管理者制度を活用し、火葬場及び霊園の適正な維持管理に努め、経費節減や利便性の向上を図りました。</p> <p>○火葬場については、空調交換、待合棟屋根修繕、火葬炉補修等の工事を行いました。</p> <p>○霊園については、合葬式墓地の未整備分納骨壇を整備するとともに、既設部の墓地に近い桜の老木の伐採を行いました。</p> <p>○新火葬場整備事業については、令和元年6月にPFI事業者と事業契約を締結し、用地取得、法令に基づく各種手続を経て、令和2年3月、工事用道路工事築造工事に着手しました。また、令和元年9月に設計・建設モニタリング支援業務委託契約を締結し、令和4年度の施設供用開始まで設計・建設各工程におけるモニタリング業務を実施していきます。</p>		
主な課題	<p>○老朽化による火葬場設備の損壊が発生しており、設備検査を踏まえ、必要な修繕工事を行う必要があります。</p> <p>○霊園については、17区周辺の道幅が狭いことにより、墓参者の交通事故の発生が懸念されます。</p> <p>○新火葬場整備事業については、事業契約書に明記されていない要協議事項が発生している一方で、新型コロナウイルスの影響により事業者との協議の場が制限され、事業の進捗に影響を与えかねない懸念があります。</p>		
主な成果・課題を踏まえた今後の取組の方向性	<p>○火葬場運営を効率的かつ効果的に行うため、引き続き指定管理者制度を活用し、加えて必要な修繕工事を行います。また、令和4年度完成予定である新火葬場の工事の進捗状況に合わせ、指定管理期間の調整を行います。</p> <p>○霊園については、17区周辺の駐車場整備を行い事故発生の予防に努めます。</p> <p>○新火葬場整備事業については、令和元年度に開始した設計・建設モニタリング業務に加えて、令和2年8月までに、事業者と融資を行う金融機関との間で各種担保設定や相互連絡等に関する取り決めを定める直接協定を締結する予定です。また、昨年度に引き続き、法令に基づく各種手続、公募による施設名称の決定、構成4市協議による使用料の決定、これらを踏まえた例規整備や事務の委託を予定しています。</p>		
6主な取組名称③	し尿の適正処理	取組(進捗)状況	B
主な成果	<p>○新川園衛生処理場について、包括的民間委託契約を行うことにより適正な維持管理を実施しました。</p>		
主な課題	<p>○施設の老朽化対策を検討しなければなりません。</p>		
主な成果・課題を踏まえた今後の取組の方向性	<p>○施設の老朽化が著しいため、施設の機能を損なうことのないよう、計画的な補修及び改修に努めます。</p>		

第2次基本計画(施策)進行管理票

1施策名	基本方向05 基本政策05 施策39 自然環境の保護			取りまとめ担当課	環境管理課	7.施策目標の達成(進捗)状況	B	
2目標	貴重な生物の生息地である自然環境の保護に努めるとともに、次世代に良好な自然環境を引き継ぐことをめざします。							
3施策目標の実現に関する指標	指標名	現状値(目標設定時)	実績値(R1)	実績値(R2)	実績値(R3)	実績値(R4)	目標値(R4)	グラフ
	特定外来生物等の捕獲頭数	57頭 (平成29年度)	72頭				60頭以上	
4施策達成のために要した事業費	事業名			R1予算額(千円)	R1決算見込額(千円)			
	盤洲干潟保全事業費			181	176			
	盤洲干潟保全関係費			70	70			
	計			251	246			
5毎年度の予算額及び決算見込額の推移	年度	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	合計		
	予算額(千円)	251				251		
	決算額(千円)	246				246		
6主な取組名称①	自然環境の保全				取組(進捗)状況	B		
主な成果	<p>○盤洲干潟の保全のため、海岸のクリーン活動を行うボランティア団体へ補助金を交付し、多くの市民等がクリーン作戦や干潟観察会等に参加し干潟保全活動を通して、自然環境の保全に関する意識を高めることができました。また、クリーン作戦のゴミの回収や干潟に仮設トイレを設置するなど、活動を支援しました。</p> <p>○盤洲干潟まで安全に往来出来るよう遊歩道整備を行いました。</p> <p>○特定外来生物等の捕獲のため、63件の箱わなの貸し出しを行い、アライグマ56頭、ハクビシン16頭の捕獲動物の処分を行いました。</p>							
主な課題	○盤洲干潟保全のための海岸のクリーン活動については、ボランティア団体の高齢化により継続実施につなげる仕組みづくりを再構築する必要があります。							
主な成果・課題を踏まえた今後の取組の方向性	○盤洲干潟保全のための海岸のクリーン活動については、ボランティア団体等による継続実施の仕組みづくりに取り組み、補助金の交付等の支援を行うとともに、広報活動の充実により参加者を募り、干潟保全活動を通じ自然環境の保全に関する意識のさらなる向上に努めます。また、環境保全協定の締結により、絶滅危惧種や希少種の保護に努め、自然と共に発展する持続可能なまちづくりに取り組みます。							

第2次基本計画(施策)進行管理票

1施策名	基本方向05 基本政策05 施策40 環境の保全				取りまとめ担当課	環境管理課	7.施策目標の達成(進捗)状況	A
2目標	良質な環境を維持・向上させ、環境汚染の防止に努めるとともに、地域環境の美化促進・美観風致の維持を図り、快適で住みよい環境の実現をめざします。							
3施策目標の実現に関する指標	指標名	現状値(目標設定時)	実績値(R1)	実績値(R2)	実績値(R3)	実績値(R4)	目標値(R4)	グラフ
	温室効果ガス総排出量	12,053t (平成29年度)	12,626t (H30年度)				11,500t (8%削減)	
	雑草等刈取り実施率	81.1% (平成29年度)	84.8%				82%	
4施策達成のために要した事業費	事業名		R1予算額(千円)	R1決算見込額(千円)				
	○住宅用省エネルギー設置導入促進事業(計画事業P70・進捗状況○)		13,400	12,778				
	大気汚染対策費		8,124	7,524				
	水質汚濁対策費		2,374	2,523				
	騒音・振動対策費		5,454	5,575				
	ダイオキシン類分析事業費		880	872				
	地球温暖化対策事業費		3,217	2,930				
	先端技術産業環境保全対策費		390	390				
	市民まち美化活動費		1,421	1,421				
	不法投棄対策事業費		603	561				
	不法投棄監視員報酬		900	900				
	地域まち美化推進支援事業費		1,200	1,171				
	計		37,963	36,645				
5毎年度の予算額及び決算見込額の推移	年度	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	合計		
	予算額(千円)	37,963				37,963		
	決算額(千円)	36,645				36,645		

第2次基本計画(施策)進行管理票

6主な取組名称①	環境・発生源の監視	取組(進捗)状況	A
主な成果	<p>○本市の大气・水質環境を把握するため各種調査を実施し現状を確認する一方で、環境悪化の防止を図るため広報や啓発活動に取り組みました。</p> <p>○年間を通じて航空機騒音を監視するとともに、県や近隣市と協力して国に申し入れを行い、騒音の低減に取り組みました。また、新ルート運用開始に伴う市民の不安を取り除くため、市民相談会を開催しました。</p> <p>○環境汚染の発生源監視のため、事業所に対する立入調査等を行い、必要に応じ指導等を実施しました。</p>		
主な課題	○より安心・安全で快適に暮らせる生活環境の確保を図ります。		
主な成果・課題を踏まえた今後の取組の方向性	○本市の環境を把握するため、大气、水質、騒音の各種調査を実施し、より良い生活環境を確保するため、広報・啓発活動に努めます。 <p>○環境汚染の監視のため、事業所に対する立入調査等を行い、必要に応じ指導等を実施します。</p>		
6主な取組名称②	環境保全活動の推進	取組(進捗)状況	A
主な成果	○再生可能エネルギーの地産地消などの本市独自の取り組み、市民や市内事業者、市の各主体と取り組む重点施策を盛り込んだ木更津市地球温暖化対策実行計画(区域施策編)「きさらづストップ温暖化プラン」を令和2年3月に策定しました。		
主な課題	○「きさらづストップ温暖化プラン」を市民、市内事業者への普及啓発を行う必要があります。		
主な成果・課題を踏まえた今後の取組の方向性	○プランの実行性を高めるため、庁内の所管課と協力し、地球温暖化対策実行計画を推進したうえで、その効果を検証します。		
6主な取組名称③	環境美化対策の推進	取組(進捗)状況	A
主な成果	<p>○環境美化啓発活動の一環として、「ポイ捨て防止啓発用ポスター」を作成し、街中に掲示することにより、生活環境の美化促進及び美観風致の維持を図り「きれいなまちづくり」に取り組みました。</p> <p>○雑草等処理対策として年3回の定期調査を実施するにあたり、地区担当者の丁寧な現地調査、庁内のネットワークを活用することによる全庁的な指導状況・経過等の把握及び密な情報交換により、平成16年度以降最高の刈取り実施率となりました。</p>		
主な課題	<p>○市街地のポイ捨て・犬ふん放置及び山間部の不法投棄が未だ発生しているため、継続して不法投棄対策を行う必要があります。</p> <p>○空き地の雑草は未だ一定数繁茂しているため、継続して雑草等処理対策を行う必要があります。</p>		
主な成果・課題を踏まえた今後の取組の方向性	○定期的にパトロールを実施し、必要に応じて千葉県等の関係機関と連携し、適時・適切な指導等を行います。 <p>○継続して丁寧な定期調査を実施し、地区担当者との密に連絡を取り、刈取り実施率向上に努めます。</p>		

第2次基本計画(施策)進行管理票

1施策名	基本方向06 基本政策01 施策41 市民参加の推進			取りまとめ担当課	企画課	7.施策目標の達成(進捗)状況	B	
2目標	広報きさらづや市公式ホームページをはじめ、様々な広報媒体を積極的に活用することで、市民と行政の情報共有を図るとともに、市民等の行政への参加の機会をより多く提供することにより、政策形成やまちづくりへの市民参画の拡大をめざします。							
3施策目標の実現に関する指標	指標名	現状値(目標設定時)	実績値(R1)	実績値(R2)	実績値(R3)	実績値(R4)	目標値(R4)	グラフ
	委員を公募する審議会等の割合	51.9% (平成30年度)	30.6%				70%	
	本市独自のアプリケーションダウンロード数	未実施 (平成30年度)	11,529 (令和元年度)				20,000件	
4施策達成のために要した事業費	事業名			R1 予算額(千円)	R1 決算見込額(千円)			
	○木更津市まちづくりコンテスト推進事業費(計画事業P71・進捗状況○)			3,240	3,240			
	広報きさらづ発行費			25,704	24,124			
	市民がつながる生活総合アプリケーション等管理運営費			4,422	4,421			
	ラジオ広報費			8,483	8,482			
	動画制作・放送事業費			3,281	3,281			
	地域情報魅力発信事業費			1,627	1,627			
	計			46,757	45,175			
5毎年度の予算額及び決算見込額の推移	年度	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	合計		
	予算額(千円)	46,757				46,757		
	決算額(千円)	45,175				45,175		

第2次基本計画(施策)進行管理票

6主な取組名称①	市民参加の拡大	取組(進捗)状況	B
主な成果	<p>○市民からの意見を政策等へ反映させるために実施している意見公募手続については、より多くの意見が寄せられるよう、公民館等へのわかりやすい掲示に配慮し周知を図りました。</p> <p>○市政に対する市民参加を促進するため、審議会等の委員の公募や政策の形成過程における市民等の行政への参画の機会を提供するため、「附属機関等の委員の選任等指針」に基づく委員選出の促進を図りました。</p> <p>○「未来木更津市2019～木更津まちづくりコンテスト～」を開催し、次世代を担う若者を中心に子どもや子育て世代をはじめ、各世代の交流の場を設けることや世代間交流の推進、また、地元の工芸品や食などの伝統文化を活かした観光客の誘致など、今後市政運営を進めるうえで、貴重な発表が行われました。</p>		
主な課題	○木更津まちづくりコンテストで提案された内容を事業化できるよう、関係各課との調整が必要となります。		
主な成果・課題を踏まえた今後の取組の方向性	<p>○意見公募手続を円滑に実施することにより、市民等の行政への参加機会をより多く提供することにより、市政への市民参画の拡大に努めます。</p> <p>○木更津まちづくりコンテストで提案された内容について、今後、未来の木更津にとって斬新で優秀なアイデアを本市の施策・事業等に取り入れることで、市民主体のまちづくりが期待できます。</p>		
6主な取組名称②	市民との情報共有の推進	取組(進捗)状況	B
主な成果	○広報きさらづや市公式ホームページ、市公式アプリ「らづナビ」などの媒体を使用したことで、広く市民に情報を周知できました。		
主な課題	○情報量が増加したことによって、全ての媒体で同じ情報を発信することが難しいため、情報の取捨選択が必要と考えられます。		
主な成果・課題を踏まえた今後の取組の方向性	○それぞれの年代にあった情報媒体(若年層向けの情報はSNSなど、高齢者向けの情報は広報きさらづなどの紙媒体)で情報を発信していくことを検討していきます。		

第2次基本計画(施策)進行管理票

1施策名	基本方向06 基本政策01 施策42 魅力発信力の強化	取りまとめ担当課	シティプロモーション課	7.施策目標の達成(進捗)状況	B			
2目標	木更津の魅力を積極的かつ効果的に市内外に発信することにより、定住・交流人口の増加や観光・産業を促進し、さらに市の魅力を強化をしていく好循環の創出をめざします。							
3施策目標の実現に関する指標	指標名	現状値(目標設定時)	実績値(R1)	実績値(R2)	実績値(R3)	実績値(R4)	目標値(R4)	グラフ
	Facebookページへの「いいね！」件数	5,002いいね (平成31年1月時点)	5,684 (令和2年3月時点)				7,000いいね	
	木更津市に愛着や誇りを感じている人の割合	31.9% (平成30年度市民アンケート結果)	—				50%	
4施策達成のために要した事業費	事業名		R1予算額(千円)	R1決算見込額(千円)				
	地域情報魅力発信事業費		1,627	1,627				
	広報きさらづ発行費		25,704	24,124				
	市民がつながる生活総合アプリケーション等管理運営費		4,422	4,421				
	動画制作・放送事業費		3,281	3,281				
	木更津PR大使・木更津ふるさと応援団事業費		131	122				
	ラジオ広報費		8,483	8,482				
	計		43,648	42,057				
5毎年度の予算額及び決算見込額の推移	年度	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	合計		
	予算額(千円)	43,648				43,648		
	決算額(千円)	42,057				42,057		
6主な取組名称①	木更津の魅力発信			取組(進捗)状況	B			
主な成果	○広報きさらづや市公式Facebook、地元テレビ・ラジオ番組など多くの媒体で木更津の魅力を市民の方に発信しました。 ○令和元年10月に市公式Twitterを開設し、さらなる魅力発信力の強化を図りました。							
主な課題	○発信媒体が増えたことにより、全ての媒体で同じ情報を発信することが難しく、情報手段の取捨選択が必要と考えられます。							
主な成果・課題を踏まえた今後の取組の方向性	○ターゲットの年齢層に応じた情報媒体(若年層向けの情報はSNSなど、高齢者向けの情報は広報きさらづなどの紙媒体)で市のプロモーションを行っていくことを検討します。							

第2次基本計画(施策)進行管理票

1施策名	基本方向06 基本政策01 施策43 移住・定住の推進			取りまとめ担当課	産業振興課	7.施策目標の達成(進捗)状況	B	
2目標	東京都心に近接するとともに、豊かな自然環境をあわせ持つ本市の特性を活かし、移住・定住者の増加をめざします。							
3施策目標の実現に関する指標	指標名	現状値(目標設定時)	実績値(R1)	実績値(R2)	実績値(R3)	実績値(R4)	目標値(R4)	グラフ
	暮らし体験イベントへの参加者	10人 (平成29年度)	6人				20人	
4施策達成のために要した事業費	事業名			R1予算額(千円)	R1決算見込額(千円)			
	移住・定住推進事業費			1,376	1,340			
	計			1,376	1,340			
5毎年度の予算額及び決算見込額の推移	年度	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	合計		
	予算額(千円)	1,376				1,376		
	決算額(千円)	1,340				1,340		
6主な取組名称①	移住・定住相談窓口の充実				取組(進捗)状況	B		
主な成果	○相談件数は52件(内訳:電話15件、窓口33件、メール4件)であり、移住者は1名でした。 ○相談者の移住・定住に係るさまざまな疑問に答えるとともに、一般社団法人千葉県宅地建物取引業協会南総支部及びNPO法人木更CoNとの3者協定に基づき、物件情報や暮らし情報などの情報提供等を行いました。							
主な課題	○平成29年度に相談窓口を開設して以降、相談件数が減少していることから、相談窓口の更なる周知を図る必要があります。(H29:60件、H30:58件、R1:52件)							
主な成果・課題を踏まえた今後の取組の方向性	○関係機関等との連携を強化し、相談窓口の周知及び活用を促すとともに、移住・定住希望者からのさまざまな相談に迅速かつ細やかに対応できるよう相談窓口の充実を図ります。 ○相談者から寄せられる声や転出・転入の動向の分析、将来のまちづくりの担い手となる若者の転出防止策の研究などを通し、業務を効果的かつ戦略的に進めます。							
6主な取組名称②	魅力発信力の強化及び暮らし体験イベント等による働きかけ				取組(進捗)状況	B		
主な成果	○移住・定住に特化したパンフレット「木更津ナチュラルライフ」を2万部作成し、海ほたる等の施設やイベントにて配布を行い、木更津市の住環境等の魅力をPRしました。 ○暮らし体験イベントでは、東京都・神奈川県から6名が参加しました。 ○ハローワークと連携した就職イベントでは、68名が参加し、10名が内定となりました。							
主な課題	○パンフレット及びイベント等でのアンケート回答を精査し、情報発信やイベント等が移住・定住希望者のニーズに合ったものかどうか検証する必要があります。							
主な成果・課題を踏まえた今後の取組の方向性	○移住・定住希望者のニーズを把握し、パンフレット、インターネット等を活用した本市の魅力発信に努めます。 ○暮らし体験イベントやハローワーク等と連携したイベントをさらに充実させることにより、移住・定住を働きかけます。							

第2次基本計画(施策)進行管理票

1施策名	基本方向06 基本政策02 施策44 オーガニックなまちづくりの推進	取りまとめ担当課	地方創生推進課	7.施策目標の達成(進捗)状況	A
------	------------------------------------	----------	---------	-----------------	---

2目標	持続可能な未来を創るため、地域、社会、環境等に配慮し、主体的に行動しようとする考え方である「オーガニック」をまちづくりの視点として、地域社会を構成する多様な主体が一体となり、本市を人と自然が調和した持続可能なまちとして、次世代に継承することをめざします。
-----	---

3施策目標の実現に関する指標	指標名	現状値(目標設定時)	実績値(R1)	実績値(R2)	実績値(R3)	実績値(R4)	目標値(R4)	グラフ
	「オーガニックなまちづくり」の認知度	45.2% (平成30年度市民アンケート結果)	—					80%
オーガニックアクション宣言企業認定数	29件 (平成31年1月末現在)	52件					70件	

4施策達成のために要した事業費	事業名	R1予算額(千円)	R1決算見込額(千円)
	○オーガニックシティ戦略推進事業費(計画事業P72・進捗状況○)	4,500	4,398
	計	4,500	4,398

5毎年度の予算額及び決算見込額の推移	年度	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	合計
	予算額(千円)	4,500				4,500
	決算額(千円)	4,398				4,398

第2次基本計画(施策)進行管理票

6主な取組名称①	オーガニックなまちづくりの普及啓発	取組(進捗)状況	A
主な成果	<p>○オーガニックなまちづくりを実践する企業であるオーガニックアクション宣言企業として、22企業に登録していただき、認定証交付式を令和元年7月8日と令和元年12月7日の計2回開催しました。12月7日については、「オーガニックなまちづくり交流会」として、オーガニックアクションを実践する市内の各種団体同士の交流促進を行うことで、「オーガニックなまちづくり」のさらなる推進を図ることを目的に開催しました。</p> <p>○令和元年11月3日の市民の日を「オーガニックデイ(オーガニックの日)」と位置づけ、オーガニックシティフェスティバルを同日開催イベントと連携して開催しました。フェスティバルは、毎年潮浜公園で開催されている食と音楽のイベント「グローバルハピネス」と融合し、「KISARAZU ORGANIC CITY FESTIVAL 2019」として潮浜公園で開催しました。「オーガニックなまちづくり」を楽しみながら学ぶことができるイベントを実施し、市内外約1万8千人の方にご来場いただき、「オーガニックなまちづくり」の推進を図りました。</p>		
主な課題	○11月3日をオーガニックデイとして、複数のイベントと同時開催しましたが、今後はオーガニックデイとしての全体の一体感をより強く創出していく必要があります。		
主な成果・課題を踏まえた今後の取組の方向性	<p>○11月3日をオーガニックデイとしてオーガニックシティフェスティバル等を実施していくにあたり、同日開催イベントの一体感を出せるよう各イベントの代表者等と検討していきます。</p> <p>○令和元年度から実施した「オーガニックなまちづくり交流会」については、オーガニックアクション宣言企業と市民活動団体がコラボレーションすることにより相乗効果を生み出す可能性があることから、市民活動支援センター「きさらづみらいラボ」と連携し開催していきます。</p>		
6主な取組名称②	行動計画の策定と進行管理	取組(進捗)状況	A
主な成果	○「オーガニックなまちづくり」のステップアップをめざす「第2期オーガニックなまちづくりアクションプラン 木更津SDGs推進モデル ORGANIC CITY PROJECT」を令和2年3月に策定しました。		
主な課題	<p>○各取り組みの進捗状況を効率良く把握し、随時、市公式ホームページ等において発信していく必要があります。</p> <p>○各プロジェクトの施策間連携をどのように行っていくのか検討する必要があります。</p>		
主な成果・課題を踏まえた今後の取組の方向性	<p>○各取り組みの進捗状況を把握するために、各課へ1年間の事業スケジュールの照会を行っていきます。</p> <p>○各プロジェクトの施策間連携を図るために、担当課同士が情報共有をできる場を設け各取り組みを連携しながら推進していきます。</p>		

第2次基本計画(施策)進行管理票

1施策名	基本方向06 基本政策02 施策45 協働によるまちづくりの推進			取りまとめ担当課	市民活動支援課	7.施策目標の達成(進捗)状況	B	
2目標	地域自治のさらなる推進に向け、地区まちづくり協議会と連携するとともに、市民活動支援センターを活用し、市民協働を促進することにより、地域の課題の解決に自ら取り組む「市民力」「地域力」の高いまちづくりをめざします。							
3施策目標の実現に関する指標	指標名	現状値(目標設定時)	実績値(R1)	実績値(R2)	実績値(R3)	実績値(R4)	目標値(R4)	グラフ
	地区まちづくり協議会の設立割合	46.7% (平成30年度)	53.3%				100%	
	市民活動支援センター来場者数	14,339人 (平成29年度)	28,152人				24,000人	
	行政ポイント付与件数	未実施 (平成30年度)	3,175件				4,000件	
4施策達成のために要した事業費	事業名			R1予算額(千円)	R1決算見込額(千円)			
	地域自治の充実にに向けた制度推進事業費			6,013	6,013			
	市民活動支援センター指定管理料			13,209	13,209			
	市民活動支援センター管理運営諸経費			6,544	6,504			
	市民活動支援センター運営協議会委員報酬			68	28			
	行政ポイント推進事業費			2,545	2,247			
計			28,379	28,001				
5毎年度の予算額及び決算見込額の推移	年度	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	合計		
	予算額(千円)	28,379				28,379		
	決算額(千円)	28,001				28,001		

第2次基本計画(施策)進行管理票

6主な取組名称①	地域自治の推進	取組(進捗)状況	B
主な成果	<ul style="list-style-type: none"> ○令和元年5月に市内で8地区目となる地区まちづくり協議会が「中郷地区」に設立されました。 ○地区まちづくり協議会に財政的支援として地域自治振興補助金の交付、人的支援として地域推進職員制度による市職員の派遣を実施し、地域自治の充実及び協働の推進を図りました。 		
主な課題	<ul style="list-style-type: none"> ○地区まちづくり協議会が設置されていない地区において説明会等を実施し、地域自治の必要性等の周知を図り、設立の機運を高めます。 		
主な成果・課題を踏まえた今後の取組の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ○地域自治の拠点となる各公民館と連携し、さらなる地域自治の充実及び協働の推進を図るとともに、地区まちづくり協議会が設置されていない地区における新規設立を推進します。 		
6主な取組名称②	市民活動に対する支援の充実	取組(進捗)状況	B
主な成果	<ul style="list-style-type: none"> ○市民活動支援センターの登録団体は20団体増加し、さまざまな市民活動団体が活動を行っています。 ○行政ポイント制度を平成31年4月から導入し、市民活動への参加を促しました。 		
主な課題	<ul style="list-style-type: none"> ○市民活動支援センターの登録団体同士の交流をさらに活発化させ、市民活動の推進を図る必要があります。 ○行政ポイント制度を広く周知する必要があります。 		
主な成果・課題を踏まえた今後の取組の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ○市民活動支援センターにおいて、登録団体同士の交流会を継続して実施するとともに、登録団体向けに団体活動調査を実施し、市民活動の把握を行います。 ○行政ポイント制度を広く周知するため、市民活動団体に対し活用方法の周知を図っていきます。 		

第2次基本計画(施策)進行管理票

1施策名	基本方向06 基本政策03 施策46 質の高い行財政運営の推進	取りまとめ担当課	企画課	7.施策目標の達成(進捗)状況	A
------	---------------------------------	----------	-----	-----------------	---

2目標	質の高い行政サービスを提供するため、社会経済情勢や市民ニーズの変化に的確に対応し、未来を見据えた計画的な行財政運営をめざします。
-----	--

3施策目標の実現に関する指標	指標名	現状値(目標設定時)	実績値(R1)	実績値(R2)	実績値(R3)	実績値(R4)	目標値(R4)	グラフ
	実質公債費比率	2.9% (平成29年度決算)	3.3% (平成30年度決算)					5%以内
公営建築物の耐震診断実施率	77% (平成29年度)	82%					100%	

4施策達成のために要した事業費	事業名	R1予算額(千円)	R1決算見込額(千円)
	○土地開発公社経営健全化に伴う土地購入費(計画事業P74・進捗状況○)	186,273	186,273
	○業務プロセス改善事業費(計画事業P75・進捗状況○)	8,960	8,960
	○庁舎建設基金積立金(計画事業P78・進捗状況○)	201,360	201,789
	○PCB廃棄物処理事業費(計画事業P79・進捗状況○)	24,730	23,784
	○公共施設耐震診断事業費(計画事業P80・進捗状況○)	11,800	10,010
	○公共施設解体事業費(計画事業P81・進捗状況△)	65,000	213
	市有地管理及び登記事務事業費	12,330	11,977
計	510,453	443,006	

5毎年度の予算額及び決算見込額の推移	年度	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	合計
	予算額(千円)	510,453				510,453
	決算額(千円)	443,006				443,006

第2次基本計画(施策)進行管理票

6主な取組名称①	基本計画事業等の進行管理の推進	取組(進捗)状況	A
主な成果	○第2次基本計画に位置付けた施策及び基本計画事業の進行管理を行うとともに、中期財政計画との整合を図り基本計画事業の見直しを行いました。		
主な課題	○施策ごとに設定した指標の達成状況等を踏まえ、必要に応じて施策や事業の見直しを行う進行管理を実施し、着実な事業の推進に努めます。		
主な成果・課題を踏まえた今後の取組の方向性	○計画的な行財政運営による事務事業の実効性を高めるため、中期財政計画と連動した基本計画事業等の適切な進行管理を行います。		
6主な取組名称②	行政改革の推進	取組(進捗)状況	A
主な成果	○行政改革推進計画については、推進項目に掲げた施策を所管課において実行しております。 ○ICTの取り組みとして、RPA導入実証実験を実施することで、効果及び課題点等を確認しました。 ○業務改善の取り組みとして、職員課業務を対象に民間事業者の協力による業務改善の取り組みを実施しました。第三者の視点による可視化から、問い合わせによる事務中断が非常に多く、アナログな作業が多いことが判明したことにより、現在あるICTを活用した改善の取り組みを進めています。		
主な課題	○限られた職員で複雑多様化する業務に対応していくため、新たな課題に迅速に対応できる体制を整えるとともに、既存業務の見直し(縮小・休止)を行う必要があります。		
主な成果・課題を踏まえた今後の取組の方向性	○第6次行政改革大綱に基づく取り組みを着実に実行するとともに、ICTの活用を進めていきます。		
6主な取組名称③	健全な財政基盤の確立	取組(進捗)状況	A
主な成果	○実質公債比率、将来負担比率ともに国の基準を大きく下回っており、財政の健全化が図られています。		
主な課題	○歳入においては、税制改正の影響による法人市民税の減額が見込まれることや、大幅な人口増が見込めないことから個人住民税が微増程度にとどまる見込みで先行きが不透明です。 ○歳出においては、少子高齢化が進展する状況下で社会保障費の伸びや後期高齢者医療特別会計及び介護保険特別会計への繰出金の増加が今後も続くことが見込まれます。		
主な成果・課題を踏まえた今後の取組の方向性	○今後より一層の財源確保に努めることはもとより、市債や基金の適正な管理を徹底し、真に必要な事業を中心に効率化・重点化を図り、計画的に執行します。		
6主な取組名称④	組織・人材マネジメントの推進	取組(進捗)状況	A
主な成果	○組織については、平成31年4月1日から組織内チェック機能の強化を図るため係制を導入するとともに、係を細分化し役職と役割を明確化しました。これにより4級職の係長を30名任命し、組織の活性化を図りました。		
主な課題	○職員のマネジメント能力向上の人材育成に取り組むとともに、その力を最大限発揮できる組織体制の構築が必要です。		
主な成果・課題を踏まえた今後の取組の方向性	○係制の導入にあわせ若手職員の早期登用を進めていますが、引き続き実施することでリーダーシップの強化とマネジメント能力の向上を図っていきます。		

第2次基本計画(施策)進行管理票

6主な取組名称⑤	公共施設等の総合的な管理の推進	取組(進捗)状況	A
主な成果	<p>○公共施設の耐震性能の有無を確認するため、令和元年度は旧東清保育所、老人福祉センター、鎌足保育園の3件の耐震診断を実施しました。</p> <p>○平成30年度に廃校となった旧中郷中学校については、校舎等の老朽化が著しいことから、解体工事を行う必要があったため、解体工事の請負会社を選定しました。なお、旧中郷中学校の解体工事については、令和2年度中に完了見込みとなっています。</p> <p>○公有財産の適正な維持管理を推進するため、24件の除草等に係る業務委託を行うとともに、公有財産の有効活用を図るため、8件の土地売却と113件の貸付けを行ったことにより、さらなる歳入確保に努めました。</p> <p>○PCB廃棄物については、学校等で保管していた安定器(照明器具)をクリーンセンターにすべて移設するとともに、分別調査搬入荷姿登録業務委託を実施し処分の本申請をしました。</p> <p>○PCB廃棄物のうち、コンデンサ20台(清見台小学校、木更津第二中学校、木更津第三中学校、岩根中学校、市民体育館、クリーンセンター)を中間貯蔵・環境安全事業株式会社へ運搬し、処分を完了しました。</p> <p>○庁舎建設基金の積み立てを平成24年から開始し、約25億5800万円(令和2年3月末現在)の基金残高となりました。</p> <p>○昨年度、庁舎整備検討委員会を開催するとともに、平成25年に策定した庁舎整備基本構想及び基本計画の見直しを行い、改訂版案を策定したうえで意見公募を行いました。</p> <p>○公共施設の維持管理に民間活力を導入することについて、旧中郷中学校は、前年度選定した跡地活用事業者と貸付契約締結し、旧富岡小学校は、民間事業者を跡地活用事業者を選定し、契約に向けた協議を進めました。</p> <p>○包括管理委託の検討については、庁内関係課にヒアリング調査を実施し、公共施設保守管理業務の現状を把握しました。</p>		
主な課題	<p>○耐震診断を行った結果、耐震性能が基準を下回る公共建築物については、今後の対応方針を速やかに決定していく必要があるものと考えます。</p> <p>○公有財産の適正な維持管理を推進するため、より一層の有効活用が求められます。</p> <p>○PCB廃棄物については、法令で定められた期間内までに適正な処分を行っていく必要があります。なお、令和元年度に施設所管課を集め、PCB廃棄物に関する説明会及び調査を実施したところ、今現在もPCB含有の疑いのある照明器具を使用している施設が複数あることが判明しました。</p> <p>○将来の人口減少社会の到来に備え、公共施設等の総合的かつ計画的な管理を推進する必要があります。</p>		
主な成果・課題を踏まえた今後の取組の方向性	<p>○耐震性能が基準を下回る公共建築物については、解体及び耐震補強等を行うかなど、今後の対応方針を検討していきます。</p> <p>○売却処分が見込まれる市有地については、随時、一般競争入札等により売却処分を進めるなど、より一層の有効活用を図ることにより、効果的かつ効率的な維持管理を図っていきます。</p> <p>○PCB廃棄物については、令和2年度にPCB含有の疑いのある施設について照明調査を実施し、PCB含有の安定器(照明器具)が出てきた場合には、速やかにクリーンセンターへ移設・荷姿登録を実施していきます。その後、法令で定められた期間までの処分完了を目指します。</p> <p>○庁舎整備基本構想及び基本計画の改訂版案に係る意見公募結果等をふまえ、庁舎建設基金積立ての方向性について関係課等と協議を行っていく必要があります。</p> <p>○地域の活性化に資する空き公共施設の有効活用を進めるとともに、「公共施設等総合管理計画」及び「公共施設再配置計画第1期実行プラン」に基づき、将来の維持管理が適切に行える保有総量にすることを目標に、計画的に各施設の再編等を進めます。</p>		

第2次基本計画(施策)進行管理票

1施策名	基本方向06 基本政策04 施策47 広域行政の推進				取りまとめ担当課	企画課	7.施策目標の達成(進捗)状況	B
2目標	今後の人口減少・少子高齢化を見据えた持続可能な行財政運営のもと、多様化している行政需要に適切に対応するため、一部事務組合で共同処理している事務のあり方を検討するとともに、他の自治体との効率的な広域連携の推進により、市民サービスの維持や効率化をめざします。							
3施策目標の実現に関する指標	指標名	現状値(目標設定時)	実績値(R1)	実績値(R2)	実績値(R3)	実績値(R4)	目標値(R4)	グラフ
	君津地域4市の広域的な連携や共同処理による事務の見直し	未実施(H30年度)	1件				3件以上	
4施策達成のために要した事業費	事業名				R1予算額(千円)	R1決算見込額(千円)		
	計				0	0		
5毎年度の予算額及び決算見込額の推移	年度	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	合計		
	予算額(千円)					0		
	決算額(千円)					0		
6主な取組名称①	一部事務組合による効率的な事務処理の推進					取組(進捗)状況	B	
主な成果	○君津郡市広域市町村圏事務組合で共同処理している事務のあり方を検討する中で、救急急病医療事業、児童発達センターの管理運営等について協議を行いました。							
主な課題	○関係機関との協議に時間を要するため、引き続き、君津郡市広域市町村圏事務組合で共同処理している事務のあり方を検討していく必要があります。							
主な成果・課題を踏まえた今後の取組の方向性	○効率的、効果的な行財政運営に向け、引き続き、君津郡市広域市町村圏事務組合で共同処理している事務のあり方を関係機関と協議していきます。							

第2次基本計画(施策)進行管理票

6主な取組名称②	広域連携の推進	取組(進捗)状況	B
主な成果	<p>○広域水道事業は平成31年4月に君津地域4市と君津広域水道企業団を統合・広域化し、新たな組織体「かずさ水道広域連合企業団」の事業運営に協力しています。</p> <p>○新火葬場事業は令和元年6月に事業契約を締結し、君津地域4市での共同事業として令和4年度の施設供用開始に向け準備を進めています。</p> <p>○君津地域4市に加え安房地域2市1町との広域廃棄物処理事業については、令和2年3月に事業を担う優先交渉権者を決定し、令和9年度からの次期処理施設の整備に向け取り組んでいます。</p> <p>○新たなまちづくりに関する連携による取り組みの一つとして、君津地域4市職員の人事交流を図るため令和2年度から順次、4市から職員を一人ずつ派遣することになりました。</p> <p>○例年、4市合同での公共施設の広域連携に関する会議を開催するところ、令和元年度は、各市ともに災害対応長期化のため、日程調整が困難となり、会議開催に至らなかったことから進捗していない。</p>		
主な課題	<p>○今後の人口減少・少子高齢化を踏まえ、近隣市と連携し、公共施設の共同利用等に向けた取り組みを行う必要があります。</p>		
主な成果・課題を踏まえた今後の取組の方向性	<p>○市民の生活圏が拡大する中、多様なニーズに適切に対応し、行政サービスの拡充を図るため、既存公共施設の広域での共同利用に向けた取り組みを推進します。</p>		

第2次基本計画(施策)進行管理票

1施策名	基本方向06 基本政策05 施策48 ICT活用の推進				取りまとめ担当課	地方創生推進課	7.施策目標の達成(進捗)状況	B
2目標	ICTを利活用することで、市民ニーズに対応した行政サービスを、いつでも、どこでも、だれでも享受できる環境づくりに努めるとともに、迅速かつ正確で、効率的な行政運営の実現を図ること、より便利で住みやすいまちづくりをめざします。							
3施策目標の実現に関する指標	指標名	現状値(目標設定時)	実績値(R1)	実績値(R2)	実績値(R3)	実績値(R4)	目標値(R4)	グラフ
	公開オープンデータ数	3個 (H30年度)	5個				11個	
	ICTの新規導入により業務の効率化が図れた事務事業の件数	1件 (H30年度)	1件				7件	
4施策達成のために要した事業費	事業名				R1予算額(千円)	R1決算見込額(千円)		
	○ICT等導入事業費(計画事業P76・進捗状況△)				10,000	747		
	○税務地図情報システム整備事業費(計画事業P77・進捗状況○)				14,500	14,143		
	高度情報化基本計画策定事業費				3,839	3,839		
	地域ICT推進会議運営事業費				174	134		
計				28,513	18,863			
5毎年度の予算額及び決算見込額の推移	年度	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	合計		
	予算額(千円)	28,513				28,513		
	決算額(千円)	18,863				18,863		
6主な取組名称①	地域情報化の推進					取組(進捗)状況	B	
主な成果	<p>○「木更津市第2次地域情報化推進プラン」及び「木更津市地域ICT推進プラン」に位置付けた各取り組みについての進捗管理を行い、地域情報化へ向け取り組みを進めました。</p> <p>○日々進展するICTや国・県の動向を踏まえ、産学官連携のもと、地域が一体となった地域情報化の推進を図る「木更津市第3次地域情報化推進プラン」を策定しました。</p> <p>○オープンデータとしての需要が高い情報についての調査・研究を行いました。</p>							
主な課題	<p>○ICTを活用した人口減少や少子高齢化による地域の各種課題の解決と、産学官が連携し、地域が一体となった地域情報化の推進を図る必要があります。</p> <p>○オープンデータの普及促進に向け、さらなるデータの公開と活用方法の検討が必要です。</p>							
主な成果・課題を踏まえた今後の取組の方向性	<p>○地域の多様な主体により構成する「木更津市地域情報化推進ネットワーク」を組織し、地域が一体となった情報化施策の推進を図ります。</p> <p>○オープンデータの活用に向けては、民間企業等のデータ活用に向けた需要喚起の手法について調査・研究に取り組むとともに、木更津工業高等専門学校と連携し、オープンデータ活用の拡大に取り組みます。</p>							

第2次基本計画(施策)進行管理票

6主な取組名称②	電子市役所の推進	取組(進捗)状況	A
主な成果	<p>○事務事業の見直しを行いICTの活用を進めるため、RPA導入実証実験を実施しました。実証実験は3業務を対象に実施し、RPAを効果的に活用するためのデータ作成が必要なこと、また今後基幹系システムが更新される際には実施業務の拡大が期待できることがわかりました。</p> <p>○アナログ地番図に座標を付し、デジタル化した図面に固定資産税評価に必要な情報を搭載した税務地図情報システムを整備し、課税事務の正確性及び効率性の向上を図りました。</p>		
主な課題	<p>○住民異動等に伴う手続き支援システムについては情報収集を行っていますが、わかりやすい手続き案内とともに、来庁せずに手続きができる仕組みを検討する必要があります。</p> <p>○税務地図情報システム整備では、不動産の所有権や分合筆等の移動を的確に反映していく必要があります。</p>		
主な成果・課題を踏まえた今後の取組の方向性	<p>○令和2年度は、AI-OCRの活用も含めたRPAの導入を検討し、業務の効率化を図ります。</p> <p>○引き続き、わかりやすい手続き案内の方法や来庁せずに手続きができる仕組みの検討を行います。</p>		